

越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」



令和3（2021）年度
事業報告書



-指定管理者-
認定特定非営利活動法人
男女共同参画こしがやともろう

はじめに

この事業報告書は、指定管理者が管理・運営するようになってから、年度ごとの事業の振り返りとして毎年作成しています。

令和3年度（2021年度）は、「ほっと越谷」開設20周年という節目の年、そして第4次越谷市男女共同参画計画がスタートした年でした。

「ほっと越谷」は、市民による男女共同参画の取り組みを支援する拠点施設として、ネットワーク機能の充実をめざしてきました。開設20周年記念事業では、登録団体の皆様が4つの分科会に分かれ、男女共同参画をテーマとした発表をしました。それは、これまで目標としていたことの集大成と感じました。登録団体との連携と協働は、「ほっと越谷」の誇りです。

平成21年（2009年）4月から、認定特定非営利活動法人男女共同参画こしがやともろうは、「ほっと越谷」の指定管理者になり「ほっと越谷」を管理・運営してまいりましたが、今年度をもちまして指定管理を終了いたします。13年間、越谷市の男女共同参画を推進することができましたのは、関係機関の皆様をはじめ、登録団体の皆様、市民企画委員の皆様、市民の皆様のご協力・ご支援によるものと深く感謝申し上げます。

ここに令和3年度の「ほっと越谷」の事業報告をお届けいたしますので、ご高覧いただければ幸いです。

令和4年（2022年）3月

越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」

（指定管理者：認定特定非営利活動法人 男女共同参画こしがやともろう）

所長 松岡 年

目 次

はじめに

	ページ
I 施設の概要と運営体制	
1. 設置目的	1
2. 施設の案内	1
3. 施設見取図	2
4. 指定管理者	3
5. 組織と運営	4
6. これまでのあゆみ	5
7. 愛称とシンボルマーク	6
II 事業報告	
事業の総括	7
1. 学習事業	8
1) 男女共同参画推進のための講座	9
2) 男女共同参画情報を選択・判断する力を育成する事業	10
3) 男女共同参画推進のための出前講座	11
4) 性の多様性の理解促進に関する講座	12
5) 家庭における固定的な役割分担意識の解消に関する講座	13
6) 審議会等における女性の登用推進のための講座	14
7) 女性創業支援セミナー	指定管理者提案事業 15
8) 女性の起業支援に関する講座	16
9) 就労に関する法制度や職場におけるハラスメントに関する講座	17
10) 事業者を対象とした男女共同参画に関する事業	18
11) 男性の男女共同参画推進のための事業	19
12) 育児・介護等と仕事の両立支援のための事業	20
13) 育児期の女性の就労継続を支援する講座	21
14) 防災活動における男女共同参画の啓発	22
15) 困難を抱える女性を支援するための事業	23
16) 性と生殖に関する健康と権利についての講座	24
17) DV防止啓発講座	25
18) 市民公募型男女共同参画事業	26
2. 情報事業	33
1) 情報誌の発行	34
2) ホームページの運営	35
3) 市民との協働による事業	36
4) パネル展示	37

5) 「女性に対する暴力をなくす運動」期間中の集中的な啓発		38
6) デートDV防止に関するリーフレットの発行		39
7) イベント情報誌 季刊版の発行		40
8) 所蔵本貸出し		41
9) メールマガジン配信／新聞クリッピング展示	指定管理者提案事業	42
10) ブックフェア	指定管理者提案事業	43
11) カフェ看板(手書き立て看板)設置	指定管理者提案事業	44
12) 震災文庫	指定管理者提案事業	45
3. 交流事業		46
1) 「ほっと越谷」登録団体		47
2) 登録団体情報交換会	指定管理者提案事業	48
3) パープルリボンキャンペーンキルト制作／協働フェスタ参加	指定管理者提案事業	49
4) さんもくナイト	指定管理者提案事業	50
4. 「ほっと越谷」開設20周年記念第20回七夕フェスタ		51
1) 七夕フェスタ		51
2) 「ほっと越谷」開設20周年記念事業	指定管理者新規提案事業	52
3) 登録団体主催講座		54
4) 登録団体企画展示		56
5) 七夕フェスタ交流会		58
5. 相談事業および自立支援事業		59
1) 女性のなやみ相談・DV相談・法律相談		59
2) 自立支援事業		61
III 指定管理者の活動		
1. 出前講座／2. 実習の受け入れ		63
3. ゆったりカフェ		64
IV 施設の利用		
1. 年度別利用状況		65
2. 令和3年度利用者アンケート結果		66
V その他		
1. 実習・視察等の受け入れ		69
2. 新聞等掲載実績		70
VI 参考資料		
1. 男女共同参画に関する年表		73
2. 越谷市男女共同参画推進条例		77

※指定管理者提案事業とは、市より依頼された事業以外の指定管理者が独自提案した事業です。

I 施設の概要と運営体制

1. 設置目的
2. 施設の案内
3. 施設見取図
4. 指定管理者
5. 組織と運営
6. これまでのあゆみ
7. 愛称とシンボルマーク

1. 設置目的

「ほっと越谷」は、越谷市の男女共同参画を推進するための拠点施設です。「ほっと越谷」では、だれもが性別にとらわれることなく、生きる権利を尊重し合い、豊かで活力のある社会を実現するために、市の男女共同参画に関する基本計画に基づくさまざまな事業を展開しています。

2. 施設の案内

●主な施設内容

セミナールーム A および B、相談室、情報ライブラリーコーナー、交流コーナー、作業室

●面積

388.71㎡

セミナールーム A 67.15㎡ 定員 45名

セミナールーム B 62.71㎡ 定員 45名

●開所時間

火曜日～土曜日	午前9時～午後9時
日曜日	午前9時～午後5時

※申請書類等の受付は、火曜日～土曜日は午後5時まで、日曜日は午後4時30分まで

●休所日

月曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

※月曜日が祝日にあたる場合は火曜日も休所

●施設使用料

セミナールームの利用は予約制となっています。

セミナールーム使用料金(A・B共通)

時間区分	午前	午後	夜間	全日
	9時～12時	1時～5時	6時～9時	午前9時～午後9時
基本使用料	1,200円	1,400円	1,200円	3,800円

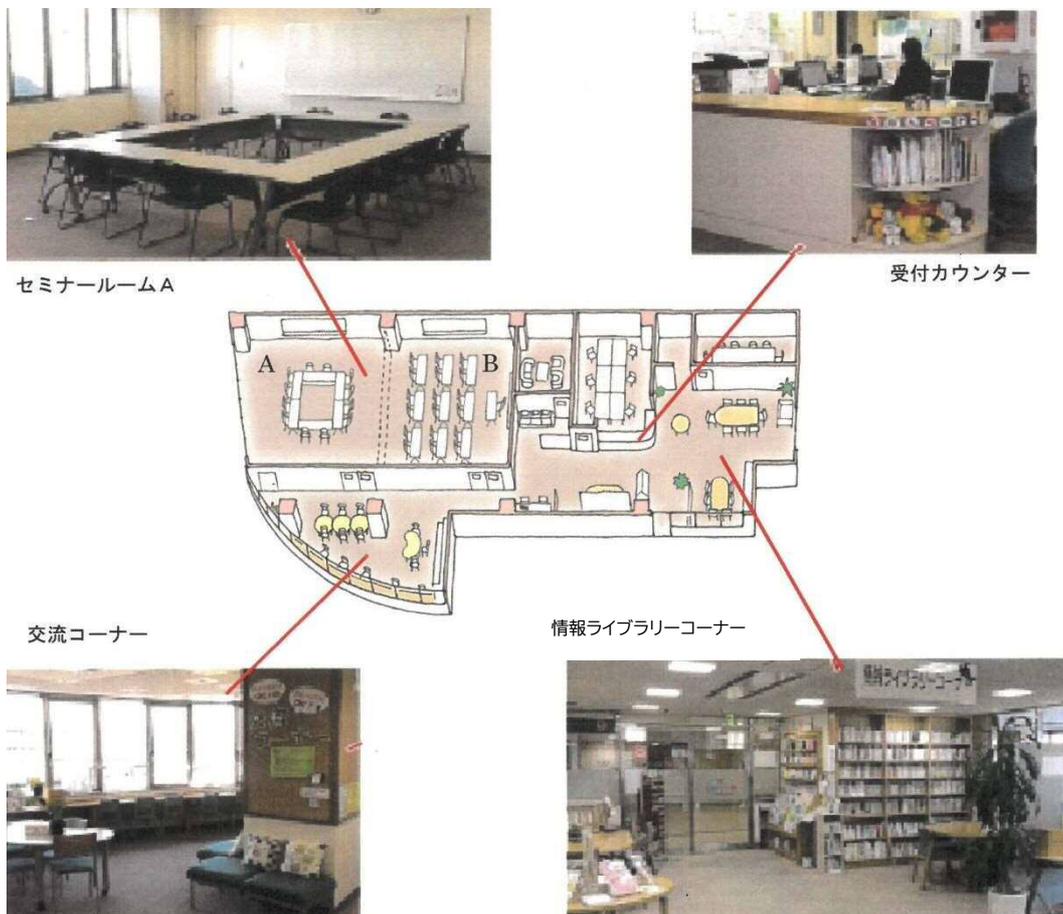
※使用者が市内在住・在勤・在学でない場合、基本使用料の30%増となります。

●注意事項

以下の場合には利用できません。

- ①公共の福祉を害するおそれがあるとき
- ②営利を目的として使用する場合があるとき
- ③施設等をき損するおそれがあるとき
- ④その他支援センターの管理上支障があるとき

3. 施設見取図



セミナールーム	「ほっと越谷」登録団体のほか、一般団体も利用することができます。
相談室	女性のさまざまな悩みをともに考えていく専門の相談員による相談を行っています。
情報ライブラリーコーナー	男女共同参画に関する図書等の閲覧とインターネットによる情報検索ができます。越谷市の情報、市内外のイベントのチラシ等も置いています。開所日はいつでも所蔵本の貸出しをしています。
交流コーナー	新聞、雑誌の閲覧ができます。フリースペースなので、さまざまな利用ができます。
作業室	印刷機、コピー機、登録団体用連絡ボックスを設けています。

※「ほっと越谷」登録団体

「ほっと越谷」登録団体は、男女共同参画に関する活動団体をはじめ、ワーカーズ・コレクティブ、地域づくり、国際交流、福祉、環境、教育等の活動を通して男女共同参画に関する活動をしている団体です。「越谷市男女共同参画支援センター団体登録要領」(平成16年2月24日市長決裁)に基づき、越谷市長が適当と認める団体を「登録団体」として承認しています。

4. 指定管理者

指定管理者：認定特定非営利活動法人 男女共同参画こしがやともろう

●指定管理者制度と指定期間

越谷市は、平成21年4月に「ほっと越谷」に指定管理者制度を導入しました。

指定管理者制度の導入以来、「認定特定非営利活動法人 男女共同参画こしがやともろう」（以下、「こしがやともろう」）が指定管理者として、「ほっと越谷」の管理・運営を行ってきました。

「こしがやともろう」は、民間団体としての高い専門性やノウハウを活かし、「ほっと越谷」登録団体をはじめとするさまざまな団体と協働し、男女共同参画の推進に努めてまいりました。

《指定管理者の業務内容》

- ・事業の実施（学習、情報、交流、相談補助）
- ・施設の管理・運営

《指定期間》

- 1期目 平成21年4月～平成24年3月（3年間）
- 2期目 平成24年4月～平成29年3月（5年間）
- 3期目 平成29年4月～令和4年3月（5年間）

《指定管理料》

- ◆14,490万円（5年間の上限額）

●法人のミッション

「こしがやともろう」は、男女共同参画を学び、地域で活躍してきた市民と、男女共同参画業務を経験した市民が集まって設立し、平成20年11月に法人格を取得しました。

また、より多くの個人・企業の方たちに「こしがやともろう」の活動をご支援いただくため、平成26年11月に「認定特定非営利活動法人」になりました。

「こしがやともろう」は、越谷市男女共同参画推進条例を尊重し、男女共同参画社会の実現と女性の自立支援を目的とした活動を行い、すべての人々が平等で平和な生活を送ることができる、人間尊重を基本とした社会の形成に貢献することをめざしています。

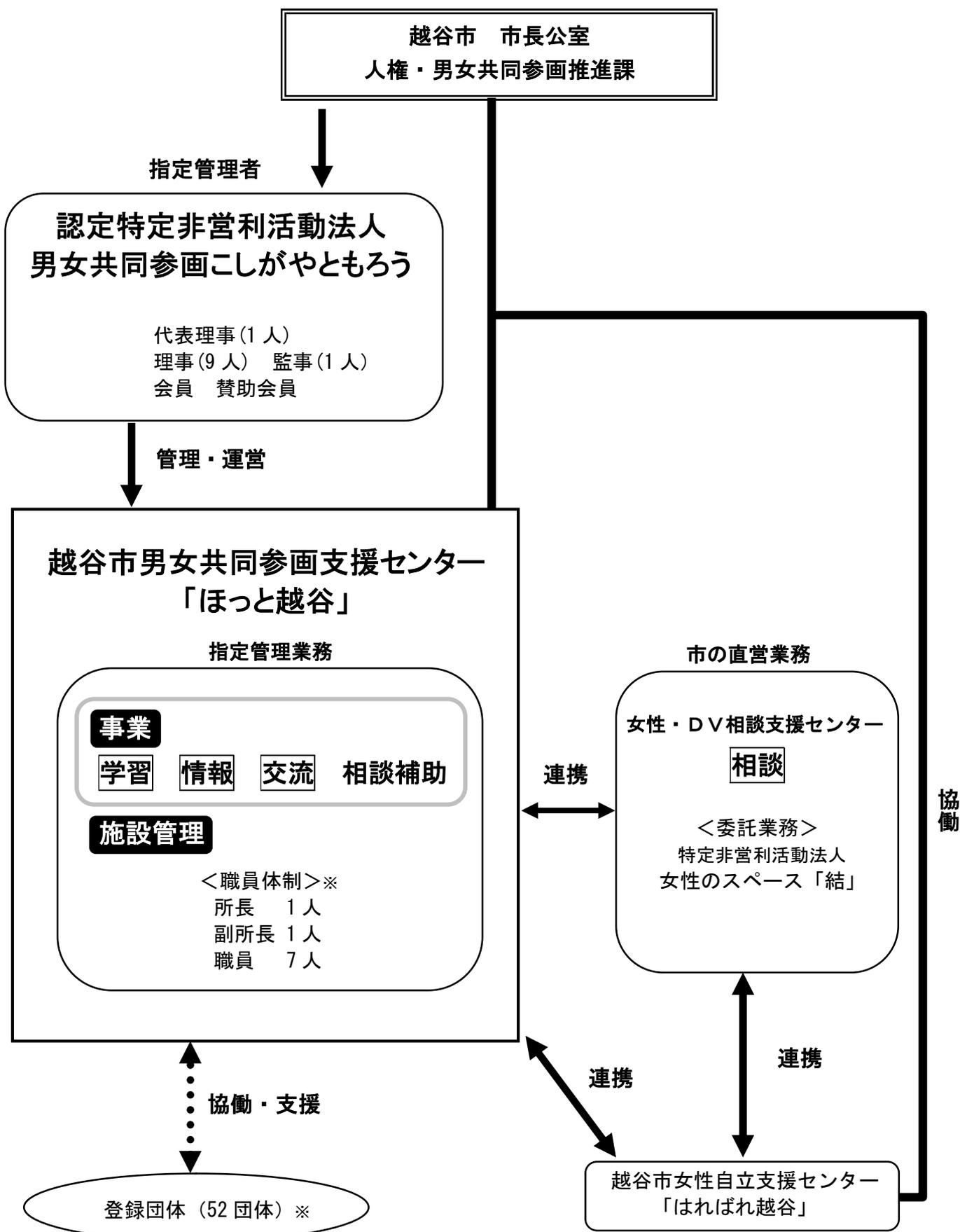
●「ほっと越谷」としてめざすこと

「こしがやともろう」は、市民力と専門力を活かした「ほっと越谷」の運営をすることにより、今まで越谷市が積み上げてきた男女共同参画の推進の成果を継承するとともに、さらに市民とのネットワークを広げ、「ほっと越谷」を地域に根ざしたより身近な施設にすることをめざします。

●職員体制 ※令和4年(2022年)3月31日現在

所長	1人
副所長	1人
職員	7人

5. 組織と運営



※ 令和4年(2022年)3月31日現在

6. これまでのあゆみ

【越谷市の男女共同参画の主な取り組み】

平成 3年	(1991年)	10月	企画部都市文化課に女性担当を設置
平成 6年	(1994年)	3月	第1次越谷市男女共同参画計画(こしがや男女共生プラン)を策定
		6月	「越谷市男女共生行政推進会議」、「越谷市男女共生のまちづくり推進市民会議」設置
平成12年	(2000年)	4月	企画部企画課女性担当に名称変更(機構改革)
		8月	第2次越谷市男女共同参画計画(こしがや男女共同参画プラン)を策定 越谷市男女共同参画行政推進会議(名称変更)の設置
平成13年	(2001年)	7月	越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」の開設
平成17年	(2005年)	4月	企画部企画課男女共同参画推進担当に名称変更
		7月	越谷市男女共同参画推進条例の施行 ・男女共同参画推進委員会の設置 ・男女共同参画苦情処理委員の設置
		9月	越谷市女性自立支援センター「はればれ越谷」の開設
平成20年	(2008年)	4月	越谷市男女共同参画行政推進会議にDV被害者支援専門部会を設置
平成21年	(2009年)	2月	DV被害者支援対応マニュアルの策定
		4月	越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」に指定管理者制度の導入
平成23年	(2011年)	3月	第3次越谷市男女共同参画計画及び越谷市DV対策基本計画を策定
		4月	企画部企画課男女共同参画推進担当と企画部人権推進課を統合し、 企画部人権・男女共同参画推進課を設置
		7月	越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」の開設10周年& 第3次越谷市男女共同参画計画策定記念フォーラム開催
平成27年	(2015年)	10月	「越谷市女性・DV相談支援センター」(配偶者暴力相談支援センター)の開設
平成28年	(2016年)	4月	市長公室人権・男女共同参画推進課に名称変更(機構改革)
令和 3年	(2021年)	3月	第4次越谷市男女共同参画計画、越谷市女性活躍推進計画及び 越谷市DV対策基本計画を策定
令和 3年	(2021年)	7月	越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」の開設20周年記念事業開催

【指定管理者への移行までの経緯とその後のあゆみ】

平成17年	(2005年)	4月	指定管理者の指定の手続き等に関する条例の施行
平成18年	(2006年)	3月	越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」に指定管理者の導入を決定
平成20年	(2008年)	8月	指定管理者公募開始
平成21年	(2009年)	4月	「ほっと越谷」の管理・運営が、指定管理者に移行 指定管理業務:学習・情報・交流の各事業、相談の補助業務及び施設管理・運営 第1期指定管理期間:平成21年4月1日～平成24年3月31日(3年間) 指定管理者:特定非営利活動法人 男女共同参画こしがやともろう
平成24年	(2012年)	4月	第2期指定管理期間:平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年間) 指定管理者:特定非営利活動法人 男女共同参画こしがやともろう
平成29年	(2017年)	4月	第3期指定管理期間:平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間) 指定管理者:認定特定非営利活動法人 男女共同参画こしがやともろう

7. 愛称とシンボルマーク

●愛称

「ほっと越谷」という愛称は、開設時の市民の施設名公募により名づけられました。

「ほっと」という言葉には最新のホットな情報を発信する場所、市民の集う親しみやすい場所、ほっとできる場所になってほしいという思いが込められています。

●シンボルマーク



市民による提案をモチーフに、デザイナーがアレンジして、「越谷市男女共生のまちづくり市民会議」の検討を経て、決められました。

ひと ひと ひと ひと
男と女との架け橋、男と女のささえあいという意味が込められています。



平成 21 年 4 月 1 日から「認定特定非営利活動法人 男女共同参画こしがやともろう」が指定管理者になり、あらたに創ったシンボルマークです。

男女共同参画社会は、老若男女がさまざまな形でかかわりをもちながらつくりあげていくものです。

そんな思いをシンボルマークにしています。

Ⅱ 事業報告

事業の総括

1. 学習事業
2. 情報事業
3. 交流事業
4. 「ほっと越谷」開設 20 周年記念第 20 回七夕フェスタ
5. 相談事業および自立支援事業

事業の総括

「ほっと越谷」では、職場、家庭、地域などのあらゆる場面で、男女共同参画に関する課題について、一人ひとりが身近な問題として考えられるような事業を実施しています。また、課題解決につながる支援をめざして施設運営を行っています。

令和3年度、第4次越谷市男女共同参画計画がスタートしました。新型コロナウイルス感染症の影響が続く状況でしたが、施設内の人数制限や感染予防を徹底した中での講座やインターネットを活用したオンライン講座を含め、全ての事業を実施しました。

1. 学びと連携を深める学習事業

男女共同参画推進のための講座では、「社会を変えるアクション～わたしたちにできること～」をテーマに自分たちにできることを考える連続講座を実施し、講座終了後に、講師と参加者がともに語り合う場を設けました。世の中のできごとに「何かがおかしい」と思ったり、暮らしている地域の問題に気づいた人が、「仕方がない」とあきらめるのではなく、「自分たちが考え、行動して解決の一步を踏み出そう」という思いを共有しました。

また、性と生殖に関する健康と権利に関する講座では、埼玉県立大学と協働で「リプロダクティブ・ライツと日本の中絶の問題点」を実施し、世界と日本の中絶の状況を知り、女性の人権について考えることができました。

「ほっと越谷」ではさまざまな機関と連携して事業を行っています。女性の起業支援に関する講座では経済振興課と越谷商工会議所、就労に関する法制度や職場におけるハラスメントに関する講座では埼玉労働局、性の多様性の理解促進に関する講座では教育委員会、防災活動における男女共同参画の啓発では危機管理室です。また、事業者を対象とした男女共同参画に関する事業でも初めて埼玉中小企業家同友会東部地区会とつながり、連携の輪が広がりました。

2. 情報事業

情報誌「みてみてほっと越谷」は、地域の課題や話題性のある社会問題に焦点をあて、作成しています。49号の特集は『「ほっと越谷」開設20周年を迎えて』、50号の特集は「みんなで見てみよう！第4次越谷市男女共同参画計画」と「男女共同参画計画を推進するために～市民と考える越谷市の未来」としました。49号では「ほっと越谷」の20年を振り返り、50号では第4次越谷市男女共同参画計画の4つの基本目標を解説し、「ほっと越谷」の事業はこの計画を基に実施していることを発信しました。

新たな取り組みとして、中学生を対象としたデートDV防止啓発リーフレット『デートDVってなに？』を作成しました。デートDVの解説に加え、安心できる関係についてもわかりやすく記載しました。

ホームページでは、トップページに「開設20周年記念」を掲げ、市民の皆様にお知らせしました。

3. 交流事業

令和3年度の登録団体は52団体でした。登録団体との主な協働事業は七夕フェスタです。「誰もが暮らしやすい越谷へ」をメインテーマにして、「ほっと越谷」開設20周年記念事業、登録団体の講座・展示を実施しました。20周年記念事業では、登録団体が「地域活動」「多様性」「男女共同参画」「子ども」の4つの分科会に分かれて発表しました。

また、パープルリボンキャンペーンキルトは、登録団体の皆様をはじめとする60の方に制作に協力していただきました。

1. 学習事業

令和3年度の学習事業は18事業を実施し、のべ711人が参加しました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、複数の事業を中止せざるを得ず、講座参加者も前年度を大きく下回る実績となりましたが、今年度は、社会的距離の確保(ソーシャルディスタンス)に配慮した申込人数の設定や換気対策、初めての試みとなるオンライン講座の開催など、新たな取り組みや工夫を加え、予定していたすべての事業を行うことができました。

そうした状況のなかで、「男女共同参画推進のための講座」、「性と生殖に関する健康と権利についての講座」、「困難を抱える女性を支援するための事業」などを実施し、男女共同参画への理解を深め、課題解決のヒントにつなげることができたと考えています。また、市の関連機関や埼玉県立大学、地域団体などと連携して、協働も推進できました。

●男女共同参画推進のための講座「社会を変えるアクション～わたしたちにできること～」

「男女共同参画推進のための講座」では、ジェンダー平等社会の実現に向け、社会変革のための行動を起こしている人の話を聞き、自分たちにできることを考える連続講座を実施しました。第1回は法政大学教授の上西充子さんの話から、自分の意識と行動を縛る「呪いの言葉」を知り、その解きかたを学ぶとともに、第2回では、「防災と女性」「公務非正規女性」をめぐる社会的課題に取り組む瀬山紀子さんなどから、実際の活動内容について聞きました。

ジェンダーをめぐる事象について、「アクション」という切り口から話していただき、「目を向ける先を変えることで、自分たちの望む世の中に一歩ずつ近づいていけると思えた」「疑問を持ったらそのままにせず、動かなければと感じた」などの感想が寄せられ、意識啓発から行動変容へとつながるきっかけを提供することができました。

●性と生殖に関する健康と権利に関する講座「リプロダクティブ・ライツと日本の中絶の問題点～安心・安全な中絶を考える～」

「性と生殖に関する健康と権利に関する講座」は、毎年、埼玉県立大学との協働により開催しています。今回は、中絶問題研究者で中絶ケアカウンセラーの塚原久美さんから、世界と日本の中絶の現状を聞き、日本の中絶の問題点について考えるとともに、安心・安全な中絶に関する情報提供を行う内容としました。

参加者からは、「日本では、男女の関係性が平等でないから、世界の性、安心・安全な中絶との格差がとても大きいことを思い知った」といった感想が寄せられました。タブー視され、話題になりにくい中絶をテーマにしたことで、参加者の中絶に対する理解を深めることにつながりました。

●困難を抱える女性を支援するための事業「あなたのペースで、ゆったりと ころとからだのケアー長引くコロナ、不安やストレスを感じていませんか？」

「困難を抱える女性を支援するための事業」は、令和3年3月に策定された「第4次越谷市男女共同参画計画」で新たに加えられた事業です。

コロナ禍で不安やストレスを感じている女性が、本来の自分の力を取り戻し、自信を回復する連続講座を開催しました。カウンセラーで公認心理師の海原由佳さんのもとで、絵本の読み聞かせやアートワークを通して、自分を認め、自分を労う、五感を使った「ころとからだ」をケアする機会を提供しました。

「夢中になって自分のためになる時間が過ごせた」「同じ関心を持つ人と作業したり、気持ちをシェアできてとても豊かな気持ちになれた」などの感想が寄せられ、心地よい時間・空間を過ごすことで、自分自身の力を取り戻すとともに、参加者同士のゆるやかなつながりを感じてもらうことができました。

事業名	社会を変えるアクション～わたしたちにできること～							
事業形態	主催							
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意識と行動を縛る「呪いの言葉」について知り、その呪縛の解きかたを学ぶ。 ・さまざまな社会的課題を捉え、その解決に向けて動いている人の話を聞き、わたしたちにできることを考える。 ・市民の男女共同参画に関する理解を深め、男女共同参画の推進を図る。 							
対象者	市内在住・在勤・在学の人、テーマに関心がある人							
募集人数	30人	回数	2回	保育	あり			
開催場所	「ほっと越谷」セミナールーム							
日時	内 容				講 師			
10月9日(土) 14:00～16:00	第1回講座(参加者 女34人 男4人 その他0人 計38人) 呪いの言葉の解きかた～向かいたい社会に目を向ける～				上西充子さん (法政大学教授)			
16:00～16:30	交流会							
10月16日(土) 14:00～16:00	第2回講座、活動報告 (参加者 女16人 男7人 その他0人 計23人) 変化を起こすアクション～わたしたちにできること～				瀬山紀子さん (明治大学他非常勤講師) 越野操さん (株)エフエムこしがや代表取締役)			
16:00～16:30	交流会							
参加人数	女 49人	男 11人	その他 0人	計 60人	参加率	89%	満足度	84%
参加者の感想	<p>第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しかったです。ものの見方を変えると考え方、言葉も変わってきそうです。 ・「交渉」に立つ、とは冷静で客観的になれる良い言葉だと思いました。 ・なかなか生きにくい世の中ですが、目を向ける先を変えることで、自分たちの望む世の中に一歩ずつ近づいていけると思え、気持ちが明るくなりました。 <p>第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お二人の話がとてもおもしろかったです。二人の物事に対する関わり方を学びました。 ・疑問を持ったらそのままにせず、動かなければと感じました。 ・テーマに関心がありました。アクションの力強さを感じました。 ・現在の問題点がよくわかりました。今後自分たちがどうしていけばいいのか、答えはまだ出ていませんが、考えなければと思います。 							



事業名	AIとジェンダー、そのキケンな関係 —デジタル時代の情報リテラシーについて考える							
事業形態	主催							
目的	<ul style="list-style-type: none"> AIについての基礎知識(ビッグデータ、機械学習、深層学習、アルゴリズムなど)を知る。 差別や偏見を学習したAIが私たちの暮らしにどのような影響を与えるかを考える。 デジタルプラットフォームが提供するサービスのリスクを知り、デジタル時代の情報リテラシーを考える。 							
対象者	市内在住・在勤・在学の人、テーマに関心がある人							
募集人数	30人	回数	1回	保育	なし			
開催場所	オンライン講座(Zoom)							
日時					講師			
9月4日(土) 14:00~15:45	「AIとジェンダー、そのキケンな関係 —デジタル時代の情報リテラシーを考える」				栗林史子さん (朝日新聞大阪本社経済部記者)			
参加人数	女 31人	男 11人	その他 1人	計 43人	参加率	100%	満足度	89%
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> AIもジェンダーも少し問題がわかったように思いました。 なかなかない切り口のテーマで、興味深く、講師の方の話もわかりやすかったです。 機械学習のジェンダーバイアスの背景には機械学習研究者に女性が少ないためと知り、男性優位社会が続いている現実を再認識しました。 偏りのない、他者にも自分にも誠実な講師でした。 AI音声アシスタントが女性の声デフォルトになっていることへの問題点が勉強になりました。ノンバイナリー、ジェンダーレスであることがAIにとって必要なことだと思いました。 AIの判断だけを信じるのではなく、第一次情報も機械的に取り入れて、リテラシーを身につけたいと思いました。 視野を広げるために参加しました。世の中の変化を知ることができ、大変有意義でした。 							



AIとジェンダー、そのキケンな関係
—デジタル時代の情報リテラシーを考える

2021年
9月4日(土) 14:00~15:45

講師: 栗林 史子さん

開催形式: オンライン講座 (Zoom)
※パソコン、タブレット、スマートフォンが利用できます。

対象者: テーマに関心のある人
市内在住・在勤・在学の人を優先

定員: 30人 (申込み順)

費用: 無料 (インターネット通信料は自己負担)
なし (オンライン講座の場合)

申込先: ホームページから受付



令和3年度「ほっと越谷」出前講座一覧

回	日	講座名	開催場所	講座主催者	参加人数
1	8/24(火)	フェリーチェのひろば 講座 育児で仕事を辞めた方のための講座 ～仲間を見つけにきませんか～	出張ひろば「ほっと越谷」フェリーチェのひろば	NPO法人 子育てサポーター・チャオ	3人
2	10/17(日)	大袋公民館 白梅学級 LGBTって知っていますか	大袋地区センター・公民館	大袋地区センター・公民館	16人
3	11/9(火)	人権教育推進事業 シネマ『空とコムローイ』	増林地区センター・公民館	増林地区センター・公民館	30人
4	11/28(日)	春日部ハーモニーフェスタ シネマサロン出前講座『兼子』	春日部市男女共同参画推進センター「ハーモニー春日部」	春日部市男女共同参画推進センター「ハーモニー春日部」	16人
5	12/24(金)	人権講座 高齢者学級 万年青大学 シネマ『空とコムローイ』	南越谷地区センター・公民館	南越谷地区センター・公民館	27人
6	2/5(土)	自主防災組織リーダー養成講座 ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、開催を中止	中央市民会館	越谷市危機管理室	-

参加者の感想

●NPO法人 子育てサポーター・チャオ

フェリーチェのひろば 講座

「育児で仕事を辞めた方のための講座～仲間を見つけにきませんか～」(8/24)

・いろいろな不安の中、素直にお話できてよかったです。これからの自分の生き方を考えるよい機会になりました。

・目の前のことを考えてばかりで不安になっていたのですが、「子育てもキャリア」とお聞きしてとても安心しました。「長期的視野」をもち、自分の将来についても考える機会になりました。

・最近叱ることについて悩んでいたもので、接し方の方法をお聞きできてよかったです。また「お友達を作ろう」というテーマで開催していただいて、私の願いが叶うテーマでうれしかったです。参加してよかったです。



●大袋地区センター・公民館

大袋公民館 白梅学級

「LGBTって知っていますか」(10/17)

・LGBTのうちBTについても知ることができました。今後はまわりの人を理解しながら自分らしく有意義に過ごしたいです。

・人権について、多方面からうかがえてとても有意義でした。今まで気づけなかったことにふれて、ありがたかったです。

・LGBTの方が10人か11人に1人だとわかり、言動にも心を配って、人を大事にして行かなければと思いました。



事業名		僕のトランスジェンダー・ストーリー —自分らしい「性」を探し続けて							
事業形態		共催	共催先		越谷市教育委員会				
目的		<ul style="list-style-type: none"> 多様な性についての情報を提供し、性の多様性の理解を促す。 性的少数者に対する理解と支援の重要性を伝える。 共生社会の重要性を伝える。 							
対象者		市内在住・在勤・在学の人、テーマに関心がある人							
募集人数		30人	回数		1回	保育	あり		
開催場所		「ほっと越谷」セミナールーム							
日時		内容				講師			
10月3日(日)	14:00~16:00	僕のトランスジェンダー・ストーリー —自分らしい「性」を探し続けて				岩井紀穂さん (VISION! ~for Transgender代表)			
	16:00~16:30	座談会							
参加人数		女 18人	男 5人	その他 1人	計 24人	参加率	80%	満足度	96%
参加者の感想		<ul style="list-style-type: none"> トランスジェンダー当事者の経験・体験だけに気持ちが伝わってきました。 LGBTQについているんなことを知り、学ぶことができました。 医療的なことも具体的に話され、理解することができました。 トランスジェンダー男性の生きた言葉で語られる現状が心に染みしました。LGBTQが生きやすい社会は誰もが生きやすい社会であると思いました。 先生の人柄がよかったです。 当事者ではありませんが、他人事とは思えず、詳しいお話が聞きたいと思い、参加しました。誰かが生きづらさを感じているというのはとても辛く、悲しいことです。私は応援者になりたいのかもしれない。自分らしく生きるということは、すべての人にとって価値のあることだと思うので、社会がもっとLGBTQを受け入れてほしいです。そうすれば、もっとよい世界になると思います。 							



性の多様性の理解促進に関する講座

僕のトランスジェンダー・ストーリー —自分らしい「性」を探し続けて

令和3年4月1日から、越谷市パートナーシップ
宣誓制度が開始されました。
トランスジェンダーで各命の始り頃から
現在までの体験談を聞き、性の多様性について
考えます。

日時: **10月3日(日)** 14:00~16:00

講師: **岩井紀穂(いわいかさほ)さん**
VISION! ~for Transgender代表。

【主催・申込み・会場】 越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」
〒343-0025 越谷市大宮3-6-1(大宮たこしし館) (月曜・日曜は休所)
電話 048-970-7411 / ファックス 048-970-7412
ホームページ <http://ho-koshi.jp>

【共催】 越谷市教育委員会



事業名	がんばりすぎない子育て～心を軽くする子どもとの関わり方～							
事業形態	主催							
目的	<ul style="list-style-type: none"> 家庭生活で固定的な性別役割分担意識にとらわれることなく、子どもが小さいうちから男女共同参画の視点に基づいた関わりを持つことの必要性を保護者に認識してもらう。 「孤育て」や子どもとの関わり方に悩む母親を支援するとともに、パートナーと協力しあい、ともに子育てを担うことや、地域の子育て支援等とつながることの大切さを伝える。 							
対象者	未就学児の保護者および妊娠中の方							
募集人数	8人	回数	1回	保育	なし			
開催場所	オンライン (Zoom)							
日時	内容				講師			
7月10日 (土) 10:00～11:30	男女共同参画ミニ講座 「未来を生きる子どもたちのために」 講演「がんばりすぎない子育て」、グループワーク				男女共同参画支援センター 「ほっと越谷」所長 落合香代子さん (一般社団法人 ママリングス代表、ポジティブ・ディシプリン認定ファシリテーター)			
参加人数	女 5人	男 0人	その他 0人	計 5人	参加率	63%	満足度	50%
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> 講師のお話を聞き、心が楽になりました。 イライラしている自分はいけないと思っていましたが、「イライラは自分がいっぱいいっぱい爆発しそうな状態なんだ」ということを教えていただき、本当によかったです。また「7つの気質」の話は目からウロコの考え方でした。初めて知った内容だったので、非常にためになりました。 目先の目標に惑わされず、長期的な目標を決めて時々ノートを振り返ってみるのもいいかもしれないと思いました。怒りたくなるようなことでも「将来自立した大人になってくれればそれでいい」と大目にみることができそうです。 がんばりすぎない具体的な方法を知りたかったです。 							



がんばりすぎない子育て
～心を軽くする子どもとの関わり方～

開催日時: **7月10日 (土)**
10:00～11:30

開催方法: オンライン開催 (Zoom)

講師: 落合香代子さん
一般社団法人 ママリングス代表
ポジティブ・ディシプリン認定ファシリテーター

対象: 未就学児の保護者および妊娠中の方 8人
(パートナーが参加可能です)

参加費: 無料 (オンライン開催のため)

申し込み: ホームページからの受付のみ
(お申し込みは要領書をご確認ください)

【主催・協賛先】 越谷市男女共同参画推進センター「ほっと越谷」
〒304-0025 越谷市水戸子1丁目1番1号102号2階 3階
電話 048-970-7411 / ファクス 048-970-7412 (代) 04-94-0100
ホムペ サイトアドレス: <http://hot-hoshigay.jp>



事業名		身近な暮らしからはじめる“政治参画”							
事業形態		主催							
目的		<ul style="list-style-type: none"> ・広く市民に女性の意思決定の場への参画の重要性を伝える。 ・女性受講者の審議会に対する理解度を深める。 ・審議会チャレンジリストの登録と審議会傍聴参加の2人以上をめざす。 							
対象者		市内在住・在勤・在学の人、テーマに関心がある人							
募集人数		第1回 30人、第2回 15人	回数	3回	保育	あり			
開催場所		「ほっと越谷」セミナールーム							
日時		内容				講師			
7月31日(土) 14:00～16:00	第1回 講演「身近な暮らしからはじめる“政治参画”」 (参加者 女15人 男5人 その他0人 計20人)					萩原なつ子さん (立教大学教授)			
8月3日(火) 14:00～16:00	第2回 「審議会を知ろう」 (参加者 女4人 男1人 その他0人 計5人)					越谷市の審議会委員 山崎光枝さん (生涯学習審議会委員) 湯川彩友美さん (生涯学習審議会委員)			
8月12日(木) 14:00～16:15	第3回 「審議会に行こう」 (「越谷市男女共同参画推進委員会」傍聴)					越谷市人権・男女共同参画推進課、ほか職員			
参加人数		女 19人	男 6人	その他 0人	計 25人	参加率	50%	満足度	92%
参加者の感想		<p>第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても話がわかりやすかったです。政治は遠いことではなく、身近なことが実感できました。 ・市民が参画して政策を決定、実行することの重要性を再認識することができました。 ・女性たちが政策決定の場に少ないと、どんなことが起こるのかわかりました。越谷の若い人たちに聞いてもらいたかったし、多くの市民の声を聞く行政の柔軟さが必要だと思いました。 <p>第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師のみなさんのお話が明快で、率直でよかったです。 ・女性審議会委員から応募動機や実際の審議会活動についての話を聞くことができ、特別なスキルや専門性がなくても、越谷市について知りたい、変えたいという思いだけで参画できることがわかりました。 <p>第3回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会委員が細かな点も含め何でもざっくばらんに質問していたことが印象に残りました。 							



「審議会等における女性の登用推進のための講座」

身近な暮らしからはじめる“政治参画”

身近な暮らしから、私たちが声を上げたい何事も変わりません。女性の参画がもたらぐべき必要を感じました。審議会委員の「よき声」に対する参画から、意思決定の場への女性の参画について考えます。意思決定の場への参画として、まずは市の審議会委員の席に参画してみませんか。

第1回 7月31日(土) 14:00～16:00

講師：萩原（はぎわら）なつ子さん（立教大学教授）
定員：テーマに関心がある人 30人
参加費：無料（駐車・駐車場は有料）

【参観の方へ、プロフィール】

第2回 8月3日(火) 14:00～16:00
「審議会を知ろう」
講師：山崎（やまざき）光枝さん（越谷市審議会委員）
湯川（たがわ）彩友美さん（越谷市審議会委員）
定員：15人（女性優先）

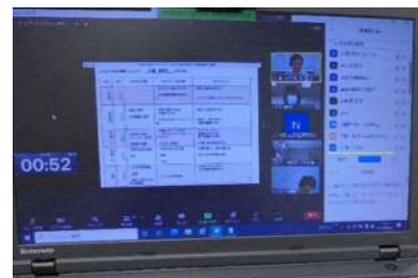
第3回 8月12日(木) 14:00～16:15
「審議会に行こう」
講師：越谷市人権・男女共同参画推進課職員
定員：15人（女性優先）

お名前とも連絡先（郵便先、住所）を第一に取得させていただきます。お問い合わせは、お名前、お電話番号、ご住所を必ずお知らせください。お申し込みは、お申し込みフォームから、お申し込みください。お申し込みは、お申し込みフォームから、お申し込みください。

【主催・申込み・会場】 越谷市男女共同参画推進センター「ほっと越谷」
〒343-0205 越谷市入谷3丁目3番1号 4階（〒343-0205）
電話 048-470-7411 / ファクス 048-470-7412 / 月曜・祭日は休館
ホームページアドレス: <http://hott-hobby.com>



事業名		私の好きなことで仕事を創る									
事業形態		共催	共催先		越谷市経済振興課 越谷商工会議所						
目的		<ul style="list-style-type: none"> 女性の働き方の選択肢として起業する可能性を考える。 趣味や得意なことを活かし収入を得ることを学ぶ。 自身に潜在するやりたいことを見つける。 事業化に向け資金や貸店舗の紹介など実践的な経営を学ぶ。 									
対象者		自分で仕事を始めたいと考えている女性									
募集人数		各回20人	回数		2回	保育		なし			
開催場所		オンライン講座 (Zoom)									
日時		内容				講師					
9月8日(水) 10:00~13:00		第1回 「起業について考える、私はなにができる？」 (参加者 女22人)				第1回、第2回とも 市場真理子さん (会社の現場監督合同会社代表)					
9月22日(水) 10:00~13:00		第2回 「私が本当にやりたいことをみつけよう」 (参加者 女22人)									
参加人数		女 44人	男 -	その他 0人	計 44人	参加率		100%	満足度		100%
参加者の感想		<ul style="list-style-type: none"> 楽しかったです！あらためて自分を見直すことができ本当に有意義な時間でした。 先生の体験を交えたお話や、講義の内容も興味深く参考になりました。 自分のやりたいこと、できることを探すところから始めてくださり、皆さんのお話を聞けて、もしかしたらこの「あやふや」は自分だけではないかもしれないと気づき、焦りから少し解放されました。 自分の心がときめくことを掘り下げることで、今まで気がつかなかったことのヒントになりました。自分のやりたいことが少し見えてきました。 大変有意義な講座を、無料で自宅で受講することができ、本当に感謝しております。 普段でしたら会えない年代の、会えないバックグラウンドの方々と普段なら話せない内容を話すことができとても面白い経験でした。漠然とした思いで申し込んだ講座ですが、将来に期待が持てそうです。 									



事業名		私の好きなことで仕事を創る									
事業形態		共催	共催先		越谷市経済振興課 越谷商工会議所						
目的		<ul style="list-style-type: none"> 女性の働き方の選択肢として起業する可能性を考える。 趣味や得意なことを活かし収入を得ることを学ぶ。 自身に潜在するやりたいことを見つける。 事業化に向け資金や貸店舗の紹介など実践的な経営を学ぶ。 									
対象者		自分で仕事を始めたいと考えている女性									
募集人数		各回20人	回数		4回	保育		あり			
開催場所		第1回・第2回 オンライン講座(Zoom)、第3回・第4回 「ほっと越谷」セミナールーム									
日時		内 容				講 師					
10月6日(水) 10:00~13:00	第1回(参加者 女21人) 「お客さまは誰か考えよう」「市はどんな支援をしてくれる？」					第1回~第4回 講師 市場真理子さん (会社の現場監督合同会社代表)					
10月20日(水) 10:00~13:00	第2回(参加者 女25人) 「あなたならではの仕事を創る」					第1回 越谷市経済振興課職員 第3回 講師 青山ゆらさん パネラー					
10月27日(水) 10:00~13:00	第3回(参加者 女24人) 「お客様が見つかるSNS活用術」「先輩創業者に聞いてみよう」					多田裕子さん(スマイリーコーヒー) 柴崎恵子さん(デザインパンツイツォ)					
11月10日(水) 10:00~13:00	第4回(参加者 女20人) 「マネープランを学ぼう」「プレゼンテーション大会」					第4回 須澤哲朗さん(越谷商工会議所)					
参加人数		女 90人	男 -	その他 0人	計 90人	参加率		100%	満足度		97%
参加者の感想		<ul style="list-style-type: none"> 参加する毎に自分の行くべき道を導いていただきました。毎回あつと言う間の3時間でした。 自分1人ではなかなかできないワークが盛りだくさんで、自分の思ってもみなかった自分の内面に気づく事ができました。 中身が思った以上に豊富で勉強になりました。 始める時のマインド、覚悟など気持ちを後押しされてとてもよかったです。 先輩方の気持ちを聞いて、「自分もそれでいいんだ」とほっとする気持ちもありました。 みなさんのビジネスとか夢がとってもとっても楽しそうで、早く一緒にやりたいくて、ワクワクときめきの時間でした！ 講座に参加させていただいたおかげで、自分の「好き」に気がつくことができました。また、皆さんのお話を聞いたことも、とても刺激になりました！ 									



事業名	これだけは知っておきたい！ パートタイム・有期雇用労働法とハラスメント							
事業形態	共催	共催先	埼玉労働局					
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・求人票の労働条件の見方を理解する。 ・パートタイム・有期雇用で働く際に役立つ労働法の普及・啓発を図る。 ・職場におけるハラスメントに関する情報を提供する。 ・相談事例の紹介やグループワークで参加者同士が悩みや情報を共有する。 							
対象者	パートタイム・有期雇用労働者、求職中、テーマに関心がある人							
募集人数	20人	回数	1回	保育	あり			
開催場所	「ほっと越谷」セミナールーム							
日時	内 容				講 師			
10月7日(木) 14:00～16:30	<ul style="list-style-type: none"> ・これからパートタイム・有期雇用で働く人のために ・働くときに知っておきたい労働法の基礎知識と「パートタイム・有期雇用労働」、「職場内でのハラスメント」のポイント ・グループで悩みや疑問を話してみよう ・受講証明書配布、アンケート記入 ・個別相談会(希望者のみ) 				越谷公共職業安定所職員 (越谷ハローワーク統括職業指導官) 埼玉労働局雇用環境・均等室職員			
参加人数	女 13人	男 2人	その他 0人	計 15人	参加率	75%	満足度	73%
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・「ハローワーク活用ガイド」があることを初めて知りました。 ・相談窓口がどこにあるのか知ることができました。 ・有給休暇のことでためになる話を聞くことができた。 ・どんな時に、どこに相談するのかわかってよかった。 ・パワハラについて詳しく説明を受けたことがなかったのがためになった。 ・埼玉県の最低賃金が10月1日付で28円アップして956円になったことを今日の講座で初めて知ることができました。それだけでも参加してよかったです。 ・労働法について再確認ができ大変参考になりました。 ・なんとなく話が進んでいくだけで理解が難しかったです。始めからグループワークの方が内容を理解できたと思いました。 							

これだけは知っておきたい！
パートタイム・有期雇用労働法とハラスメント

10月7日(木)

14:00～16:30

※参加費は無料です。お申し込みは先着順です。定員20名です。お申し込みは10月6日(水)までです。

※この講座は、労働局が主催する「労働相談センター」の活動の一環として開催されています。労働相談センターは、労働相談の受付、就業相談、職業紹介、求職支援、求職支援センター、求職支援センターの運営を行っています。

◆内容：「これからパートタイム・有期雇用で働く人のために」
-働くときに知っておきたい労働法の基礎知識と「パートタイム・有期雇用労働法」
-「職場内でのハラスメント」のポイント
-グループで悩みや疑問を話してみよう
-個別相談会(希望者のみ)

◆定員：20人(男女別)

◆参加費：無料(お茶代、受講料は別途)

◆保 存：あり(1日×1回、録音・録画あり、録音・録画あり)

◆申込み：電話・ファクス・支店・「ほっと越谷」ホームページ

申込み・会場

越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」

TEL: 049-974-2411 FAX: 049-974-2412 (休館・祝日は休館)

住所: 〒330-0801 越谷市大井7丁目4番1号(ホルクたこじ屋)

Eメール: hokotto@city.yokoyama.lg.jp



※労働相談センター「ほっと越谷」は、就業支援センターです。



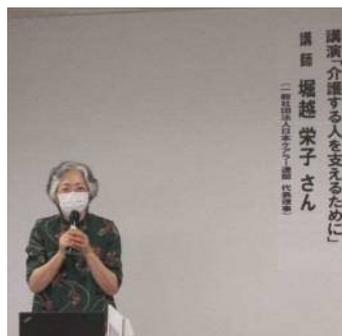
事業名	できることから始める ～丸越運輸倉庫株式会社の事例から～					
事業形態	主催	後援/協力	越谷商工会議所/ 埼玉中小企業家同友会東部地区会			
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「働き方改革」推進に関して、中小企業であっても取り組みやすく、実践的で役に立つ情報提供を行う。 ・「働き方改革」に取り組む地元企業の経営者から取組事例を聞き、従業員の多様な働き方ニーズに応えるための工夫や改善について学ぶ。 					
対象者	「働き方改革」に取り組む経営者、総務・人事担当者、テーマに関心がある人					
募集人数	30人	回数	1回	保育	あり	
開催場所	オンライン講座 (Zoom)					
日時	内 容			講 師		
2月3日 (木) 14:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・越谷市の取り組みについて ・講演「できることから始める～丸越運輸倉庫株式会社の事例から～」 ・情報提供 越谷市商工会議所 埼玉中小企業家同友会東部地区会 ・交流会 			越谷市人権・男女共同参画推進課職員 講師:上野広美さん (丸越運輸倉庫株式会社代表取締役) コーディネーター: 市場真理子さん (会社の現場監督合同会社代表) 情報提供: 大竹多真紀さん (越谷市商工会議所) 鈴木美緒さん (埼玉中小企業家同友会東部地区会)		
参加人数	女 9人	男 10人	その他 0人	計 19人	参加率	63% 満足度 100%
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・上野社長の報告が素晴らしかったです。経営者の本音の話が、とても参考になりました。 ・中小企業者は地域貢献しやすい立場で、かつ、地域貢献することで事業活動の継続的活性化のきっかけを見つけてきたという実話が身近に感じられました。 ・やっぱり会って交流会がしたかったです。日中のオンライン講座だと他の仕事が入ってきがちです。 ・経営者の立場からの話が聞ける大変よい機会となりました。多様な社員を受け入れるあり方での信頼関係の構築が、業績にも直接つながるとわかりました。 ・上野さんの取り組みがよく理解できました。ご自分のことを率直にお話いただき、感動しました。 ・経営者と従業員、それぞれの立場での「働くこと」をめぐる悩みを聞くことができました。社内での会議のあり方などについても考えさせられ、参考になる話がたくさん聞けました。 					



事業名	あなたらしく生きるために～男性相談者との関わりから～							
事業形態	主催							
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・固定的性別役割分担意識について学ぶ。 ・参加者と共に男性固有の生きづらさについて考える。 ・世間でいう「男らしさ」ととられない「自分らしさ」について考える機会を提供する。 							
対象者	テーマに関心がある男性							
募集人数	20人	回数	1回	保育	あり			
開催場所	「ほっと越谷」セミナールーム							
日時	内容				講師			
5月23日(日) 14:00～16:00	あなたらしく生きるために～男性相談者との関わりから～				堀切大器さん (公認心理師、臨床心理士)			
参加人数	女 -	男 10人	その他 0人	計 10人	参加率	50%	満足度	60%
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい気づきが得られてとてもよかったです。ありがとうございました。 ・グループワーク内でいろいろな意見を聞けました。これからの生活に役立ちそうです。 ・考えなかったことを考えられてよかったです。 ・グループワークが多く、参加者とトークセッションができてよかったです。“らしさ”の%表記は、内面の“らしさ”がどれくらいあるか考えることができました。 ・期待していたものとは少しズレがありました。男性の生きづらさについて、具体的な事例を聞けることを期待していました。 							



事業名		仕事も介護もあなたも大事！～介護する人を支えるために～ 介護者サロン体験付き							
事業形態		主催	協力先		認定NPO法人 さいたまNPOセンター 越谷事務所、越谷介護者の会				
目的		<ul style="list-style-type: none"> ・介護者の孤立を防ぎ、介護者を支援する越谷市のサービスや制度について知識を提供することで、介護と仕事等との両立についての意識啓発を行う。 ・家族介護者を取り巻く支援の現状や今後期待される動きについて知る。 ・支援や情報につながる「場」、地域社会の中でお互いに支え合う「場」として、ティータイムをはじめとする介護者サロンの情報を提供する。 							
対象者		市内在住・在勤・在学の人、テーマに関心がある人							
募集人数		15人	回数	1回	保育	あり			
開催場所		「ほっと越谷」セミナールーム							
日時		内 容				講 師			
6月5日(土) 14:00～16:00		講話「介護する人を支えるために」 介護者サロン体験 ・情報提供「知って得する介護の知識」 ・介護者サロンの紹介、事例報告、交流 ・今日のまとめ				講師：堀越栄子さん (一般社団法人 日本ケアラー連盟代表理事) ファシリテーター：大家けい子さん (認定NPO法人 さいたまNPOセンター越谷事務所) 情報提供：越谷市地域包括ケア課職員 事例報告：村松治子さん (介護者の集い「オアシス」) 介護者サロン「ティータイム」、 介護者の集い「オアシス」スタッフ			
参加人数		女 14人	男 5人	その他 0人	計 19人	参加率	100%	満足度	83%
参加者の感想		<ul style="list-style-type: none"> ・よいお話をたくさん聞いてよかったです。もっと時間があつたらと思いましたので、またの機会をお願いします。 ・自分の知らない知識が多く、知ることができてよかったです。自分なりにもう少し調べてみたいと思います。 ・介護者支援の必要性について、あらためていろいろ知ることができました。新しい情報も得ることができてよかったです。 ・ヤングケアラーの記事を新聞で見て、もう少し内容を深めたいと思っていたので、グッドタイミングの講座でした。 ・興味のあるテーマのお話を十分お聞きできました。 							



事業名	自分らしい働き方をかなえる職場復帰準備講座							
事業形態	主催	協働先	NPO法人 子育てサポーター・チャオ					
目的	<ul style="list-style-type: none"> 希望する職場復帰やこれからの働き方を自ら選び取り、実現するための考えを深める。 保育所入所に向けた活動や復職後の生活と働き方の変化、復職後のさまざまな障壁の乗り越え方などを知ること、職場復帰に対する疑問や不安を解消し、女性の就労継続を支援する。 							
対象者	市内在住の育休中または育休取得予定の女性							
募集人数	各回8人	回数	3回	保育	あり			
開催場所	「ほっと越谷」セミナールーム							
日時	内 容			講 師				
9月5日(日) 10:30~12:00	第1回 「これからの働き方を考えるために自分軸をつくる」 (参加者 女6人)			堀江咲智子さん (働き方改革コンサルタント)				
9月12日(日) 10:30~12:00	第2回 「どう乗り越えた？先輩ママの復職ストーリー」 (参加者 女5人)			職場復帰した先輩ママ 2人 ファシリテーター (NPO法人 子育てサポーター・チャオスタッフ)				
9月16日(木) 10:30~12:00	第3回 「どう考える？私らしい職場復帰」 (参加者 女4人)			越谷市保育入所課職員 ファシリテーター (NPO法人 子育てサポーター・チャオスタッフ)				
	※パートナー参加者 延べ5人(第1回 男3人、第2回 男2人)							
参加人数	女 15人	男 -	その他 0人	計 15人	参加率	63%	満足度	93%
参加者の感想	<p>第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> 夫婦の価値観の違いのすり合わせは、当人同士では難しく感じますが、講座で先生から伝えられると相手のことを認めようと思えます。お互いの違いを尊重し合いながら頑張ります。 復職後に、会社の育児・介護の両立への考えや準備について確認したくなる話題でした。今で精一杯ですが、少し長い目で見てみるという内容やワークショップが楽しかったです。 <p>第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> メンタル的な部分でアドバイスや経験談を聞いたのが参考になりました。それぞれの家庭の状況の中で工夫し、少しでも楽になるような努力をされているお話が聞いてよかったです。 <p>第3回</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育園の手続きが知れました。市の保育入所課のお話を聞いてよかったです。同じように育休中のママさん達の話聞いて悩んでいることなどを話せてよかったです。 							



自分らしい働き方をかなえる 職場復帰準備講座

「希望する職場復帰やこれからの働き方を自ら選び取り、実現するための考えを深める。保育所入所に向けた活動や復職後の生活と働き方の変化、復職後のさまざまな障壁の乗り越え方などを知ること、職場復帰に対する疑問や不安を解消し、女性の就労継続を支援する。」

1 9/5日 10:30~12:00 これからの働き方を考えるために自分軸をつくる
講師: 堀江咲智子さん(働き方改革コンサルタント)

2 9/12日 10:30~12:00 どう乗り越えた？先輩ママの復職ストーリー
講師: 職場復帰した先輩ママ 2人(ファシリテーター)

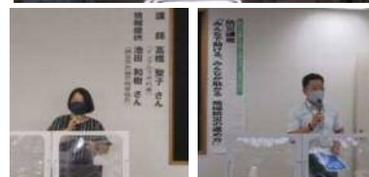
3 9/16日 10:30~12:00 どう考える？私らしい職場復帰
講師: 越谷市保育入所課職員(ファシリテーター)

【主催・申込先・会場】 越谷市男女共同参画センター「ほっと越谷」
〒343-0025 越谷市大宮3丁目6番1号
電話: 048-970-7411 FAX: 048-970-7426
ホームページ: https://hot-koshijyo.jp

【協賛】 NPO法人 子育てサポーター・チャオ



事業名	防災講座 みんなが助かる、みんなで助ける 地域防災の進め方							
事業形態	主催	協力先	越谷市危機管理室					
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・女性が地域防災の現場でリーダー役割を担えるようエンパワーメントするとともに、防災の現場における女性の参画の推進や活動を、地域が後押しするための環境を整備する。 ・防災に関する知識の普及において、災害から受ける影響やニーズは女性と男性で異なること、男女共同参画の視点や多様性に配慮した防災対策を講じることの重要性を伝える。 							
対象者	市内在住・在勤・在学の人、テーマに関心がある人							
募集人数	40人	回数	1回	保育	あり			
開催場所	「ほっと越谷」セミナールーム							
日時	内 容			講 師				
9月11日(土) 10:30~12:00	講話「Withコロナ時代の防災とは」			高橋聖子さん (インクルラボ代表)				
9月11日(土) 13:00~14:30	情報提供&「マイ・タイムライン」作成の考え方			越谷市危機管理室職員				
	※感染症対策のため、同一プログラムを午前午後2回実施							
参加人数	女 10人	男 22人	その他 0人	計 32人	参加率	80%	満足度	77%
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会館を避難所開設するにあたって、とても参考になりました。大切な地域の方々に対して、女性の立場で役に立つことを考えて行きたいと思います。本日の受講をきっかけに多くの女性の協力を得ていくことに努力していきたいです。 ・防災のポイントがよくわかりました。避難所運営の注意点もわかりました。 ・自治会より参加しましたが、高橋さんの体験によるお話や、市からのガイドブックを基にしたお話を聞き、参考になることが多々ありました。もっと深く考え、読み進むきっかけになりました。 ・総合防災ガイドブックの読み方を教えてもらい、すぐ家族とも話したいと思いました。この経験を生かし、地域でも話し合いたいと思います。 							



事業名	あなたのペースで、ゆったりと ころとからだのケア —長引くコロナ、不安やストレスを感じていませんか？							
事業形態	主催							
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本やアートを通じて女性が本来の自分の力に気づき、自己肯定感を高められるように、安心・安全な場を提供する。 ・ワークを通して参加者が他の参加者とつながることで、他者との関係性回復のきっかけを作る。あわせて地域のさまざまな活動につながるための情報を提供する。 							
対象者	コロナ禍で不安やストレスを感じている女性、テーマに関心がある女性							
募集人数	各回12人	回数	2回	保育	あり			
開催場所	「ほっと越谷」セミナールーム							
日時	内 容				講 師			
1月29日(土) 14:00~16:00	第1回「絵本の中の私と出会う」 (参加者 女14人 男0人 その他0人 計14人)				第1回、第2回とも 海原由佳さん (カウンセラー、公認心理師)			
2月5日(土) 14:00~16:00	第2回「つながりのアート」 (参加者 女13人 男0人 その他0人 計13人)				小野由理さん (ファシリテーター)			
参加人数	女 27人	男 -	その他 0人	計 27人	参加率	100%	満足度	93%
参加者の感想	<p>第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせはすごく癒されました。皆での作業はとても楽しかったです。 ・夢中になって自分のためになる時間が過ごせたことに感謝です。 ・絵本『きょうというひ』の読み聞かせからのキャンドルホルダー作り、よかったです。ホルダーの中に自分の大切なものが入っているようです。 ・子どもの心に戻れたような気がします。 <p>第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ関心を持つ人と作業したり、気持ちをシェアできてとても豊かな気持ちになりました。 ・気にかかっていたことが表現できた。夢中になれたから。 ・素材を人から選んでもらって、その中から、自分で自由に選ぶのが楽しかったです。 ・今回も楽しかったです。癒されました。 							



事業名		リプロダクティブ・ライツと日本の中絶の問題点 ～安心・安全な中絶を考える～							
事業形態		主催	協働先	埼玉県立大学					
目的		<ul style="list-style-type: none"> ・リプロダクティブ・ライツの概要をわかりやすく伝える。 ・世界と日本の中絶の現状を知らせ、日本の問題点を考える。 ・安心・安全な中絶に関する情報を提供する。 							
対象者		越谷市在住・在勤・在学の人、テーマに関心がある人							
募集人数		30人	回数	1回	保育	あり			
開催場所		「ほっと越谷」セミナールーム							
日時		内 容				講 師			
5月30日(日) 14:00～16:00		リプロダクティブ・ライツと日本の中絶の問題点 ～安心・安全な中絶を考える～				塚原久美さん (中絶問題研究者、中絶ケアカウンセラー)			
参加人数		女 26人	男 0人	その他 0人	計 26人	参加率	87%	満足度	96%
参加者の感想		<ul style="list-style-type: none"> ・中絶についての日本と世界の状況のちがいが大きくてびっくりしました。 ・リプロダクティブ・ライツに関する日本の現状や課題、諸外国の状況を知ることができて、どのような取り組みが必要なのか考えるきっかけになりました。 ・日本では、性に対する「恥」「罪悪感」「タブー視」、女性差別的な思想(男尊女卑)など、男女の関係性が平等でないから、世界の性、安心・安全な中絶と格差がたいへん大きいことを思い知りました。 ・自分が今まで知らなかった考え方、知識を学べたので、参加してよかったです。最後に塚原さんが話していたように、学ぼうとする意識や気持ちが大事で、必要だと感じました。 ・なかなか聞けない内容に触れられて、タブーを取り除いてくれるひとつとして、とてもおもしろかったです。日本の女性の現状も話してくださり、自分が置かれている今をあらためて考えさせられました。 							



【性と生殖に関する健康と権利についての講座】

リプロダクティブ・ライツと日本の中絶の問題点
～安心・安全な中絶を考える～

【日時】2021年5月30日(日)14:00～16:00
【講師】塚原 久美さん (中絶問題研究者、中絶ケアカウンセラー)

【お申し込み】
【お申し込み先】
【お申し込み方法】
【お申し込み期限】
【お申し込み料】
【お申し込みの問い合わせ先】



事業名	もしかしてDV? 束縛と暴力、それが“愛”だと思ってた。							
事業形態	共催	共催先	越谷市人権・男女共同参画推進課 越谷市女性・DV相談支援センター					
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の体験談からデートDVの基礎知識を学び、DV防止の意識啓発を図る ・デートDVがおよぼす心と体への影響を知るとともに、被害者の支援について考える ・越谷市女性・DV相談支援センター(配偶者暴力相談支援センター)の女性相談・DV相談の相談窓口を市民に周知する。 							
対象者	市内在住・在勤・在学の人、テーマに関心がある人							
募集人数	50人	回数	1回	保育	あり			
開催場所	「ほっと越谷」セミナールーム、オンライン(Zoom)							
日時	内容				講師			
12月18日(土) 14:00~16:00	講演「『酔うと化け物になる父』のいる家で育った私のこと」 「越谷市女性・DV相談支援センター」について 質疑応答 ※会場参加者 31人、オンライン参加者 16人				菊池真理子さん (漫画家) 越谷市女性・DV相談支援センター相談員			
参加人数	女 41人	男 6人	その他 0人	計47人	参加率	94%	満足度	78%
参加者の感想	会場参加者 ・DVが身体的なものよりも精神的なものの方が多いと知らず、驚きでした。人に話すことや助けを求めることが大事だとあらためて思いました。 ・DVや虐待、それ以上に「不安定な環境」で生きている子どもに対して、できることを教えてもらいました。 ・実体験から、育ってきた家庭環境、DV被害者の方の感覚や考え方を知ることができ、貴重なお話が聞けました。また、さまざまな方の実体験を漫画にまとめている先生だからこそ、DVやデートDVに関する基礎知識等、大変わかりやすく伝えていただきました。 オンライン参加者 ・オンライン開催のおかげで、遠方に住んでいるのに講演を聴くことができました。 ・画面が見にくかったです。チェックリストなど、ある程度プリントを配布してほしかったです。							



もしかしてDV?
束縛と暴力、それが“愛”だと思ってた。
—「酔うと化け物になる父」のいる家で育った私のこと—

日時 令和3年 12月18日(土) 14:00~16:00
会場 越谷市男女共同参画推進センター「ほっと越谷」セミナールーム

講師 菊池真理子(漫画家) 菊池真理子(漫画家) 菊池真理子(漫画家)

参加費 会場参加者 500円(オンライン参加者 200円)

申し込み 越谷市女性・DV相談支援センター(ほっと越谷) 電話:048-922-1111 FAX:048-922-1112



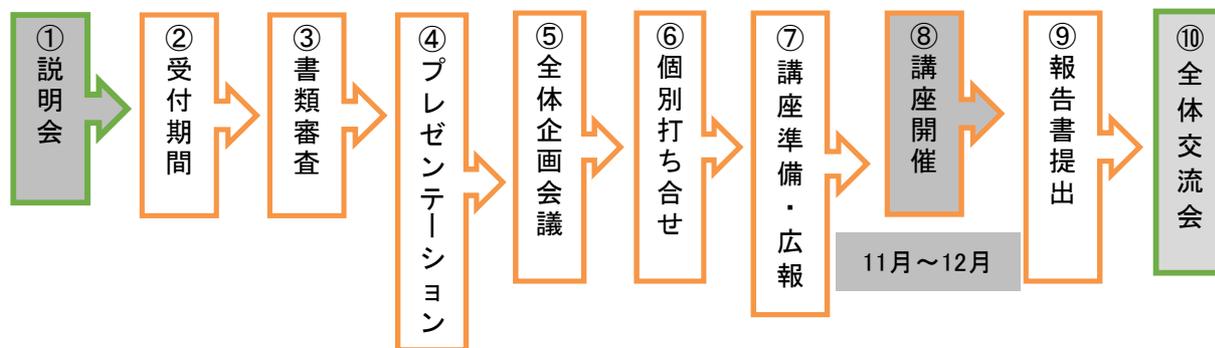
事業目的

市民公募型男女共同参画事業は、「ほっと越谷」登録団体やその他の市民団体との協働により、男女共同参画に関する講座の企画・運営を行う事業である。市民団体と「ほっと越谷」が協働で事業を実施することにより、団体の活動を支援するとともに、越谷市の男女共同参画を推進することを目的としている。

平成27年度までは、複数の「ほっと越谷」登録団体が協働で開催する「大人の学校」を実施してきたが、平成28年度からは登録団体以外の市民団体にも対象を広げ、男女共同参画推進に寄与する講座等の企画を公募し、選ばれた企画事業を開催する現在の「市民公募型男女共同参画事業」の形となった。

令和3年度は、審査会による書類選考とプレゼンテーションにより、「ほっと越谷」登録団体3団体と、その他の市民団体1団体による計4事業の開催を決定した。また、令和2年度の1月に開催予定だった講座が新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期になり6月に開催、令和3年度は計5事業の開催となった。団体には、「ほっと越谷」が講座企画・運営費として助成金を付与するとともに、会場の提供、広報等の支援を行った。

令和3年度「ほっと越谷」市民公募型男女共同参画事業スケジュール



- ①説明会 5月22日(土)13:30～
- ②受付期間 6月4日(金)～7月9日(金)17:00まで
- ③書類審査(結果送付) 7月25日頃
- ④プレゼンテーション 8月5日(木)13:30～
※決定通知送付 8月11日頃
- ⑤全体企画会議 8月21日(土)13:30～
- ⑧講座開催 11月～12月
- ⑩全体交流会 2月1日(火)13:30

◆市民公募型男女共同参画事業採択団体

《登録団体》

- ・ファミリーネットさいたま(越谷支部)
- ・特定非営利活動法人 NESげんこつ
- ・一般社団法人 多文化共生コスモ越谷
- ・CAP東埼玉

※令和3年1月開催予定の延期講座として6月に開催

《一般団体》

- ・NPO法人 地域こども包括支援センター



事業名		全体企画会議			
目的	<ul style="list-style-type: none"> 各団体の講座内容に、男女共同参画の視点を盛り込むための基本情報を確認する。 講座を実施するにあたっての広報等について確認する。 事業を開催する団体間の交流を図る。 				
対象者	4 団体	参加人数	女 3人	男 2人	計 5人
開催場所	「ほっと越谷」セミナールーム				
日時	内 容				
8月15日(土) 13:30~15:30	<ol style="list-style-type: none"> 各団体より団体・企画内容の紹介 講座実施日の確認と事務局との調整、企画会議日程確認 団体と事務局の役割分担確認 チラシ掲載内容等についての確認 アンケート、講座開催時等の確認 事業報告について 				



事業名		全体交流会			
目的	<ul style="list-style-type: none"> 各団体が実施した事業を報告する。 事業を実施した団体間の交流を図る。 				
対象者	4 団体	参加人数	女 2人	男 2人	計 4人
開催場所	「ほっと越谷」セミナールーム				
日時	内 容				
2月1日(火) 13:30~14:30	<ol style="list-style-type: none"> 各団体より事業報告と感想、質疑応答 交流会 				
団体の感想	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の視点から70ある事業所から何を選ぶか、どう選ぶか、放課後等デイサービスの活動によりどのようなことができるのか等の情報提供ができた。放課後に子どもを預けることで、親以外と関わり一緒に育てる提案ができた。 講座の開催をきっかけに、これまで子ども食堂の担い手がいなかった地区に新たな子ども食堂がオープンした。講座では理念や姿勢についての話が中心だったが、団体のつながりの中で具体的な立ち上げや実務面のノウハウを支援した。 学校関係者に直接講座の情報を伝えたかったが、難しかった。ワークショップでは「やさしい日本語」をキーワードに、学校現場の手紙の書き方だけでなく、誰にとってもわかりやすい日本語について考えることができた。 子どもに「自分を守ること」を伝えるために、まずは大人自身が性暴力防止の正しい知識を待つことが必要。プログラムを通じて、子どもの様子から被害の兆しに気づくポイントや、適切な対応を具体的に知ること、大きな問題になる前に被害を防止する環境づくりにつながる。 				



事業名	家庭・仕事・子育ての人間関係がぐっと楽になるコミュニケーション講座～心の境界線(バウンダリー)を知ろう～							
事業形態	協働	主催	ファミリーネットさいたま(越谷支部)					
目的	・健全な人間関係を築くための基礎となる心の境界線(バウンダリー)の考え方を学ぶことにより、自分も相手も大切に、よりよいコミュニケーションを身につける。							
対象者	子育て中またはテーマに関心がある20～50代の女性							
募集人数	各回20人	回数	2回	保育	あり			
開催場所	「ほっと越谷」セミナールーム							
日時	内容				講師			
6月17日(木) 10:00～12:00	第1回講座	(女16人)	第1回、第2回とも 三浦輝江さん (NPO法人 子どもの環境を守る会 Jワールド理事長)					
7月15日(木) 10:00～12:00	第2回講座	(女17人)						
参加人数	女 33人	-	その他 0人	計 33人	講座参加率	83%	満足度	97%
参加者の感想	<p>第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が感情においてバウンダリーが引けていないことがわかりました。これからも実践していきたいです。 人間関係で悩んでいましたが、心の境界線を学び、少し楽になりました。 ことばにすることの大切さを、子育てでも必要なことがわかりました。 <p>第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のことがよくわかり、そのうえで、人とどう接していけばよいかわかってきました。 お話がわかりやすく、他の方とのディスカッションも楽しかったです。 バウンダリーの考え方はすべての人間関係に大切な価値観。特に子育てに必要と感じました。 子育ての中で子どもと向き合うこと、自分と向き合うことの大切さがわかりました。 							

令和3年度「ほっと越谷」市民公募型男女共同参画事業

家庭・仕事・子育ての人間関係がぐっと楽になるコミュニケーション講座

～心の境界線(バウンダリー)を知ろう～

【2回連続講座】

第1回(開催日: 2021年 6月 17日(木)) | いずれも
第2回(開催日: 2021年 7月 15日(木)) | 10時～12時

親子コミュニケーションは、子育てや職場の人間関係の中でも、これほど大切なコミュニケーションであること、あまり知られていない。子育てや職場の人間関係と向き合い、人と人との適切な距離感を身につけることは、子育てや職場の人間関係を円滑にするために必要不可欠です。心と体の境界線(バウンダリー)を知り、自分らしく生きることを目指しましょう。

講師 三浦輝江さん (NPO法人子どもの環境を守る会 Jワールド 理事長)

会場 「ほっと越谷」セミナールーム

対象者 子育て中またはテーマに関心がある20～50代の女性

定員 20人(参加費無料) ●お申し込みは、お申し込みフォームから

お申し込み 第1回: 6月17日(木) | 第2回: 7月15日(木)

お申し込み先: 「ほっと越谷」事務局 | 電話: 048-748-7411

お申し込み先: 子育て支援センター | 電話: 048-748-7411

お申し込み先: ファミリーネットさいたま(越谷支部) | 電話: 080-7688-1636(携帯) | 070-5366-0484(利用)

メール: faminet_saitama@yahco.co.jp | 申し込みフォーム: [こちら](#)



事業名	子どもの居場所になる！子育ての相談相手になる！ 放課後等デイサービス活用ガイド					
事業形態	協働	主催	特定非営利活動法人 NESげんこつ			
目的	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの成長・発達に不安を感じる保護者や支援者を対し、障がい児通所支援の「放課後等デイサービス」の利用方法や活用の仕方、活動の様子について情報提供する。 「放課後等デイサービス」が子どもにとっての居場所であるだけでなく、保護者にとっても支援員に子育ての悩みを相談し共有できる「場」であることを伝え、保護者自身の就労やワーク・ライフ・バランスの見直しなどを考える機会とする。 					
対象者	子どもの成長・発達に不安を抱える保護者、テーマに関心がある人					
募集人数	20人	回数	1回	保育	あり	
開催場所	「ほっと越谷」セミナールーム					
日時	内 容				講 師	
8月22日(日) 10:00～11:30	担当者企画会議 (男1人)				講師: 小田原康央さん (特定非営利活動法人 青藍会相談支援事業所A4管理者) 協力・情報提供: 越谷・松伏放課後等デイサービス連絡協議会スタッフ	
11月7日(日) 14:00～15:30	担当者企画会議 (男1人)					
11月20日(土) 14:00～16:00	講座 (女16人)					
参加人数	女 16人	男 2人	その他 0人	計 18人	講座参加率	80% 満足度 94%
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・知らないことを教えていただき満足です。 ・支援者・指導者として、放課後等デイサービスの実態や詳しい内容を学ぶことができました。 ・放課後等デイサービスに関する細かな説明が多かったです。わかりやすい内容でした。 ・知りたい情報を得られました。貴重な機会をありがとうございました。 ・自分だけでは得られない情報が聞けて、不安が減りました。 ・放デイについて知ることができました。写真などで実際の様子がわかってよかったです。 ・わかりやすくとてもよかったです。地域相談のことなど教えてくださり、ためになりました。 					



事業名	子どもや働く保護者を一緒に支えませんか？ はじめての「こども食堂」講座							
事業形態	協働	主催	NPO法人 地域こども包括支援センター					
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・深刻化する子どもの貧困を背景として、地域で生活困窮家庭への支援を行う「こども食堂」の活動と存在意義をより多くの人に知らせる。 ・経済的困難だけでなく、さまざまな困難を抱えた人々が集う地域の居場所として、また「意味のある大人との出会いの場」としての「こども食堂」の役割について伝える。 							
対象者	市内在住・在勤・在学の人、テーマに関心がある人							
募集人数	30人	回数	1回	保育	あり			
開催場所	「ほっと越谷」セミナールーム							
日時	内 容				講 師			
8月26日(木) 14:00~15:00	担当者企画会議 (男1人)				野口和幸さん (NPO法人 地域こども包括支援センター顧問 埼玉県子ども食堂ネットワーク顧問 こども応援ネットワーク埼玉発起人)			
11月17日(水) 14:00~15:00	担当者企画会議 (男1人)							
11月27日(土) 10:00~12:00	講座 (女21人、男12人)							
参加人数	女 21人	男 14人	その他 0人	計 35人	講座参加率	100%	満足度	85%
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで子ども食堂について学ぶ機会がなく、今日初めて知ることがたくさんあり、とても勉強になりました。自分でもできることを何か考えようと思います。 ・学習支援に興味がありました。これなら自分にもできると思っていました。何かキッカケになるものを探せるかなという思いになりました。 ・きちんとした子ども食堂の方向性を示していただき、満足です。 ・子ども食堂を運営する上での理念の大切さを認識しました。継続して運営できるよう、やってみたいと思いました。 ・子ども食堂についてもっと知りたかった。理念と実務について知りたかった。 ・具体的な例で貧困の状態が知れて、近所の方々と積極的にコミュニケーションをとっていくことから始めようと思った。 							



事業名	やさしい日本語を体験してみよう～学校現場の手紙から～					
事業形態	協働	主催	一般社団法人 多文化共生コスモ越谷			
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・定住する外国人の増加に伴い、やさしい日本語の必要性が迫られている。学校現場で飛び交う日本語の理解に困難を感じる外国人保護者が多い。学校関係者を中心に、やさしい日本語の基本的な考え方や必要性について、ワークショップ形式で考える機会を提供する。 ・やさしい日本語についてのワークショップを通して、多文化理解を深め、さまざまな国籍や多様な文化を持つ人々が共に安心して暮らせる地域づくりに寄与する。 					
対象者	学校関係者、テーマに関心がある人					
募集人数	30人	回数	1回	保育	あり	
開催場所	「ほっと越谷」セミナールーム					
日時	内 容				講 師	
9月14日(火) 18:00～19:15	担当者企画会議 (女2人)				奥村裕子さん (東京アジア学会副校長) 三枝優子さん (文教大学外国人留学生別科教務主任) 山浦育子さん (自治体国際化協会認定 多文化共生マネージャー)	
11月17日(水) 18:00～19:00	担当者企画会議 (女2人)					
11月28日(日) 14:00～16:00	講座 (女8人、男6人)					
参加人数	女 12人	男 6人	その他 0人	計 18人	講座参加率	47% 満足度 64%
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい日本語が体験できてよかったです。これからもやさしい日本語について考えていきたいと思います。 ・学校現場でどのような日本語が使われているのか把握できました。 ・期待通りですが、ワークショップの時間はもう少し長いとよかったです。 ・興味をそそる内容と、文章を読み上げるだけのものが混在していました。 ・大変勉強になりました。 ・修正のワークの時間がもっと必要でした。学校文化の説明の時間を短縮する方がよいと思います。 ・全員参加型の活動で時間はありませんでしたが、参加者同士のコミュニケーションがあったので、身になりました。 					



やさしい日本語を体験してみよう
 ～学校現場の手紙から～
日時：11月28日(日) 14:00～16:00
 外国にルーツを持つ児童生徒が増える学校現場は多文化共生社会の最前線となっています。本講座で「やさしい日本語」をワークショップ形式で体験しましょう。
講 師：奥村裕子さん(東京アジア学会副校長)
三枝優子さん(文教大学外国人留学生別科教務主任)
山浦育子さん(自治体国際化協会認定 多文化共生マネージャー)
会 場：越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」
対 象：学校関係者などのテーマに関心のある方
定 員：30人(事前予約制)
参加費：無料(駐車・駐車場は有料)
保 育：あり (13歳未満の児童が参加する場合は、保育料・保育料を別途お支払いください。保育料は、保育料(10,000円)と保育費(10,000円)です。)
主 催：一般社団法人 多文化共生コスモ越谷
 メール: tabunkaikosmo@gmail.com 電話: 090-8510-9922
 所在地: 越谷市神保町新保(1055)を2階に設けています。 申し込みコード: 18000000000000000000
 主催: 越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」



事業名		自分のからだは自分のもの！勝手にさわるのNo!!					
事業形態		協働		主催		CAP東埼玉	
目的		<ul style="list-style-type: none"> ・CAPプログラムの体験やワークを通じて、性暴力防止のための知識を知り、子どもに対して「自分を守ること」をどのように伝えていくかを学ぶ。自分自身の「性」に対する感覚や考えの偏りに気づく。 ・子どもから性暴力を受けている話を聞いた場合の対応や被害の兆しに気づくためのポイント等を学び、子どもへの性暴力防止の環境づくりについて考える。 					
対象者		子どもの安全を守りたい大人					
募集人数		20人		回数		1回	
				保育		あり	
開催場所		「ほっと越谷」セミナールーム					
日時		内 容				講 師	
8月21日(土) 14:30~15:30		担当者企画会議 (女1人)				CAP東埼玉スタッフ	
11月9日(火) 15:00~15:30		担当者企画会議 (女2人)					
12月5日(日) 10:00~12:00		講座 (女12人、男2人)					
参加人数		女 15人		男 2人		その他 0人	
				計 17人		講座参加率	
						70%	
						満足度	
						100%	
参加者の感想		<ul style="list-style-type: none"> ・3人の孫がいるので現状を知り知識をつけたいと参加しました。専門性のある学びでとてもよかったです。 ・伝えたいメッセージが丁寧にわかりやすく伝わってきました。 ・学びの深い時間を過ごすことができました。参加費が無料だったため参加できました。 ・性暴力対応のお話がよかったです。 ・子連れで参加させていただきました。とても配慮していただき、本当にありがとうございました。 					



2. 情報事業

令和3年度の「ほっと越谷」情報事業は、市民に向けてわかりやすく、タイムリーな情報発信に努めました。情報誌「みてみてほっと越谷」では、「ほっと越谷」の開設20周年を記念して特集を組むとともに、第4次越谷市男女共同参画計画をわかりやすく解説しました。誌面では男女共同参画に関わる活動を行う地域の団体や市民に取材するなど、読みやすい情報誌づくりを心がけました。

令和3年度はパネル展示を9回実施しました。7月の「ほっと越谷」開設20周年記念事業では、越谷市中央市民会館ホワイエにおいて「ほっと越谷」の年表、登録団体の紹介、情報誌「みてみてほっと越谷」の創刊号からのバックナンバーの展示を行いました。「ほっと越谷」内では、三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」、UN Women 日本事務所等、外部団体のご協力をいただき、充実した展示を実施しました。展示内容はホームページやツイッターでも紹介しています。

●情報誌の発行

年2回(7月・2月)発行の情報誌「みてみてほっと越谷」では、今年度は開設20周年と第4次越谷市男女共同参画計画を特集テーマとして取り上げました。

第49号では、「『ほっと越谷』開設20周年を迎えて これまでとこれから一市民とともに進める越谷市の男女共同参画」を特集しました。長年にわたって「ほっと越谷」を見守ってくださった市民、関係者の方々にお話を聞き、写真と年表でこれまでの歴史を振り返りました。

第50号では「みんなで見てみよう！第4次越谷市男女共同参画計画」「男女共同参画計画を推進するために～市民と考える越谷市の未来」の2つの特集を組みました。第4次男女共同参画計画について、具体的な施策や「ほっと越谷」での事業を通してわかりやすく伝えました。計画策定を受け、市民とともに越谷市の未来を考えた「ほっと越谷」開設20周年記念事業を取り上げました。

●ホームページ、メールマガジン、ツイッターでの発信などデジタルメディアの活用

ホームページでは、「ほっと越谷」の情報が必要な人に届くように、迅速でわかりやすい情報発信を行っています。「ほっと越谷」開設20周年にあたって、ホームページ上に特設ページを設置し、トップページのキービジュアルからリンクして、開設20周年記念事業のプログラムを詳しくお伝えしました。さらに、トップページに「ほっと越谷」のイチオシ講座のインデックスを作成し、「男女共同参画」「防災」「女性の起業」「性の多様性」「男性対象」「就労」の6つのテーマで過去5年分の講座事業を一覧で見られるようにしました。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために変更になった施設の利用方法については、トップページの〈重要なお知らせ〉欄から、すみやかな情報提供を行いました。

毎月1回講座やイベント情報を発信するメールマガジンは登録者が年々増加し、メールマガジンを見て講座に参加申込みする人も多く、重要な情報発信ツールとなっています。あわせてツイッターからの発信、越谷市のシティメール配信なども利用し、さまざまなデジタルメディアを活用して効果的な情報発信に努めました。

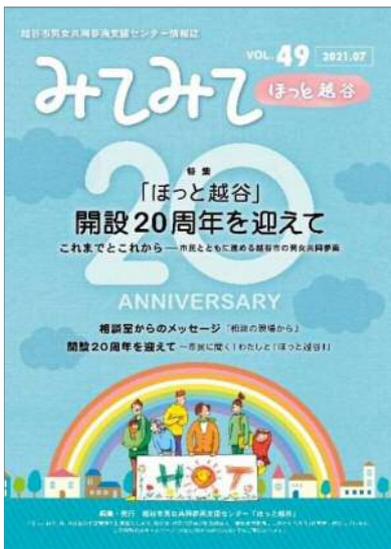
●デートDV防止に関するリーフレットの発行

「ほっと越谷」では、長年にわたって市内外の高校へデートDV防止の出前講座を実施してきました。その経験から早期のデートDV防止啓発教育の必要性を感じ、中学生を対象とした啓発リーフレットの作成に取り組みました。中学生が手に取りやすい、わかりやすいデートDV防止啓発リーフレットを企画検討し、掲載する内容を精査し、議論を重ねました。デートDVの情報に加えて、昨今問題になっている写真や動画に関するトラブルの注意喚起も盛り込んでいます。完成したリーフレットは市内16校の中学校の保健室にそれぞれ100部ずつ送付しました。またリーフレットの内容を拡大して、市庁舎ロビーや「ほっと越谷」交流コーナーにおいてパネル展示し、多くの来場者・来所者にご覧いただきました。

事業目的

「ほっと越谷」設立時から年2回(7月、2月)、情報誌「みてみてほっと越谷」を発行している。情報誌は、市の施設などで配布するほか、自治会での回覧やホームページ掲載など、より多くの市民に届けられるような工夫を行っている。内容については、特集記事のテーマに身近な問題を取り上げ、市民やグループ・団体に取材して、手に取りたくなるような誌面づくりを心がけている。今年度は開設20周年にあたり、周年行事などのイベントが実施されたこともあり、多くの市民・登録団体の方々にご協力いただき、誌面で取り上げさせていただいた。

発行部数	回数	配布先
第49号 14,000部 第50号 13,000部	年2回	自治会(回覧)、市議会議員、記者クラブ、越谷市各部署課所(市施設等)、各地の男女共同参画センター等の関連施設



第49号の内容

- 特集 「ほっと越谷」開設20周年を迎えて
これまでとこれから—市民とともに進める越谷市の男女共同参画
- 相談室からのメッセージ「相談の現場から」
- 開設20周年を迎えて～市民に聞く「わたしと『ほっと越谷』」

特集 「ほっと越谷」開設20周年を迎えて

これまでとこれから—市民とともに進める越谷市の男女共同参画

2001年開設の「ほっと越谷」は今年、20周年を迎えた。開設から20年の歩みを初代所長の青木玲子さんが振り返り、今後の「ほっと越谷」を展望した。写真と年表で「ほっと越谷」の歴史を振り返った。この20年の変化をデータから読み解き、また「ほっと越谷」に関わってきた市民の皆さんに「わたしと『ほっと越谷』」について語っていただいた。



第50号の内容

- 特集 1.みんなで見てみよう！第4次越谷市男女共同参画計画
2.男女共同参画計画を推進するために～市民と考える越谷市の未来
- 相談室からのメッセージ「相談支援体制のさらなる充実をめざして」
- 「ほっと越谷」登録団体活動紹介
きりり／一般社団法人 多文化共生コスモ越谷

特集 1.みんなで見てみよう！第4次越谷市男女共同参画計画

2.男女共同参画計画を推進するために～市民と考える越谷市の未来

越谷市では2021年3月に「第4次越谷市男女共同参画計画」を策定した。性別にかかわらず誰もが暮らしやすい社会を実現するために、どのような施策が進められていくのか、誌面でわかりやすく解説した。この計画策定を受けて、地域から男女共同参画を推進するために、市民とともに越谷市の未来を考えた事例として、開設20周年記念事業の登録団体分科会発表とパネルディスカッションを取り上げた。

【読者の感想】

- ・開設前から関わってきたので、「写真と年表で振り返る『ほっと越谷』の20年」はとても懐かしく思いました。市民に聞いた「わたしと『ほっと越谷』」もとても興味深く、みんなの思いがあふれています(第49号)。
- ・ふだん見聞きしない行政の計画が身近に感じられました。開設20周年記念事業についてのページがあって、とてもよかったです(第50号)。

事業目的

「ほっと越谷」を広く知ってもらうために、ホームページやツイッター、また越谷市のシティメールなどデジタルメディアを活用して、講座・イベントの案内やパネル展などさまざまな情報を発信してきた。令和3年度は、「ほっと越谷」開設20周年にあたり、ホームページ上に特設ページを設置し、トップページのキービジュアルからリンクして開設20周年特設ページへと誘導した。さらに今年度、トップページに「ほっと越谷」のイチオシ講座のインデックスを作成し、テーマ別に過去5年分の講座事業を閲覧できるようにした。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のために変更になった施設の利用方法については、トップページの<重要なお知らせ>欄からのすみやかな情報提供を心がけた。

<トップページ キービジュアル>
開設20周年を祝して、特設ページへの誘導として「ほっと越谷」オリジナルのイラストを活用したキービジュアルをトップページに配置した。



<第20回七夕フェスタ「ほっと越谷」開設20周年記念事業ページ>
7月3日(土)越谷市中央市民会館で開催した「ほっと越谷」開設20周年記念事業のプログラムを紹介した。



<「ほっと越谷」イチオシ講座>
「男女共同参画」「防災」「女性の起業」「性の多様性理解促進」「男性対象」「就労」の6つのテーマで過去5年分の講座をまとめ、掲載した。

<イチオシ講座 詳細ページ>
講座の趣旨や特徴を紹介し、歴年で過去5年分の講座を収録した。「ほっと越谷」でどのような講座事業が行われてきたか、わかりやすく整理して掲載した。



事業名		ほっと越谷 ブックサロンとブックフェア									
事業形態		主催	協働先		市民企画委員会						
目的		<ul style="list-style-type: none"> ・公募した市民で構成する企画委員との協働により、事業を実施する。 ・市民との協働事業により、「ほっと越谷」や所蔵本、図書の貸出しサービスを市民に紹介し、知ってもらおう。 ・「ほっと越谷」所蔵本の紹介や貸出しにより、市民の「男女共同参画」への理解を深める。 									
対象者		テーマに関心がある人									
募集人数		15人	回数		1回	保育		あり			
開催場所		「ほっと越谷」セミナールーム									
日時		内容				講師					
1月23日(日) 14:00～16:00	ブックサロン「本で旅する！私のウキウキ、わくわく探し」 ・参加者による「ほっと越谷」所蔵本などの紹介と意見交換					企画・運営:市民企画委員					
11月11日(木) ～12月12日(日)	ブックフェア「本で旅する！私のウキウキ、わくわく探し」 ※ほかに、企画委員会議を6回開催					板倉芙実さん、大和田昌男さん、川野高敬さん、小島秀樹さん					
参加人数		女 11人	男 5人	その他 0人	計 16人	講座参加率		100%	講座満足度		75%
参加者の感想		<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人の本に対する意見が聞けました。十人十色だなあと感じました。 ・感染対策で人と人(参加者)が離れていたため、話が聞きづらいと心配していたが、むしろ人の言葉に集中することができました。 ・いろんな人、本の出会いが好きです。 ・充実した2時間ではありましたが、半年～1年に1回という開催頻度は少なすぎると思います。2ヶ月に1度程度の開催を検討いただければと思います。 									



「ほっと越谷」ブックサロン
本で旅する！
私のウキウキ、わくわく探し

開催日時: 令和4年(2022年)1月23日(日)14:00～16:00
開催場所: 越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」

「ブックサロン」は、お好きな本でも、お気に入りの本を紹介し合ったり、内容について語り合ったりする楽しい会です。お題を聞くだけのご参加も大歓迎です。ふるってご参加ください！

■参加費: 15人(申込み制)
■参加費: 無料(図書種-種別種別は有料です)
■保育料: あり(1歳から1歳未満まで・乳児5人)
■申し込み: 越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」
電話: 049-274-1111 / ファクス: 049-274-1112
ホームページ: ほっと越谷「ほっと越谷」に電話、ファクス、お問い合わせフォーム、専用で申込み

【申込み・問合せ】
越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」
〒343-0202 越谷市大宮3-6-1 6F 市民活動センター2階
電話: 049-274-1111 / ファクス: 049-274-1112
ホームページアドレス: http://hottokoyasu.jp
※休館日: 月曜・祝日(土曜が祝日の場合は休館日あり)

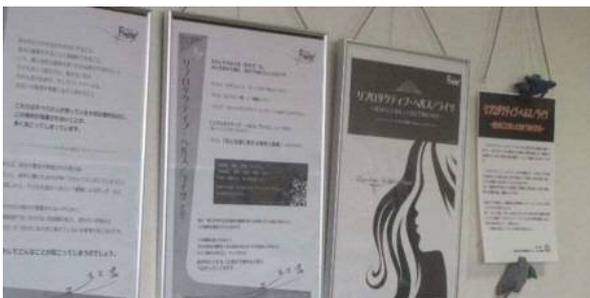
【申し込み・問い合わせ】
越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」
〒343-0202 越谷市大宮3-6-1 6F 市民活動センター2階
電話: 049-274-1111 / ファクス: 049-274-1112
ホームページアドレス: http://hottokoyasu.jp
※休館日: 月曜・祝日(土曜が祝日の場合は休館日あり)



事業目的

男女共同参画についてわかりやすく情報提供するために、「ほっと越谷」や市役所本庁舎ロビーなどを会場にパネル展示を実施している。「ほっと越谷」の主催講座や男女共同参画関連キャンペーンの時期に合わせて、テーマを選び、ブックフェア等と同時開催することで、幅広い情報を提供した。また、本年度は開設20周年を迎えた越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」の歩みを年表と写真で振り返るパネル展示を越谷市中央市民会館ホワイエで開催した。

回	期間	内容
1	4月1日(木)～5月5日(水) 【科学技術体験センター「ミラクル」】	SDGsってなに？未来のためにいまわたしたちができること 主催：科学技術体験センター「ミラクル」 パネル貸出：世界における日本のジェンダーギャップ指数(2019年)
2	4月16日(金)～5月19日(水)	女性とSDGs(持続可能な開発目標) 協力：UN Women日本事務所 共催：越谷市人権・男女共同参画推進課
3	5月19日(水)～6月18日(金)	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ ～自分のことはもっと自分で決められる～ 協力：三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」
4	7月3日(土) 【中央市民会館ホワイエ】	越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」20年
5	9月1日(水)～9月29日(水)	防災・減災と男女共同参画 協力：三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」
6	3月4日(金)～3月11日(金) 【市庁舎ロビー】	国際女性デー ジェンダーギャップ指数とスポーツにおける男女共同参画 共催：越谷市人権・男女共同参画推進課
7	3月8日(火)～3月17日(木)	さいたま初めてガール 協力：桶川市役所



リプロダクティブ・ヘルス/ライツ
～自分のことはもっと自分で決められる～



【中央市民会館ホワイエ展示】
越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」20年



女性とSDGs(持続可能な開発目標)



防災・減災と男女共同参画

事業目的

内閣府では、平成13年から毎年11月12日から25日を「女性に対する暴力をなくす運動」の期間としている。市民にDV防止についての意識啓発を図るために、女性の人権を侵害するDV(ドメスティック・バイオレンス)、セクシュアルハラスメント、ストーカー、性暴力、人身売買などのさまざまな暴力について「ほっと越谷」や市役所本庁舎ロビーなどでパネル展示を実施している。

本年度は、デートDV防止啓発をテーマにパネル展示のほか、デートDV防止啓発リーフレットの作成・配布、DV防止啓発講座の内容をデートDV防止啓発に関連するテーマにするなど、多くの市民にDV防止の啓発を図った。

回	期間	内容
1	11月19日(金)～11月26日(金) 【市庁舎ロビー】	女性に対する暴力をなくす運動 「ほっと越谷」デートDV防止啓発リーフレットとDV防止啓発講座
2	11月27日(土)～12月18日(土) 【ほっと越谷】	女性に対する暴力をなくす運動 「ほっと越谷」デートDV防止啓発リーフレットとDV防止啓発講座

【本庁舎ロビー展示】



DV防止啓発のための“しおり”配布
「それは本当に愛情ですか？」
「悪いのはあなたじゃない」

【ほっと越谷】



DV防止啓発のポスター(内閣府)
DV防止啓発講座のポスター
(「ほっと越谷」にて開催)

事業目的

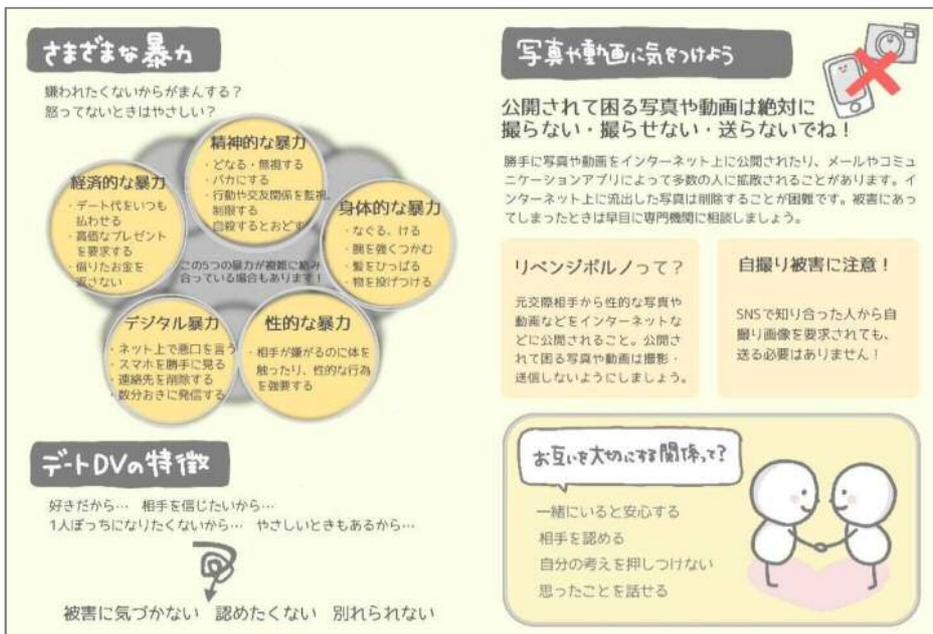
「ほっと越谷」では、市内外の複数の高校にデートDV防止出前講座を実施してきたが、令和2年度以降新型コロナウイルス感染症拡大防止のために多人数参加の出前講座の実施が難しい状況になった。そのため、出前講座に代えて、デートDV防止啓発リーフレット『デートDVってなに?』を作成し、配布することとした。

これまで継続的に高校への出前講座を実施してきた経験から、デートDV防止啓発を早期に行う必要性を感じ、中学生を対象としたデートDV防止啓発が有効であると考えた。中学生が手に取りやすい、わかりやすいデートDV防止啓発リーフレットを作成し、越谷市内にある16校の中学(市立・私立)に配布した。

発行部数	体裁	配布先
2,000部	A4判二つ折り 両面カラー印刷	越谷市内にある中学16校の保健室 1校あたり100部



リーフレット表面には親しみやすく、印象的なイラストを表紙に配置し、相談窓口を複数掲載



リーフレット中面。昨今、問題になっている写真や動画についての注意喚起を盛り込んだ。

事業目的

イベント情報誌「きてみてほっと」(A4判二つ折り、両面カラー印刷)は、年4回発行し、タイムリーに「ほっと越谷」の事業を情報発信してきた。

発行部数	回数	配布先
各号 1,000部	年4回発行 (4月、7月、10月、1月)	越谷市内公共施設、北越谷駅周辺の店舗など



表紙には、イメージ画像とイベント情報の見出しをコンパクトに掲載



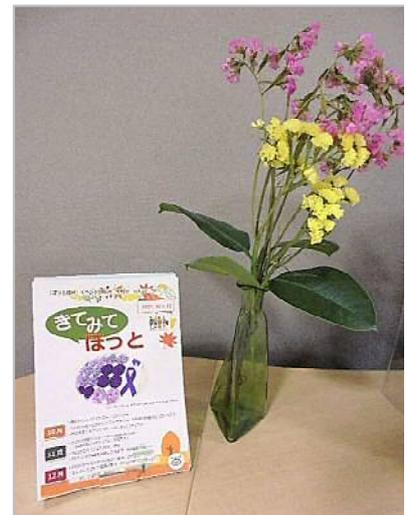
誌面には講座・イベント情報を掲載
今年度からオンライン講座アイコンを追加した。



裏表紙では、新着図書やパネル展示などの情報を紹介



令和3年度に発行した4号
季節に合わせて表紙の色合いを変えた。



「ご自由にお持ちください」
「ほっと越谷」でも配布

事業目的

「ほっと越谷」では、男女共同参画に関する図書・行政資料などを収集し、閲覧・貸出しを行っている。「ほっと越谷」の所蔵本を市民に広く貸出すことで、男女共同参画への理解を深め、男女共同参画の推進を図っている。

貸出しは開所日にいつでも行い、雑誌やミニコミ誌をのぞいた所蔵本について、1人2冊まで、期間は2週間としている。講座開催日の関連本展示や「ブックフェア」など、さまざまな機会に所蔵本を紹介して利用促進に努めている。

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための閉所期間や事業中止の影響で、所蔵本の貸出し冊数も減少したが、今年度は533冊である。この他、「ほっと越谷」職員が寄贈した本で構成する交流文庫の貸出し冊数も253冊と、「ほっと越谷」の所蔵本はたくさんの方に利用されている。



左:新着図書は「ほっと越谷」の入口付近のスペースで紹介

上:絵本コーナーもPOPで工夫

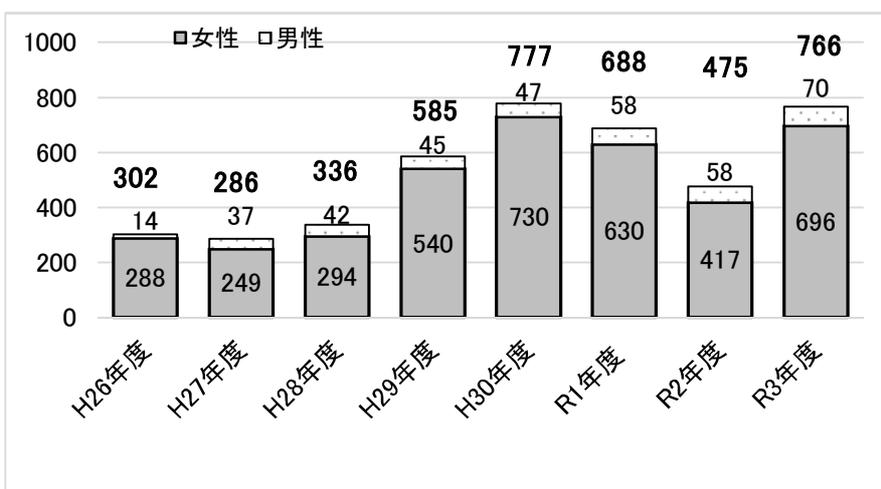
交流コーナーの一角にある「交流文庫」は「ほっと越谷」職員が寄贈した本で構成される。男女共同参画の視点だけでなく、さまざまな関心から集められた小説・評論・コミックスからなり、所蔵本とは異なるラインナップとなっている。交流コーナーは中高生の利用が多いため、「若者向け本棚」のコーナーも設け、「埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本」リストなども展示している。



左:交流コーナーの一角にある「交流文庫」

右:「若者向け本棚」の

■所蔵本貸出し冊数



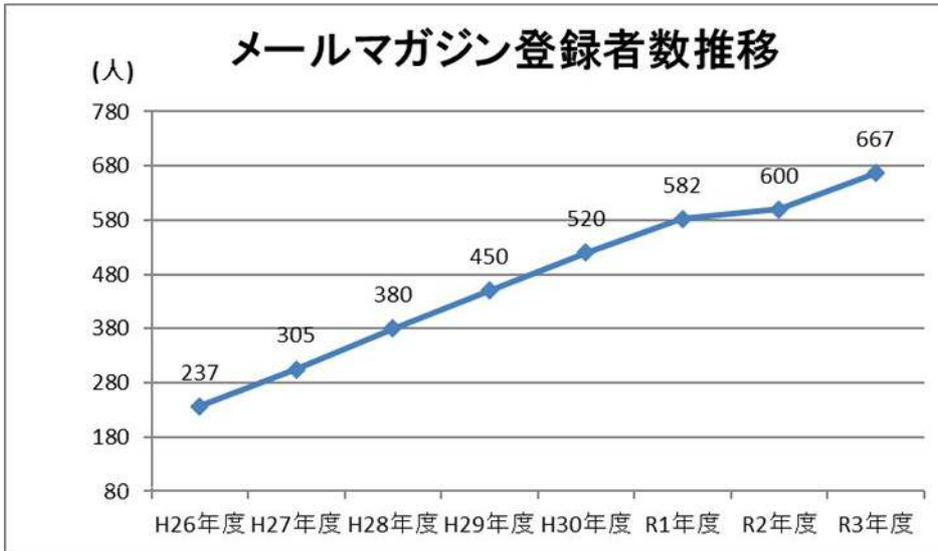
「交流文庫」の本を紹介したブックフェア

1. メールマガジン配信

事業目的

「ほっと越谷」の利用者を増やし、講座への参加を促すことを目的とする。配信登録者には、毎月10日ごろ、講座の案内を中心にさまざまな情報を発信している。来所者や講座参加者にメールマガジンの配信登録を呼びかけ、毎月、数名の新規登録者がある。

令和4年3月現在の登録者数は667人である。登録者数は、配信を開始した平成25年度からおおむね毎年60～70人ペースで増え、令和3年度は67人の登録希望があった。



2. 新聞クリッピング展示

事業目的

男女共同参画に関するホットな情報を発信し、市民に有効活用してもらえるようにする。また、「ほっと越谷」が越谷市の男女共同参画推進の拠点施設であることを知ってもらう。

2週間以内に発行された新聞から、社会動向を踏まえた男女共同参画に関する記事を選び、所内の情報発信コーナーに掲示している。



事業目的

ブックフェアでは、「ほっと越谷」の情報ライブラリーコーナーで所蔵している本を広く市民に知ってもらい、市民に男女共同参画への理解を深めてもらうことを目的に、「ほっと越谷」の開催講座やテーマに沿った所蔵本を展示している。

令和3年度は、9回のブックフェアを開催した。

回	期間	テーマ
1	5月15日(土)～5月30日(日)	リプロダクティブ・ライツと中絶を考える
2	6月1日(火)～6月19日(土)	仕事も介護もあなたも大事！～介護する人を支えるために～
3	8月7日(土)～9月5日(日)	メディア、情報、ジェンダー —デジタル時代の情報リテラシーを考える—
4	9月10日(金)～9月29日(水)	みんなが助かる、みんなで助ける 誰もが安全・安心な避難生活のために
5	9月30日(木)～10月31日(日)	性の多様性から共生社会を考える
6	11月11日(木)～12月12日(日)	本で旅する！ 私のウキウキ、わくわく探し
7	12月14日(火)～1月29日(土)	もしかしてDV？(ドメスティック・バイオレンス)
8	1月30日(日)～2月18日(金)	あなたを解放する漫画たち —「ほっと越谷」交流文庫の本
9	2月19日(土)～3月20日(日)	いま読んでみたい本！韓国フェミニズムをめぐって



メディア、情報、ジェンダー
—デジタル時代の情報リテラシーを考える—



性の多様性から共生社会を考える



みんなが助かる、みんなで助ける
誰もが安全・安心な避難生活のために



もしかしてDV？(ドメスティック・バイオレンス)

事業目的

平成26年度から、「ほっと越谷」エレベーター側入口にカフェ看板(手書き立て看板)を設置した。月に1~2回程度、講座・イベントを中心に、「ほっと越谷」の最新情報を発信している。

カフェ看板は、「『ほっと越谷』の場所がわかりにくい」「初めて来所する人にとっては、入りにくい雰囲気がある」などの利用者の声を踏まえて設置した。カフェ看板を見て講座に申込み来所者もあり、親しみやすい広報ツールにもなっている。



エレベーター側入口にカフェ看板を設置

本と雑誌のリサイクル
 保存期間を過ぎた本と雑誌をリサイクルします!
 日時 2021年 4月1日(木)~
 場所 「ほっと越谷」
 (問合せ) 「ほっと越谷」受付まで

男性限定講座
 あなたらしく生きるために
 ~男性相談者との関わりから~
 5/23(日) 14:00~16:00
 講師 堀切大器さん (公認心理師 臨床心理士)
 参加費 無料 (保育あり)
 定員 20人
 申込み 電話・FAX・HP
 「ほっと越谷」受付へ

リプロダクティブ・ライツと日本の中絶の問題点
 ~安心・安全な中絶を考える~
 5/30(日) 14:00~16:00
 講師 塚原久美さん (中絶問題研究者 中絶ケアカウンセラー)
 参加費 無料 (保育あり)
 定員 テーマに関心がある人 30人
 申込 電話・FAX・HP
 「ほっと越谷」受付へ

新しい暮らしから始める「政治参加」
 第1回 7/31(土) (保育あり)
 14:00~16:00
 講師 萩原なつ子さん (立教大学教授)
 定員 テーマに関心がある人 30人
 参加費 無料 (車庫・駐輪場有料)
 第2回 審議会を知らう (保育あり)
 8/30(火) 14:00~16:00
 申込 「ほっと越谷」受付

AIとジェンダー
 そのキケンな関係
 オンライン講座(Zoom)
 PC・タブレット・スマホから参加
 9/4(土) 14:00~15:45
 講師 栗林史子さん
 定員 テーマに関心がある人 30人
 参加費 無料 (ネット通信料は各自負担)
 申込 「ほっと越谷」ホームページ
 詳細は、ホームページまたはチラシをご覧ください

自分らしい働き方をかなげる職場復帰準備講座
 第1回 9/5(日) 第2回 9/12(日) 第3回 9/16(木)
 10:00~12:00
 市内在住の育休中 8人
 非は育休取得予定の女性
 パート・同伴可
 参加費 無料 (車庫・駐輪場有料)
 保育 あり (要申込) 幼児・小学生は同日の休みの同伴保育可
 詳細 申込み 「ほっと越谷」受付へ

僕のトランスジェンダーストーリー
 一歩一歩「性」を探検して
 日時 10/3(日) 14:00~16:00
 講師 岩井紀穂さん
 参加費 無料
 定員 テーマに関心がある人 30人
 保育 あり
 申込 TEL・FAX・HP
 「ほっと越谷」受付へ

社会を変えるアクション
 ~わたしたちができること~
 10/9(土) 14:00~16:00
 呪いの言葉の解きかた ~向かいたい社会に目を向ける~
 講師 上西充子さん
 10/16(土) 14:00~16:00
 変化を走らすアクション ~わたしたちができること~
 講師 瀬山紀子さん 活動範囲 越野線
 対象 関心のある人(各回30人)
 参加費 無料 保育あり(要申込)
 申込み TEL・FAX・HP、又は「ほっと越谷」受付へ

市民分募型 男女共同参画事業
 1/20(土) 14:00~16:00
 子どもの居場所づくり 子育ての相談相手になりませんか?
 講師 NESげんこつ 志南カイト
 1/27(土) 10:00~12:00
 はじめての「子ども食堂講座」
 講師 地蔵堂 松本マコト
 1/28(土) 14:00~16:00
 やさしい日本語
 体験してみよう ~学校現場の身振から~
 講師 多文化共生課 越谷
 12/5(土) 10:00~12:00
 自分のからだは自分のもの!
 講師 山本さくらさん・NPO
 主催 CAP実行委員会
 主催団体に直接お申し込み下さい
 詳細はチラシにて→

DV防止啓発講座
 もしかしてDV?
 12/18(土) 14:00~16:00
 オンライン参加も可
 講師 菊池真理子さん
 漫画「酔っぱらい物語」なる父がっらい作者
 定員 テーマに関心のある人 30人
 参加費 無料
 申込み TEL・FAX・HP、又は「ほっと越谷」受付へ

ブグサロン
 本で旅する?
 私のウキウキわくわく探し
 1月23日(日) 14時~16時
 内容 1月23日の本を紹介し合ったり、内容について語り合ったりする会です。
 定員 15人 参加費 無料
 保育 あり(要申込)
 申込 TEL・FAX・HP、又は「ほっと越谷」受付へ

あなたのペースでゆったりここからたのめるケア
 第1回 1月29日 14:00~16:00
 絵本の中のわたしと出会う
 第2回 2月5日 14:00~16:00
 つながりのアート
 講師 海原由佳さん
 対象 テーマに関心のある女性
 定員 12人 参加費 無料
 保育 あり(要申込)
 申込 TEL・FAX・HP、又は「ほっと越谷」受付へ

事業目的

「ほっと越谷」では、男女共同参画の視点から東日本大震災・防災関連の資料を継続的に収集してきたが、平成29年度に、「震災文庫」としてまとめ、新たに常設のコーナーを設置した。資料はジャンル別に分類してわかりやすく配架している。また展示用のコルクボードを設け、さまざまなテーマでの展示を展開するなど、積極的に活用してきた。令和3年度は「災害時トイレ対策」についての展示を行った。

所蔵資料数	分類	資料の種類
377	18分類(別表参照)	研究書、報告書、体験談、文集、新聞、小説、絵本、マンガ、詩集、写真集、写真、チラシ、広報誌、フリーペーパーなど



書架の様子



「災害時トイレ対策」についての展示

	分類	内容	備考
1	地震災害一般	報道写真集、新聞縮刷版、記録写真集、航空写真 ニュース速報、地図(被災図・住宅地図)、総合研究	新聞報道
2	法律		
3	経済	景気予測、融資	
4	行政	復興計画、町内会・自治会、区画整理、広報活動 環境、税制、地価、警察、提言、危機管理	取組指針
5	消防・防災	災害救助、救命活動、自衛隊活動 防災(サバイバル)マニュアル、避難所	手引書
6	市民生活	世論調査、消費者問題、住宅問題 女性問題、提言、危機管理	ジェンダー 災害復興とジェンダー
7	社会福祉	ボランティア、障害者問題、義援金	
8	教育	地震一般の公開講座、市民大学・セミナー、副読本 留学生、図書館報、学校の危機管理	
9	地震と地震動	地震工学、活断層、地質図・地形図、地震予知	
10	医療	救急医療、看護、精神医療	こころのケア
11	土木・建築	デザイン工学、ライフライン(電気・ガス・水道) 液状化	
12	産業・物流	商・工・農・水産業、地場産業、雇用問題 企業(危機管理を含む)、貿易	
13	交通・港湾	観光	
14	情報・通信	メディア、出版、報道、パソコン通信	出版物
15	芸術・文化財		
16	文芸	手記、作文集、文芸作品、学校関係の文集	体験記、記録
17	原発・福島関連		
18	その他	事業報告書、活動報告書、調査報告、記録集、事例研究	

「震災文庫」分類表
資料の分類は神戸大学附属図書館「震災文庫」
の分類にならった(※17・18以外)。



「震災文庫」コーナー

3. 交流事業

第4次越谷市男女共同参画計画を推進するため、「ほっと越谷」登録団体は、ワーカーズ・コレクティブ、地域づくり、国際交流、福祉、環境保全、教育など、さまざまな分野で男女共同参画に関する活動を行っています。

令和3年度は4月に52団体が「ほっと越谷」登録団体になりました。毎年、年2回の登録団体会議を開催しています。また、登録団体と「ほっと越谷」の情報交換の場として登録団体情報交換会を開催し、登録団体からいただいたご意見などを「ほっと越谷」の事業に活かすとともに、登録団体情報交換会は登録団体間の交流の場となっています。

令和3年度は2回の登録団体情報交換会を実施しました。第1回は「登録団体の協働の輪を広げるには」、第2回は「次年度の登録団体の活動」について情報交換しました。「ほっと越谷」では、交流事業として登録団体との協働で毎年「七夕フェスタ」を実行委員会方式で実施しています。全登録団体が参加して企画から運営・実施にかかりました。今年度は「ほっと越谷」が開設20周年を迎えるにあたり、「ほっと越谷」開設20周年記念事業を開催、登録団体が4つの分科会に分かれてテーマに添った発表をしました。「七夕フェスタ」を通して、登録団体相互の情報交換・交流が生まれています。

●パープルリボンキャンペーンキルト制作

平成24年度より越谷市女性自立支援センター「はればれ越谷」と連携して継続実施しているパープルリボンキャンペーンキルト制作は、誰でも気軽に参加できる形式にして8年目になりました。長引くコロナ感染症の影響で女性への暴力の増加が懸念されることから、令和3年度は、女性に対する暴力の根絶をめざす取り組みのシンボルカラーであるパープルを使ったキルトを作成しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、例年のような集まった作業ができなかったため、あらかじめスタッフがセットした「ヨーヨーキルト」(※注)の材料を持ち帰っていただき、各自で作成したパーツを、「ほっと越谷」がつなげる形でパープルリボンキャンペーンキルトを完成させました。

作成にあたっては、「ほっと越谷」来所者、登録団体の方々、「さんもくナイト」の参加者に呼びかけて協力していただき、「はればれ越谷」の来所者も加えて、制作に携わった方は60人に上りました。

10月に完成したキルトは、「女性に対する暴力をなくす運動週間」に併せて、市役所本庁舎ロビーや「ほっと越谷」施設内でも展示しました。今年度は協働フェスタが中止になり、他施設での、パープルリボンキャンペーンキルトの展示の機会がなくなりましたが、「ほっと越谷」施設内で長期的に展示し、来所者に女性への暴力防止をアピールしました。

※「ヨーヨーキルト」とは、円形にカットした布を縫い縮めて作る花のようなモチーフをつなぎ合わせたもの

●さんもくナイト

平成28年度から始まった「さんもくナイト」は、毎月第3木曜日の夜、午後6時30分～8時に開催し、シネマ(映画鑑賞)と手仕事(手芸)を交互に実施しています。

申込み不要・出入り自由で、現在は気軽に立ち寄れる場として市民に定着してきました。令和3年度は11月まで手仕事(手芸)を中止にし、シネマのみの実施にしました。シネマは隔月ごとにどなたでも参加できる月と女性のみ参加できる月を設定し、女性が気兼ねなくゆっくり過ごせる場を提供しました。映画を見て参加者同士が感想を話し合ったりしています。

約2年ぶりに再開した手仕事(手芸)は、久しぶりに参加者同士が会うことができ、交流の輪が広がりました。

さんもくナイトはそれぞれの楽しみ方で、第3木曜日の夜のひとときをゆったりと過ごしています。

越谷市男女共同参画支援センター登録団体

越谷市男女共同参画支援センター登録団体(以下登録団体)は、ワーカーズ・コレクティブ、地域づくり、国際交流、福祉、環境保全、教育など、さまざまな分野で男女共同参画に関する活動を行っている。

登録団体は、「越谷市男女共同参画支援センター団体登録要領」(平成16年2月24日市長決裁)に基づき、越谷市が承認している。令和3年度は、4月に52団体が登録団体として承認された。

登録団体会議

令和3年度の登録団体会議は4月と12月の2回実施した。4月(第1回)は、「七夕フェスタ」と『ほっと越谷』開設20周年記念事業、「『ほっと越谷』市民公募型男女共同参画事業」など、「ほっと越谷」と登録団体が協力して行う事業や協働事業について話し合った。12月(第2回)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、登録団体を午前と午後の2グループに分けて実施するイレギュラーな形式となったが、令和4年度の登録団体申請やこれからの「ほっと越谷」での活動について意見交換を行った。

登録団体の募集

越谷市では、男女共同参画を推進していく意欲ある登録団体を、年1回、1~2月に募集する。

登録団体は、「ほっと越谷」の講座やイベントに参加し、他の登録団体との交流を深めるなどして、ともに男女共同参画社会をつくりあげていく活動をしている。登録団体になると、さまざまな支援を受けることができる。

■令和3年度「ほっと越谷」登録団体

※登録団体番号順、令和4年(2022年)3月現在

No.	団体名	No.	団体名
1	障害年金・成年後見サポートチーム	27	花こぼと会
2	越谷市政モニターOB会	28	越谷短歌会
3	越谷太鼓社中	29	特定非営利活動法人 合
4	こしがや男女共同参画の会「パーティオ」	30	特定非営利活動法人 NESげんこつ
5	こしがや地域ネットワーク13	31	越谷社会保障推進協議会
6	越谷母親連絡会	32	越谷革新懇
7	アサーティブ越谷	33	医療生協さいたま越谷支部
8	越谷子育てサークルネットワークの会	34	NPO法人 Fine 越谷支部
9	NPO法人 子育てサポーター・チャオ	35	LGBT越谷十人十彩
10	新日本婦人の会 越谷支部	36	ひだまり広場
11	草加友の会 越谷支部	37	サンシティ朗読研究会
12	CAP東埼玉	38	越谷COOPくらぶ
13	企業組合ワーカーズ・コレクティブキッチンとまと	39	NPO法人 障害者の職場参加をすすめる会
14	ロービジョン友の会アリス	40	越谷自然ガイド協会
15	認定NPO法人 さいたまNPOセンター 越谷事務所	41	虹の会
16	越谷西特別支援学校 西養おやじの会	42	きらり
17	ガールスカウト埼玉県第11団	43	特定非営利活動法人 越谷つばさ
18	シニアネット“変身ing”	44	特定非営利活動法人 復興イメージトレーニング協会
19	NPO法人 越谷市郷土研究会	45	元荒川の自然を守る会
20	グループゆるり	46	カラーサークル
21	生涯青春 東彩会	47	ファミリーネットさいたま(越谷支部)
22	埼玉東民主商工会婦人部 越谷ブロック	48	わくわく教室
23	越谷市学校図書館を考える会	49	アートサロン こしがや
24	越谷・吉川・松伏明るい社会づくり運動協議会	50	神社でままマルシェ実行委員会
25	越谷ビデオクラブ	51	親子の学びサークルひみつち
26	越谷サンシティ落語研究会	52	一般社団法人 多文化共生コスモ越谷

事業目的

「ほっと越谷」の講座の企画や事業等に関する意見交換を通じて、登録団体間の交流を深めるとともに、登録団体と「ほっと越谷」がともに男女共同参画について考える場とする。令和3年度は、「登録団体の協働の輪を広げるには」と、登録団体主体の情報交換会「次年度の登録団体の活動」をテーマに、2回の情報交換会を実施した。新型コロナウイルス感染防止のため、第2回登録団体情報交換会は、午前・午後の二部制とした。

■実施日時 7月17日(土) 14:30～15:20 参加:21団体 26人

【参加者の意見】

●登録団体の協働の輪を広げるには

- ・団体を背負っての参加は、うかつに発言ができない。まずは個人としての交流会を開いてはどうか。
- ・「協働」がつくと、ハードルが高い。
- ・ざっくばらんに話せる場があれば、もっと交流も深まると思う。
- ・定期的に掲示版を活用して団体の紹介をするのも交流するきっかけとなる。
- ・協働したいと思ったら、まずオブザーバーとしてその団体の会議や活動に参加してみるというのも一つのやり方だと思う。そこで協働の可能性を探れる。
- ・協働したい案件があれば、団体の中で賛同してくれる人を増やしていくとうまくいく場合もある。
- ・団体が協働するには、マッチングが必要だが、誰がマッチングをするのかが問題。
- ・団体の活動をオンラインでも実施して、オブザーバーとして気軽に入ってもらえるようにしてはどうか。
- ・ゲストスピーカーとしてお話をさせてもらうなどの活動から交流を深めるとよい。ゆるやかなつながりから、団体同士の協働へ発展していくことができればよいのではないかな。
- ・団体となるとまとまらないが一つのテーマで繋がれる。
- ・20周年記念事業の分科会発表は団体間の交流を深めるのに役立った。

■実施日時 12月4日(土)午前の部 11:15～11:50 参加:21団体 21人

【参加者の意見】

●次年度の登録団体の活動

- ・これからは、イベント等を登録団体が主導する運営ができればと思う。
- ・活動の趣旨等が似ている登録団体同士の横とのつながりを活かして、例えば子育て関係の複数の団体が協力しあい、子育て支援センターとは別の切り口で子育て相談等の運営の場として利用できればと思う。
- ・七夕フェスタ(20周年記念事業)は活動内容が異なる他団体との交流ができた。交流を通してできることが増えると思う。
- ・七夕フェスタ(20周年記念事業)で、今までかかわることのない団体と話す機会を持てたのは貴重な経験でした。今後、協働で講座等ができればと考えている。

■実施日時 12月4日(土)午後の部 14:30～15:15 参加:17団体 20人

【参加者の意見】

●次年度の登録団体の活動

- ・団体だけでは声を届け切れなかったが、「ほっと越谷」や他団体との協働で多くの市民に声を届けることができた。
- ・男女共同参画の視点を登録団体が再確認し、団体同士が協力しあって運営に協力できればと思う。
- ・今回、登録団体主導の情報交換会を開催した。団体が主導するためには情報交換会の時間がもう少しほしい。

事業名	パープルリボンキャンペーンキルト制作		
事業形態	共催	共催先	越谷市女性自立支援センター「はればれ越谷」
目的	「ほっと越谷」と越谷市女性自立支援センター「はればれ越谷」の連携事業として、毎年、女性への暴力防止のシンボルであるパープルリボンキャンペーンキルトを制作している。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、あらかじめスタッフがセットした「ヨーヨーキルト」の材料と作り方を登録団体や「はればれ越谷」の利用者に持ち帰っていただき、各自が作成したパーツを「ほっと越谷」と「はればれ越谷」のスタッフがつなぎ、一つの作品にまとめあげた。さまざまなパープル系の生地で作られたパープルリボンキャンペーンキルトには、女性への暴力根絶のメッセージが込められている。		
内 容			
<p>《制作》</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月 「ほっと越谷」と「はればれ越谷」の担当者がデザインを決め、セットを作成 4/21(水)～10/31(日) 登録団体会議や登録団体主催講座などで作成キットを配布し、作成協力を呼びかけ「ほっと越谷」交流コーナー、「ほっと越谷」「はればれ越谷」のイベントで協力を依頼 11月 完成 <p>《展示》</p> <ul style="list-style-type: none"> 11/19(金)～11/26(金) 本庁舎ロビーの「女性に対する暴力をなくす運動週間パネル展示」でキルトを展示 11/27(土)～12/18(土) 「ほっと越谷」の「女性に対する暴力をなくす運動週間パネル展示」でキルトを展示 <p>会期終了後も継続して展示を実施</p>			



11月に本庁舎ロビーで実施した「女性に対する暴力をなくす運動週間パネル展示」での展示



11月～「ほっと越谷」で実施した「女性に対する暴力をなくす運動週間パネル展示」での展示

事業名	協働フェスタ参加		
目的	市民と行政との協働のまちづくり推進をめざす第14回協働フェスタ(主催:協働フェスタ実行委員会)に参加する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、協働フェスタは中止になった。		
開催場所	越谷市市民活動支援センター		
日時	内 容		
1月22日(土) 9:30～15:30	※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止		

事業名	さんもくナイト	
事業形態	主催	
目的	毎月第3木曜日の夜は、誰でも気軽に参加できる場として「さんもくナイト」を実施している。従来は、奇数月は映画鑑賞、偶数月は手芸などを楽しむ手仕事をしていたが、令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮し、三密回避のため、11月までは映画鑑賞、手仕事は12月から2回行った。	
日時	内 容 (参加人数)	
4月15日(木)	シネマ 上映作品『空とコムローイ』	(女 1人)
5月20日(木)	中止	
6月17日(木)	中止	
7月15日(木)	シネマ 上映作品『ツヒノスマカ』	(女 2人、男 1人)
8月19日(木)	中止	
9月16日(木)	中止	
10月14日(木)	シネマ 上映作品『森の中の淑女たち』	(女 7人)
11月18日(木)	シネマ 上映作品『ゴースト』(女性限定)	(女 1人)
12月16日(木)	手仕事「クリスマスオーナメントを作ろう」	(女 8人)
1月20日(木)	シネマ 上映作品『そして父になる』	(女 2人)
2月17日(木)	手仕事「ドライフラワーアレンジメント&アクセサリーづくり」	(女 7人)
3月17日(木)	シネマ 上映作品『孤独の輪郭』	(女 9人、男 1人)
毎回18:30~20:00	参加者：合計 39人	
参加者の感想	<p>◆『ツヒノスマカ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友人も誘ってくればよかったと思いました。 ・自分も何年かしたら誰と住むのか考えさせられました。マツさんが新しい家に住むところまで見たかったです。 ・ドキュメンタリーは解説がないので人間関係や住んでいる位置関係がわからなかったが、ストーリーが進むにつれおもしろくなりました。 <p>◆『森の中の淑女たち』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前から観てみたいと思っていた映画に出会えて嬉しかったです。頼もしい老女たちに自分を重ねて観させていただきました。自分らしく生きることをこれからも続けたいと思いました。 ・さんもくナイトは初めて伺いました。また、参加したいです。 ・自然の中は不自由だったけど夢のような時間から現実社会に戻る切なさ、演者の背中から伝わってきました。 ・「おばあさん」ではなく一人の女性の歴史が老婦人なのだと思います。 <p>◆『クリスマスオーナメントを作ろう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久しぶりの手作りとても楽しかったです。隣の方と素材選びやリースのつくり方を話しながら、始終和やかな時間でした。 ・初めての参加でしたが楽しかったです。できあがったらかわいくて気に入りました。 ・あっという間の1時間でした。最後にひとり一人が自分の作ったものの思いを話し、それを聴くのがよかったです。 	



4. 「ほっと越谷」開設 20 周年記念 第 20 回七夕フェスタ

「ほっと越谷」では、「ほっと越谷」の開設と、越谷市男女共同参画推進条例が施行された 7 月に、市の男女共同参画推進週間の事業として、毎年、登録団体と協働で七夕フェスタを開催しています。平成 26 年度からはすべての登録団体が参加する「七夕フェスタ実行委員会」が七夕フェスタを企画運営しています。

令和 3 年度は、「ほっと越谷」開設 20 周年の節目の年であり、52 の登録団体が 7 月 3 日(土)に中央市民会館劇場を会場とした「ほっと越谷」開設 20 周年記念事業に参加し、20 周年記念の七夕フェスタを盛り上げました。

また、「ほっと越谷」においては、登録団体企画の展示を 6 月 22 日(火)から 7 月 7 日(水)まで、登録団体主催の講座を 6 月 27 日(日)から 7 月 7 日(水)まで開催しました。展示では、24 団体が各団体の活動紹介やテーマに基づいたパネル展示を行いました。講座は 19 団体が各団体の活動に関連した講座を開催し、385 人が参加しました。

七夕フェスタは、毎年、多くの市民に参加していただき、市民に「ほっと越谷」を知っていただく機会になっています。

1) 七夕フェスタ

事業目的

七夕フェスタは、登録団体が講座や展示を実施して、広く市民に対して団体の活動をアピールし、活動を広げることがをめざす。「ほっと越谷」開設 20 周年記念事業や登録団体が企画する講座や展示を通して、登録団体と「ほっと越谷」が協働し、多くの市民に男女共同参画に関する情報を提供し、男女共同参画への理解を深めることをめざす。

テ マ	誰もが暮らしやすい越谷へ	
日 時	内 容	参加団体・人数
6 月 19 日(土)	「ほっと越谷」装飾	登録団体(2 団体・3 人)
6 月 20 日(日)	展示準備	企画展示(24 団体・のべ 58 人)
6 月 22 日(火)～7 月 7 日(水)	展示	企画展示(24 団体)
6 月 27 日(日)～7 月 7 日(水)	講座	主催講座(19 講座/19 団体) 参加者 385 人
7 月 3 日(土)	「ほっと越谷」20 周年記念事業	登録団体(52 団体) 来場人数 158 人
4 月 3 日(土)、5 月 29 日(土) 7 月 17 日(土)	実行委員会会議・交流会	登録団体(52 団体・のべ 116 人)



左：第 20 回七夕フェスタチラシ

右：「ほっと越谷」開設 20 周年記念事業会場に展示した登録団体の紹介パネル

事業目的

令和3年7月、「ほっと越谷」は開設20周年を迎えました。また、令和3年度を初年度とする第4次越谷市男女共同参画計画が策定され、このことを市民に周知し、これからの越谷市の男女共同参画を推進するために人権・男女共同参画推進課とともに、記念事業を開催しました。

日時	7月3日（土）	会場	越谷市中央市民会館 劇場
テーマ	誰もが暮らしやすい越谷へ		

第20回セタフェスタ
「ほっと越谷」開設20周年記念事業
誰もが暮らしやすい越谷へ

7月3日(土)13:00~16:30(開場 12:30)
 会場: 越谷市中央市民会館劇場(越谷市中央市民会館4F 1階1号)

■式典
 16:00 開会式(13:00~16:30)

■登録団体分科会発表
 16:30~17:00

■パネルディスカッション
 17:00~17:30

■ミニコンサート
 「VIVA O サンバ!」
 17:30~18:00

■「ほっと越谷」開設20周年記念事業内容

【式典】

- ・セタフェスタ実行委員長辻純志郎さんあいさつ
- ・高橋努市長あいさつ
- ・初代所長青木玲子さんのお話

【第1部 登録団体分科会発表】

- ・登録団体が4つの分科会に分かれて活動を発表(37団体 39人)

【第2部 パネルディスカッション】

- ・「誰もが暮らしやすい越谷を考える」(6団体 6人)

【ミニコンサート】

- ・「VIVA O サンバ!」 演奏:シマとワルたち

開設20周年記念事業は、実行委員会方式で登録団体との共催で行いました。式典のあと、第1部の「登録団体分科会発表」では、登録団体が活動分野(地域活動、多様性、男女共同参画、子ども)ごとに分かれ、活動から見えてきた課題や成果、社会問題等をさまざまな形で取り上げ発表しました。

第2部は「ほっと越谷」が主催する「パネルディスカッション」で、コーディネーターとともに越谷市で活躍する6人に、パネラーになっていただき、第4次越谷市男女共同参画計画に基づいた今後の越谷市の男女共同参画推進に取り組む活動と、「ほっと越谷」とともに歩むこれからの10年について意見交換しました。ミニコンサートでは越谷市ゆかりの音楽家の演奏を楽しみました。また、中央市民会館ホワイエでは、「ほっと越谷」の20年や登録団体の紹介するパネルを展示しました。

式典



辻純志郎実行委員長



高橋努市長



青木玲子さん



会場の様子

第1部「登録団体分科会発表」



分科会《地域活動》

もっと知ろう！KOSHIGAYA 参加しよう！活動の輪



分科会《多様性》

ひとり (35万人分のひとり)
35万人



分科会《男女共同参画》

朗読劇「こしがやfamilyから考える・・・」



分科会《子ども》

イカす子育てのススメ

第2部「パネルディスカッション」



【パネリスト】

鈴木康礼さん(越谷ビデオクラブ)

辻川公恵さん(LGBT十人十彩)

日吉孝子さん(特定非営利活動法人 障害者の職場参加をすすめる会)

大家けい子さん(認定NPO法人 さいたまNPOセンター 越谷事務所)

近澤恵美子さん(NPO法人 子育てサポーター・チャオ)

前田恵理子さん(きらり)

【ファシリテーター】

松岡 年(「ほっと越谷」所長)

ミニコンサート「VIVA O サンバ！」



演奏 シマとワルたち

パネル展示



「ほっと越谷」の20年をパネルで紹介

開催日	講座タイトル	主催団体
6/27(日)	家族で学ぶネットのいろは—大型カルタ大会	越谷子育てサークルネットワークの会
	コロナ禍における世界の人々の暮らし	一般社団法人 多文化共生コスモ越谷
	介護の話をしましょう	認定NPO法人 さいたまNPOセンター 越谷事務所
6/29(火)	人権に関するDVD視聴とフリートーク	こしがや男女共同参画の会「パティオ」
6/30(水)	お金知識ゼロでも起業したい！私たちのマネー講座	きらり
	越谷の「いきもの」たち～行政の視点から	越谷自然ガイド協会
	ドイツ工芸品グラスリッツェンを体験してみませんか	ガールスカウト埼玉県第11団
7/1(木)	夏に大活躍！縫わない保冷リュックを作ろう！	草加友の会 越谷支部
	脳の働きと行動	こしがや地域ネットワーク13
	元荒川の自然の大切さを知ろう	元荒川の自然を守る会
7/2(金)	簡単おうち遊びと家族バランスクイズ	NPO法人 子育てサポーター・チャオ
	フレイル予防について	医療生協さいたま 越谷支部
7/4(日)	知ってほしい障害年金のこと	障害年金・成年後見サポートチーム
	子どもたちは笑っていますか？どう思いますか？	越谷母親連絡会
	親子で楽しむ琵琶の会	親子の学びサークル ひみつきち
7/6(火)	20周年記念事業 記録動画上映会	越谷ビデオクラブ
7/7(水)	賢い患者の「ヘルスリテラシー」心も体も	NPO法人 Fine 越谷支部
	知ることが一歩！「地球温暖化のリアル」	特定非営利活動法人 越谷つばさ
	「朗読」のある処～古今東西 男と女～	サンシティ朗読研究会

登録団体主催講座の写真



●越谷子育てサークルネットワークの会
「家族で学ぶネットのいろは—大型カルタ大会」



●一般社団法人 多文化共生コスモ越谷
「コロナ禍における世界の人々の暮らし」



●認定NPO法人 さいたまNPOセンター 越谷事務所
「介護の話をしましょう」



●こしがや地域ネットワーク13
「脳の働きと行動」



●越谷母親連絡会
「子どもたちは笑っていますか？どう思いますか？」



●元荒川の自然を守る会
「元荒川の自然の大切さを知ろう」



●親子の学びサークル ひみつきち
「親子で楽しむ琵琶の会」

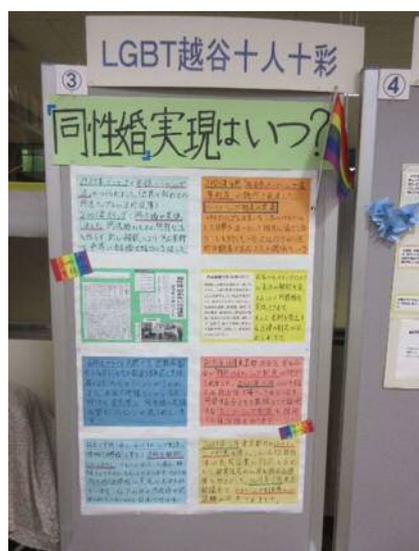


●特定非営利活動法人 越谷つばさ
「知ることが一歩！『地球温暖化のリアル』」

令和3年6月22日(火)～7月7日(水)

No	展示タイトル	登録団体名
1	越谷市政のご意見番	越谷市政モニターOB会
2	男女共同参画へのメッセージ	こしがや男女共同参画の会「パティオ」
3	「ほっと越谷」と共に歩んで20年	こしがや地域ネットワーク13
4	生命を生み出す母は生命を育て生命を守ることをのぞみます	越谷母親連絡会
5	I'm OK You're OK	アサーティブ越谷
6	コロナに負けるな一子育て支援は続く	越谷子育てサークルネットワークの会
7	子育て中のみなさんを応援しています！	NPO法人 子育てサポーター・チャオ
8	絵手紙を描いてみよう	新日本婦人の会 越谷支部
9	子どもをとりまく問題に心を痛めているあなたへ	CAP東埼玉
10	越谷エリアのワーカーズ紹介	企業組合ワーカーズ・コレクティブ キッチンとまと
11	江戸幕府より市内の寺院に与えられた朱印状	NPO法人 越谷市郷土研究会
12	趣味に遊び、仲間と学ぶ、生きがい作りサポート	生涯青春 東彩会
13	業者婦人の人権を認めない法律は廃止して！！ ー所得税法第56条ー	埼玉東民主商工会婦人部 越谷ブロック
14	専任・専門・正規の学校司書の配置を！	越谷市学校図書館を考える会
15	迎え花	花こぼと会
16	心を動かす放課後の居場所	特定非営利活動法人 NESいげんこつ
17	～共に生きる～	越谷革新懇
18	フレイル予防にみんなで「体」動かしています	医療生協さいたま 越谷支部
19	新型コロナウイルスと不妊治療の不安	NPO法人 Fine 越谷支部
20	「同性婚」実現はいつ？	LGBT越谷十人十彩
21	“朗読”で伝える文化・繋がるコミュニティ	サンシティ朗読研究会
22	～わたしの好きなことで仕事を創る～	きらり
23	制服のリサイクルは優しさを形にする活動です	特定非営利活動法人 越谷つばさ
24	多文化共生社会の実現に向けて！	一般社団法人 多文化共生コスモ越谷

登録団体企画展示の写真



「ほっと越谷」の情報ライブラリーコーナーで、各登録団体が活動紹介を中心にパネル展示をした。カラフルでさまざまな工夫を凝らした楽しい展示は来場者に好評で、多くの人に登録団体を知ってもらうよい機会になっている。

事業目的

七タフェスタの報告と振り返りのため、7月17日(土)に七タフェスタ交流会を開催し、さまざまな意見交換を行った。

7月17日(土)13:30～14:20 開催 参加：24団体 28人

●登録団体主催講座について

- ・短時間でしたが、講師がメリハリをつけて上手く進行してくれ、中味濃く学習できた。セミナールームが両方使えて、安心して利用できた。
- ・コロナでしばらく子育て支援施設がお休みだったので、久しぶりに親子が集まる講座ができてよかった。
- ・テーマにひかれ60歳以上の参加者が多く、アンケートの感想もよかった。質疑応答では講師と質問者のやりとりがとても温かく好評だった。
- ・少人数だったが、皆さんと楽しく学ぶことができた。

●登録団体企画展示について

- ・展示は初めてのエントリーだった。簡単と思いきや奥が深かった。
- ・展示準備をすることで、あらためて活動を振り返る機会を得られた。
- ・団体の活動内容を展示できたことが大変うれしかった。
- ・こうした機会がないと、活動をまとめようとする気持ちがわいてこないと思った。

●登録団体分科会発表について

- ・越谷市について知ってもらいきっかけ、まちづくりに関心を持つきっかけになれば、参加団体として成功したと思う。
- ・1からテーマを決め、それを文章にして形にして発表するという事は、初めての試みだったが、皆で意見を出し合っ一つ一つのものが完成した時は本当に感動し、貴重な体験だった。
- ・何回も集まりをもって、原稿も何回も書き直し、大変な部分もあったが、会を重ねる中で、人権とは、ジェンダーとはといるところが話し合いの中で深まった。一つひとつの過程を大事にすることが重要だと思う。
- ・普段あまり関わることのない団体の皆さんといろいろ協議し、一つのもを作り上げることができてよかった。いろいろな視点からの「子育て」について学ぶことができた。

●20周年記念事業について

- ・初代所長の話に20年の成果と課題をあらためて知ることができた。
- ・それぞれの分科会の発表方法、朗読の巧みさといった点で非常に訴える力が強いと思った。
- ・パネルディスカッションでは、6人のパネラーのいろいろな話が聞けて、考えさせられた。
- ・当日は司会や手話、要約筆記の方々など、本当にたくさんの力が合わさり、準備やサポートがあってこの日を迎えられたことに大変感動した。
- ・内輪の人々の記念事業という印象はあったが内容はよくまとまっていたと思う。
- ・各分科会、パネルディスカッションでは打合せをしたわけではないのに、青木さんの話とリンクしていて創立の理念が受け継がれていると思った。

●七タフェスタ全体について

- ・つねに、新型コロナウイルス感染防止を念頭において、行動するには不自由さを感じ、不安や悩みもあった。
- ・さまざまな団体があることをあらためて知った。それぞれ個性があり、特性があり、工夫されていて見ていて楽しくなるもの、感心するものなど、新しい発見があった。
- ・七タフェスタが中止になるのではと思っていたが、実施できてよかった。きちんと感染予防をしてくれたので、久しぶりに人と会うことの喜びを得ました。
- ・例年とはまったく違った七タフェスタになったが、20年の「ほっと越谷」の歴史を感じることができ、越谷を知るいい機会になった。自団体がどうあるべきかを考える機会にもなった。

5. 相談事業及び自立支援事業

DV(配偶者等からの暴力)被害からの回復のためには、見通しを持った継続した支援が大切です。たとえば、夫の暴力から逃れたいという子どもを抱えた女性の場合、これまでの生活基盤を失い、親族をはじめ友人知人との慎重な距離を要求され、あらゆる絆が中断されるというリスクを負います。深く傷ついているのはDVを目撃して育った子どもも同じです。越谷市では、平成13年の「ほっと越谷」の開設時から、相談事業として、女性を対象にした「生き方・パートナー相談(女性のなやみ相談)」、「法律相談」を実施しています。

また、支援体制強化のため、平成27年10月に「越谷市女性・DV相談支援センター」を開設しました。DV被害者への支援には多くの関係機関との連携が欠かせません。一連の相談の流れの中で、DV被害者の意向に沿った支援策をどのように選択し、組み合わせるか、どの時点で専門的な子どものケアへ繋げるか。また、個々の制度を、より機能的に活かせるよう目を配り、隙間を埋め、側面から一貫した姿勢で支援することがとても重要となっています。

相談においては、相談員が相談者に寄り添い、こころが少しでも解放されるようサポートするのはもちろん、既存の社会資源を活用することにより、相談者へ具体的な取り組みを提案するなどして、相談者の日常生活がより望ましいものになるような支援のあり方を心がけています。「ほっと越谷」においては、指定管理者制度を導入した平成21年度以降は、相談事業実施団体と協働し、相談に関する講座の開催などを通じて、女性の支援に努めています。

さらに、DV被害者が自立し自分らしい生き方を取り戻すためには、暴力から抜け出した後も切れ目のない支援が必要となります。平成17年から開設している越谷市女性自立支援センター「はればれ越谷」では、市から助成金の交付を受けた団体が、女性の自立支援事業を実施しています。

事業では、精神的な自立に向けた「人とのつながり」のきっかけづくりのための講座やスキル向上のための講座などの開催、また、相談室と連携しながらさまざまな問題を抱える女性の自立を支援する相談やカウンセリングなどを行います。

1) 女性のなやみ相談・DV相談・法律相談(令和4年3月末時点)

<面接相談>(予約制)

【予約受付電話】048-963-9176

【予約受付時間】月曜日から金曜日 10時から12時、13時から16時

※祝日、年末年始を除く

【面接相談日時】

○月曜日から土曜日

①10時から11時 ②11時から12時 ③13時から14時 ④14時から15時

⑤15時から16時

※祝日・年末年始を除く

※毎月第4土曜日の14時から16時は法律相談枠

※土曜日はDV相談を除く

<電話相談>(予約不可)

○月曜日から金曜日 10時から12時、13時から16時

【電話】048-963-9176

○水曜日・金曜日 17時から20時/土曜日 10時から12時、13時から16時

【電話】048-970-7415

※祝日・年末年始を除く

<法律相談> (予約制)

【予約受付電話】 048-963-9176

【予約受付時間】 月曜日から金曜日 10時から12時、13時から16時

※祝日、年末年始を除く

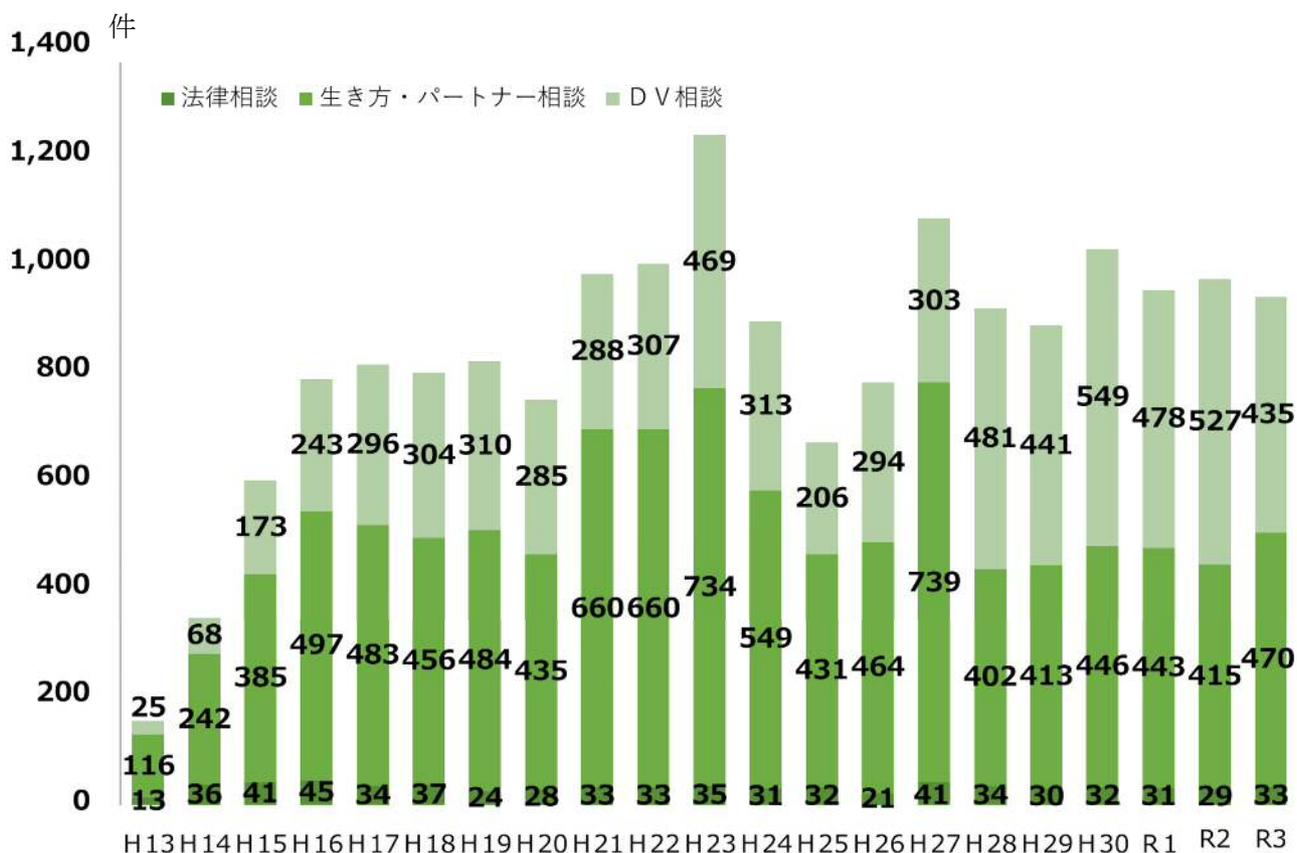
【法律相談日時】

○毎月第4土曜日 ※祝日・年末年始を除く

① 14時から14時30分 ② 14時30分から15時 ③ 15時から15時30分

④ 15時30分から16時

<相談の実施状況>



令和3年度は、生き方・パートナー相談（R3より「女性のなやみ相談」と案内）がDV相談を上回りましたが、DV防止法の範囲外となる親族や同居ではない交際相手からの暴力に関する相談件数が増加しています。

なお、平成23年度は、震災による社会的な不安定の影響などから、相談件数が突出して多くなったと推測されます。

また、平成27年度から、女性・DV相談支援センターの件数が含まれているため、DV相談件数が増加しています。

2) 自立支援事業

越谷市女性自立支援センター「はればれ越谷」では、「ほっと越谷」相談室と連携し、女性の自立支援事業を行っています。令和3年度も、さまざまな問題を抱えた女性が、厳しい状況の中でもあきらめず、自立した生活をしていけるようにサポートしました。

コミュニケーション関連事業では、家庭的な雰囲気のもとで参加者相互のコミュニケーションを図りながら、心と体の健康などをテーマにした講座を開催しました。

また、パソコン技術の習得など地域や社会において活躍するためのスキルを向上させるための講座などを開催しました。

相談関連事業では、女性のための電話相談では、DV、家庭内でのモラル・ハラスメント、職場でのパワー・ハラスメント、就業などの相談について、より具体的に充実した自立への方法を一緒に考えることができました。

「ゆいカフェ」では、少人数によるグループカウンセリングを定期的に行い、生活していくことへの支援を行いました。また、並行して「子どものケアプログラム」を実施しました。

自立のサポートとして、生活保護申請、家庭裁判所の調停、弁護士事務所などへの同行支援を行うための講座を行いました。

【実績】 令和3年度(令和3年4月～令和4年3月)

● 講座等開催事業		
・パソコン講座	78回	275人
・ミニ講座	145回	163人
● 相談カウンセリング事業		
・電話相談	107件	84人(うちDV相談24件)
・ゆいカフェ	22件	53人
● 自立サポート事業		
・アドボケート(同行支援)	3件	3人
・アドボケート講座	2件	35人
● 企画提案事業		
・のんびり塾	40件	204人
・まなびカフェ	3件	35人

Ⅲ 指定管理者の活動

1. 出前講座
2. 実習の受け入れ
3. ゆったりカフェ

指定管理者の活動

「ほっと越谷」を管理・運営する「認定特定非営利活動法人 男女共同参画こしがやとものろ」では、「ほっと越谷」の指定管理者受託事業のほかに、自主事業として、人材養成事業の「講師派遣事業(出前講座)」、大学の実習の受け入れ、自立支援・相談事業の「ゆったりカフェ」を実施している。

出前講座は、例年は市内の地区センター・公民館などからの依頼があり、年間5～8回実施していたが、令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、地区センター・公民館の行事も中止されることが多く、3回にとどまった。

1. 出前講座

男女共同参画を推進するために、地域に出かけていく出前講座に積極的に取り組んでいる。令和3年度は、下記の3か所で行った。

回	月 日	開催場所	内 容
1	10月17日(日)	大袋地区センター・公民館	大袋公民館 白梅学級 LGBTって知っていますか
2	11月9日(火)	増林地区センター・公民館	人権教育推進事業 シネマ『空とコムローイ』
3	12月24日(金)	南越谷地区センター・公民館	人権講座 高齢者学級 万年青大学 シネマ『空とコムローイ』上映と監督トーク



左：大袋公民館 白梅学級

「LGBTって知っていますか」
男性・女性にかかわらず誰もが互いを認め合うことの大切さについて考えた。

右：増林公民館 人権教育推進事業

映画を通して子どもや女性のおかれている現状について話しあった。



左：南越谷公民館 万年青大学

『空とコムローイ』上映と監督トーク
実際にタイに暮らすアカ族の子どもたちを7年間撮り続けた監督のトーク



2. 実習の受け入れ

埼玉県立大学保険医療福祉学部看護学科の実習を受け入れている。実習では「ほっと越谷」の設置目的や「越谷市ジェンダー統計」から見える越谷市の課題などを話し「いろいろな家族」についてのワークショップを行った。実習参加者は69人。

2. ゆったりカフェ

事業名		ゆったりカフェ				
事業形態		主催				
目的		生きづらさを抱えた女性の支援				
対象者		生きづらさを感じている女性				
募集人数		—	回数	12回	保育	なし
開催場所		「ほっと越谷」セミナールーム				
日時	内容（参加人数）			講師		
	女性のための居場所の提供			認定特定非営利活動法人 男女共同参画こしがやともろう 理事		
4月24日（土）	（女 6人）					
5月22日（土）	（女 6人）					
6月26日（土）	（女 5人）					
7月24日（土）	（女 7人）					
8月28日（土）	中止					
9月25日（土）	（女 8人）					
10月23日（土）	（女 7人）					
11月27日（土）	（女 8人）					
12月25日（土）	（女 11人）					
1月22日（土）	（女 5人）					
2月26日（土）	中止					
3月26日（土）	（女 7人）					
毎回13:30～14:30	参加者：女 70人					
参加者の感想		<ul style="list-style-type: none"> ・初めて参加しましたが、ゆったり過ごせました。 ・安心して過ごせました。 ・参加者がお互いを尊重していました。 ・このような場所があることは嬉しいです。 ・安心して、聴いてもらえる場所です。 ・話さない時に話さなくてもいいのがよかったです。 				



IV 施設の利用

1. 年度別利用状況
2. 令和3年度利用者アンケート結果

1. 年度別利用状況 (平成21～令和3年度)

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための施設閉所や、七夕フェスタをはじめとする事業の中止などにより利用者数が大きく減少した。令和3年度は復調傾向にあるものの、感染防止対策のための利用制限や三密対策に配慮した事業の実施など、さまざまな制約の中で施設運営を行っており、コロナ以前の利用者数には至っていない。今後とも、感染防止対策を行いながら、安全で安心な場を提供していく。

年度別利用状況(平成21～令和2年度)

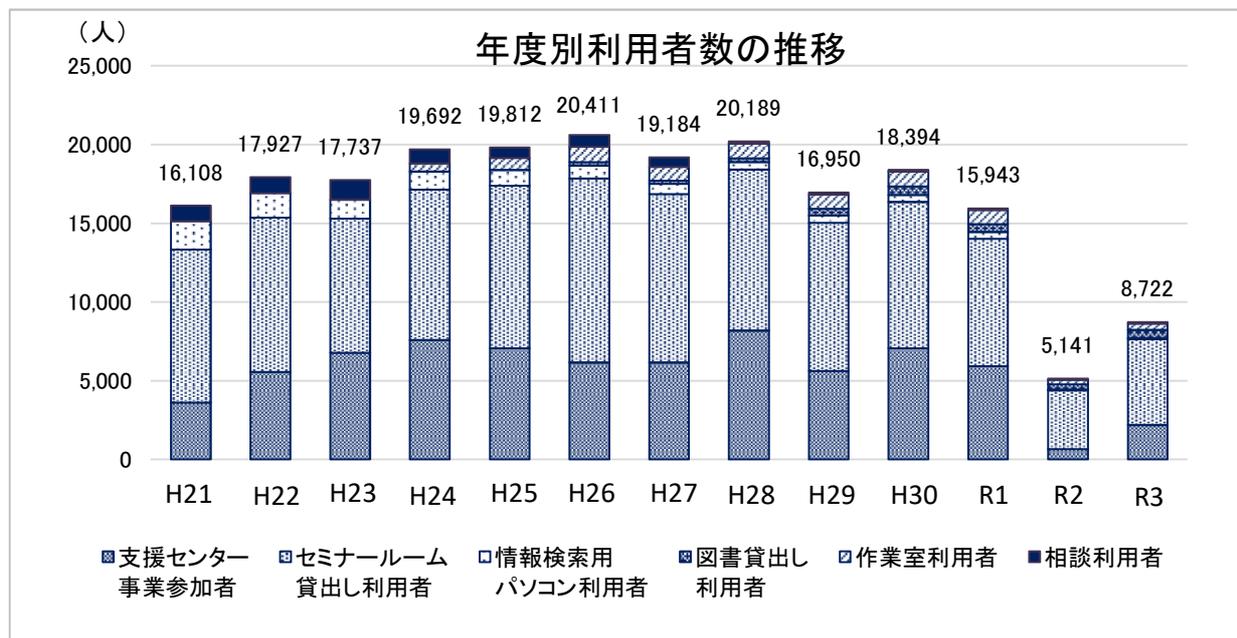
単位:人

利用目的 年度	支援センター 事業参加者	セミナールーム 貸出し利用者	情報検索用 パソコン利用者	図書貸出し 利用者	作業室利用者	相談利用者	合計
平成 21年度	3,616	9,700	1,811	—	—	981	16,108
平成 22年度	5,563	9,792	1,572	—	—	1,000	17,927
平成 23年度	6,777	8,514	1,208	—	—	1,238	17,737
平成 24年度	7,586	9,549	1,144	—	520	893	19,692
平成 25年度	7,063	10,325	1,001	—	754	669	19,812
平成 26年度	6,161	11,678	828	210	965	779	20,411
平成 27年度	6,160	10,705	635	200	880	604	19,184
平成 28年度	8,194	10,214	486	227	935	133	20,189
平成 29年度	5,619	9,418	460	416	914	123	16,950
平成 30年度	7,069	9,292	431	542	945	115	18,394
令和 元年度	5,909	8,094	443	509	887	101	15,943
令和 2年度	650	3,750	24	357	271	89	5,141
令和 3年度	2,179	5,452	70	528	402	91	8,722

※作業室利用者数は平成24年度から集計を開始した。

※所蔵本貸出しは平成26年度から開始した。

※「越谷女性・DV相談支援センター」の開設に伴い、平成27年10月より相談日時を変更した。



2. 令和3年度利用者アンケート結果

1) 調査概要

「ほっと越谷」をより利用しやすい施設にするため、情報ライブラリーコーナー入口付近と交流コーナーの2か所にアンケート用紙を置き、利用者アンケートを実施。回答用紙は毎日回収し、月別に回答結果を集計した。

また、毎月、利用者アンケート強化週間を設けて来所者に積極的にアンケートへの協力を呼びかけるとともに、主催講座の参加者においても、利用者の声を聞く機会を持った。

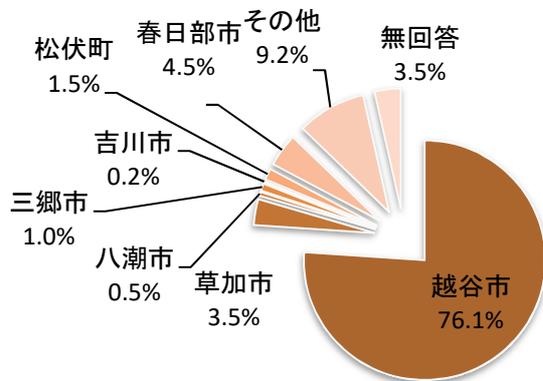
2) 実施期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日

3) 回収件数 合計 401 件

【回答者の属性】

①居住地

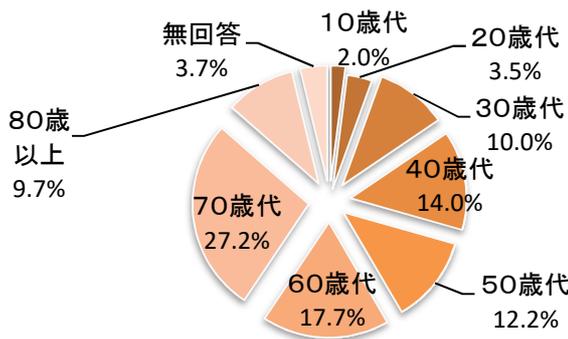
「越谷市」が7割を占めた。「その他」の割合は、令和2年度の5.0%から9.2%へと増加した。「その他」では、さいたま市や千葉県松戸市からの利用者が多く、「ほっと越谷」の講座テーマ等に関心を持ち、広域から参加していることがわかった。



項目	人数(人)	構成比
越谷市	305	76.1%
草加市	14	3.5%
八潮市	2	0.5%
三郷市	4	1.0%
吉川市	1	0.2%
松伏町	6	1.5%
春日部市	18	4.5%
その他	37	9.2%
無回答	14	3.5%
合計	401	100.0%

②年齢

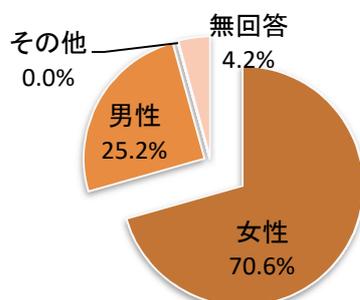
令和2年度は「70歳代」「80歳以上」の利用者合計が27%だったが、今年度は約37%に回復した。前年度から交流コーナーの換気・消毒の徹底、アクリル板の設置、座席間の距離の確保など、安心して過ごせるレイアウトに変更した結果が定着したと考えられる。学習目的での利用が多い「10歳代」は0.7%から2.0%に増加したものの、令和元年度の7.6%にはおおよばない。感染防止対策で座席数を減らしたことが影響している。



項目	人数(人)	構成比
10歳代	8	2.0%
20歳代	14	3.5%
30歳代	40	10.0%
40歳代	56	14.0%
50歳代	49	12.2%
60歳代	71	17.7%
70歳代	109	27.2%
80歳以上	39	9.7%
無回答	15	3.7%
合計	401	100.0%

③性別

女性の利用が約7割を占めた。「ほっと越谷」では性の多様性の理解促進に力を入れ、利用者アンケートについても、性別に関する設問に「自認する性、無回答でも可」という文言を加えている。令和3年度は「無回答」が4.2%だが、令和2年度も7.8%が「無回答」の回答で、そうした取り組みの結果とみられる。

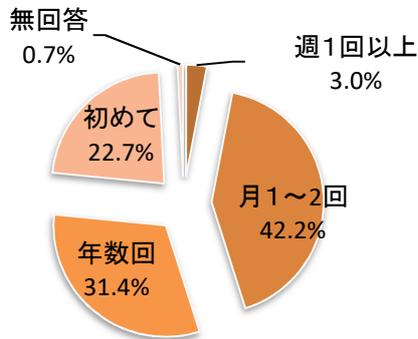


項目	人数(人)	構成比
女性	283	70.6%
男性	101	25.2%
その他	0	0.0%
無回答	17	4.2%
合計	401	100.0%

【「ほっと越谷」の利用】

④「ほっと越谷」の利用頻度

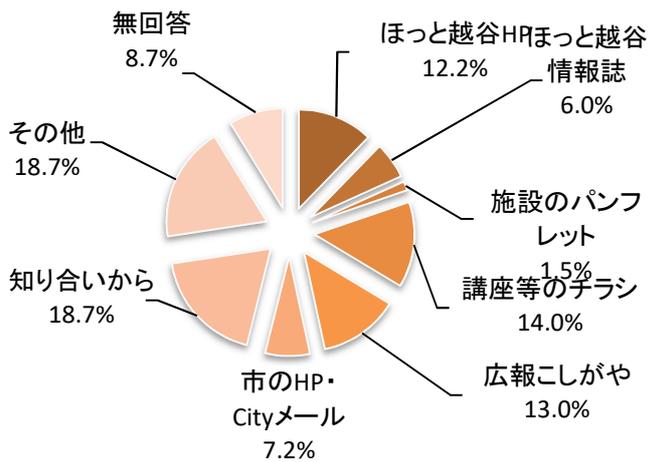
「月1～2回」が42.2%で一番多く、次に「年数回」が31.4%、「初めて」は22.7%だった。リピーターとして定期的に「ほっと越谷」を利用する人がいる一方で、「ほっと越谷」事業をきっかけに初めて「ほっと越谷」を利用した人も多くいた。



項目	人数(人)	構成比
週1回以上	12	3.0%
月1～2回	169	42.2%
年数回	126	31.4%
初めて	91	22.7%
無回答	3	0.7%
合計	401	100.0%

⑤「ほっと越谷」を知ったきっかけ(複数回答)

「ほっと越谷」を知ったきっかけは、「ほっと越谷HP」が昨年度の7.8%から12.2%と増加した。「ほっと越谷」では、ここ数年にわたりHPの拡充に努めており、SNSやCityメールなどで情報を見た人がHPにつながり、実際の利用にもつながったものと推察される。また、「知り合いから」も14.2%から18.7%に増加しており、「ロコミ」の効果も大きい。

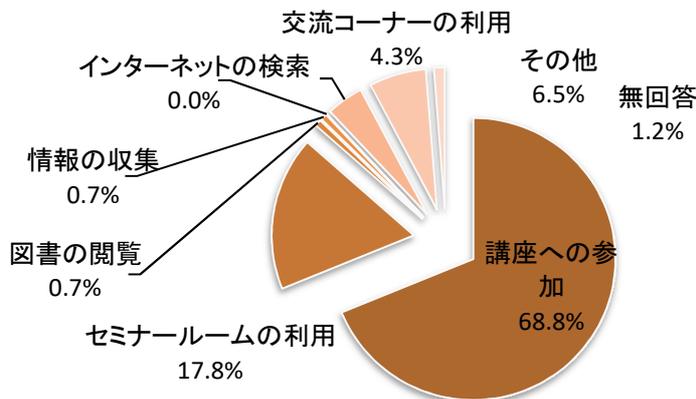


項目	人数	構成比
ほっと越谷HP	49	12.2%
ほっと越谷情報誌	24	6.0%
施設のパンフレット	6	1.5%
講座等のチラシ	56	14.0%
広報こしがや	52	13.0%
市のHP・Cityメール	29	7.2%
知り合いから	75	18.7%
その他	75	18.7%
無回答	35	8.7%
合計	401	100.0%

※「HP」はホームページの略

⑥ 来所目的(複数回答)

「セミナールームの使用」が昨年度の8.5%から17.8%に倍増した。「ほっと越谷」を活動拠点として継続して活動する団体が増えている。

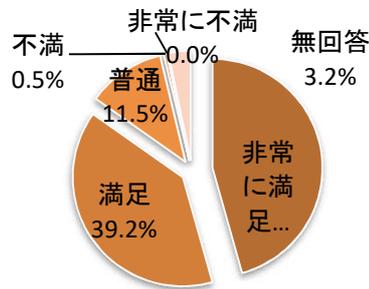


項目	人数	構成比
講座への参加	276	68.8%
セミナールームの利用	71	17.8%
図書館の閲覧	3	0.7%
情報の収集	3	0.7%
インターネットの検索	0	0.0%
交流コーナーの利用	17	4.3%
その他	26	6.5%
無回答	5	1.2%
合計	401	100.0%

【施設に対する満足度】

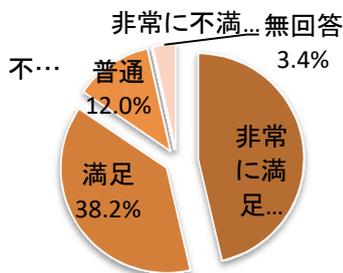
「展示物・チラシ等の情報」を除き、すべての項目で「非常に満足」「満足」の合計が80%を超えている。「展示物・チラシ等の情報」についても、利用者の声を受けて、掲示物・配架物の整理や所内の案内板を刷新するなどの改善に取り組んでいる。今後も利用しやすい施設をめざして、より一層のサービス向上に努めたい。

⑦ 職員の対応



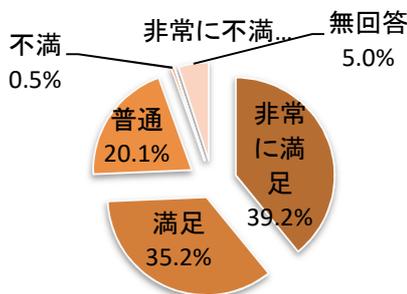
項目	人数(人)	構成比
非常に満足	183	45.6%
満足	157	39.2%
普通	46	11.5%
不満	2	0.5%
非常に不満	0	0.0%
無回答	13	3.2%
合計	401	100.0%

⑧ 施設の清潔感・心地よさ



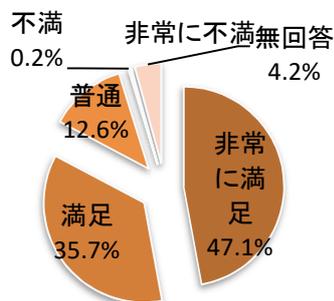
項目	人数(人)	構成比
非常に満足	186	46.4%
満足	153	38.2%
普通	48	12.0%
不満	0	0.0%
非常に不満	0	0.0%
無回答	14	3.4%
合計	401	100.0%

⑨ 展示物・チラシ等の情報



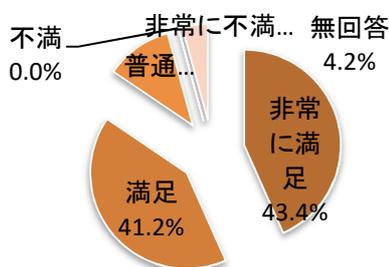
項目	人数(人)	構成比
非常に満足	157	39.2%
満足	141	35.2%
普通	81	20.1%
不満	2	0.5%
非常に不満	0	0.0%
無回答	20	5.0%
合計	401	100.0%

⑩ 利用目的の達成具合



項目	人数(人)	構成比
非常に満足	189	47.1%
満足	143	35.7%
普通	50	12.6%
不満	1	0.2%
非常に不満	1	0.2%
無回答	17	4.2%
合計	401	100.0%

⑪ 施設全体の満足度



項目	人数(人)	構成比
非常に満足	174	43.4%
満足	165	41.2%
普通	45	11.2%
不満	0	0.0%
非常に不満	0	0.0%
無回答	17	4.2%
合計	401	100.0%

V その他

1. 実習・視察等の受け入れ
2. 新聞等掲載実績

1. 実習・視察等の受け入れ

1) 実習受け入れ一覧

回数	月 日	実 習 者	人数	内 容
1	5月12日(水)	埼玉県立大学 学生	15人	・男女共同参画支援センター「ほっと越谷」についての概要 ・越谷市のジェンダー統計から見えること ・ワークショップ「いろいろな家族」 ・施設見学
2	5月26日(水)	埼玉県立大学 学生	19人	・男女共同参画支援センター「ほっと越谷」についての概要 ・越谷市のジェンダー統計から見えること ・ワークショップ「いろいろな家族」 ・施設見学
3	6月9日(水)	埼玉県立大学 学生	17人	・男女共同参画支援センター「ほっと越谷」についての概要 ・越谷市のジェンダー統計から見えること ・ワークショップ「いろいろな家族」 ・施設見学
4	6月23日(水)	埼玉県立大学 学生	18人	・男女共同参画支援センター「ほっと越谷」についての概要 ・越谷市のジェンダー統計から見えること ・ワークショップ「いろいろな家族」 ・施設見学

2) 視察・見学等の受け入れ一覧

回数	月 日	視 察 者	人数	内 容
1	4月20日(火)	獨協医科大学附属看護 専門学校 三郷校	6人	・施設見学 ・男女共同参画ミニ講座 ・質疑応答
2	5月18日(火)	獨協医科大学附属看護 専門学校 三郷校	6人	・施設見学 ・男女共同参画ミニ講座 ・質疑応答
3	9月28日(火)	獨協医科大学附属看護 専門学校 三郷校	6人	・施設見学 ・男女共同参画ミニ講座 ・質疑応答
4	12月8日(水)	共栄大学国際経営学部2 年田中ゼミ	9人	・男女共同参画ミニ講座 ・質疑応答

3) 障害者地域適応支援事業等受け入れ一覧

回数	月 日	視察・実習者	人数	内 容
1	1月20日(木)	実習生	1人	情報誌の発送準備、講座使用素材作成 他
2	1月26日(水)	実習生	1人	講座使用素材作成、図書整理 他
3	2月2日(水)	越谷市障害者就労支援 センター、ウェルビー草加 駅前センター職員、実習 生	3人	情報誌の封入作業、図書ポップ作成 他



埼玉県立大学の実習では、「いろいろな家族」をテーマにしたグループワークを実施した。



障害者地域適応支援事業では、講座で使用する素材作成や図書整理等の実習を行った。

2. 新聞等掲載実績

「ほっと越谷」の講座・イベントが新聞等で紹介されました。

回	媒体名	月 日	記事見出し
1	ちいき新聞	5月7日(金)	男性限定講座 あなたらしく生きるために
2	東武よみうり	5月17日(月)	性と生殖に関する健康と権利についての講座「リプロダクティブ・ライツと日本の中絶の問題点～安心・安全な中絶を考える～」
3	ちいき新聞	5月21日(金)	講座「リプロダクティブ・ライツと日本の中絶の問題点」
4	東武よみうり	5月24日(月)	介護者サロン体験付き「仕事も介護もあなたも大事！～介護する人を支えるために～」
5	毎日新聞	5月28日(金)	講座「仕事も介護もあなたも大事！～介護する人を支えるために～」
6	ちいき新聞	6月11日(金)	がんばりすぎない子育て～心を軽くする子どもとの関わり方～
7	東武よみうり	6月21日(月)	20周年の「ほっと越谷」 7月3日 中央市民会館で記念事業
8	ちいき新聞	7月23日(金)	身近な暮らしからはじめる「政治参画」
9	東武よみうり	7月26日(月)	「これからの越谷」を議論 「ほっと越谷」20周年事業
10	東武よみうり	7月26日(月)	身近な暮らしからはじめる“政治参画”「審議会に行こう」
11	介護だより 第35号	8月・9月号	REPORT『仕事も介護もあなたも大事！』～介護する人を支えるために～開催
12	ちいき新聞	8月6日(金)	AIとジェンダー、そのキケンな関係
13	毎日新聞	8月20日(金)	自分らしい働き方をかなえる職場復帰準備講座
14	ちいき新聞	8月27日(金)	僕のトランスジェンダー・ストーリー—自分らしい性を探し続けて
15	朝日新聞	9月10日(金)	社会を変えるアクション—わたしたちにできること
16	東武よみうり	9月14日(火)	僕のトランスジェンダー・ストーリー～自分らしい性を探し続けて～
17	ちいき新聞	9月17日(金)	社会を変えるアクション～わたしたちにできること～
18	東武よみうり	9月20日(月)	就労に関する法制度と職場におけるハラスメントに関する講座 「これだけは知っておきたい！パートタイム・有期雇用労働法とハラスメント」
19	ちいき新聞	9月24日(金)	パートタイム・有期雇用労働法とハラスメント
20	東武よみうり	9月27日(月)	男女共同参画推進のための講座 「社会を変えるアクション～わたしたちにできること～」
21	ちいき新聞	10月15日(金)	「女性に対する暴力をなくす運動」パネル展示
22	ちいき新聞	11月26日(金)	もしかしてDV? 束縛と暴力、それが“愛”だと思った。
23	ちいき新聞	1月7日(金)	あなたのペースで、ゆったりと ころとからだのケア

※掲載確認できた記事を抜粋しています。

男性限定講座

あなたらしく生きるために

～男性相談者との関わりから～ 教育、福祉、司法の領域で、男性相談者の抱える悩みに向き合ってきた講師の堀越大器さん(公認心理師)と、「男らしさ」とらわれない「自分らしさ」について考える

◇日時/5月23日(日)14～16時◇場所/越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」(東武線北越谷駅東口徒歩1分)有料駐車場・駐輪場あり◇料金/無料◇定員/20人※要申込(保育あり。1歳6カ月～未就学児。5月13日までに電話で要申込)
https://hot-koshigaya.jp
00941mw@hot-koshigaya.jp
☎048(970)7411【越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」】

ちいき新聞 令和3年5月7日付

「男性の男女共同参画推進のための事業」の紹介記事

●講座「仕事も介護もあなたも大事!」
介護する人を支えるために、6月5日14時、越谷市大沢3の越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」(048・970・7411)。日本ケアラー連盟代表理事の堀越栄子さんによる講演と、介護者サロンの体験。定員15人(要申し込み)。参加無料。

毎日新聞 令和3年5月28日付

「育児・介護等と仕事の両立支援のための事業」の紹介記事

身近な暮らしからはじめる「政治参画」審議会に行こう。8月12日午後2時、サンリットビル。実際に「越谷市男女共同参画推進委員会」を傍聴する。参加費無料。女性優先。要事前申し込み。越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」☎970・7411。

東武よみうり 令和3年7月26日付
「審議会等における女性の登用推進のための講座」の紹介記事

「AIとジェンダー、そのキケンな関係」

ーデジタル時代の情報リテラシーを考えるー AlexaやSiriなどAIアシスタントが身近に。しかし、AIが差別や偏見も学習していることが分かってきた。AIについて取材してきた新聞記者に話を聞く※Zoomによるオンライン開催

◇日時/9月4日(土)14時～15時45分◇料金/無料※インターネット通信料は自己負担◇定員/30人※HPから要申込
https://hot-koshigaya.jp
☎048(970)7411【越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」】

ちいき新聞 令和3年8月6日付
「男女共同参画情報を選択・判断する力を育成する事業」の紹介記事

性と生殖に関する健康と権利についての講座「リアロダクティブ・ライツと日本の中絶の問題点」安心・安全な中絶を考える。30日午後2時～4時、越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」。講師は塚原久美さん(中絶ケアカウンセラー)。日本の中絶の問題点と安心・安全な中絶について。定員30人(申し込み順)。無料。要事前申し込み。ほっと越谷 ☎970・7411。

東武よみうり 令和3年5月17日付
「性と生殖に関する健康と権利についての講座」の紹介記事

がんばりすぎない子育て～心を軽くする子どもとの関わり方～

子どもも親もどちらも大切。スウェーデンの子育てからヒントを得たポジティブ・ディシプリンの考え方から、心を軽くするヒントを学ぶ。講師/落合香代子さん(一般社団法人ママリングス代表、看護師)※オンライン開催

◇日時/7月10日(土)10時～11時30分◇料金/無料◇定員/8組(子ども同席参加可)※申込受付6月10日～7月9日。詳細・申込は「ほっと越谷」ホームページへ
https://hot-koshigaya.jp
☎048(970)7411【越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」】

ちいき新聞 令和3年6月11日付

「家庭における固定的役割分担意識の解消に関する講座」の紹介記事

(((REPORT)))

「仕事も介護もあなたも大事!」

介護する人を支えるために「開く」



講師の一般社団法人白本ケアラー連盟代表理事・堀越栄子氏は、長年、ケアラー調査・分析や行政への提言活動を行い、埼玉県ケアラー支援条例の制定にも積極的に関わってきたケアラーのスペシャリストだ。

「介護者」ではなく「ケアラー」という新しい言葉や概念には、多様な介護者を捉える必要があり、これまでのイメージを払拭する目的がある」と堀越氏。

「介護者」ではなく「ケアラー」という新しい言葉や概念には、多様な介護者を捉える必要があり、これまでのイメージを払拭する目的がある」と堀越氏。

「介護者」ではなく「ケアラー」という新しい言葉や概念には、多様な介護者を捉える必要があり、これまでのイメージを払拭する目的がある」と堀越氏。

「介護者」ではなく「ケアラー」という新しい言葉や概念には、多様な介護者を捉える必要があり、これまでのイメージを払拭する目的がある」と堀越氏。



「ほっと越谷」の会議室

介護だより第35号 令和3年8月・9月号
「育児・介護等と仕事の両立支援のための事業」の紹介記事

●自分らしい働き方をかなえる職場復帰準備講座 9月5日▽12日▽16日、10月12時(全3回)、越谷市大沢3の越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」(048・970・7411)。5日「これからの働き方を考えるために自分軸をつくる」▽12日「どう乗り越えた?先輩ママの復職ストーリー」▽16日「どう考える?私らしい職場復帰」。対象は越谷市内在住の育休中または育休取得予定の女性8人(申し込み順)。パートナー同伴可。参加無料。

毎日新聞 令和3年8月20日付
「育児期の女性の就労継続を支援する講座」の紹介記事

「僕のトランスジェンダー・ストーリー」自分らしい性を探し続けて〜 10月3日午後2時〜4時、越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」・セミナールーム。講師は岩井紀穂(かずほさん)。出生時は「女性」だったが、幼少期から性別に違和感を抱き、現在は自認の「男性」として生きている(戸籍はまだ女性)。2003年からトランスジェンダーとしての活動を本格化させ、越谷市の「パートナーシップ宣誓制度」実現に尽力した。体験談を聞き、性の多様性について考える。定員30人(申し込み順)。参加費無料。保育あり(1歳6か月〜就学前、要予約5人まで先着順、申し込み締め切りは9月22日)。「ほっと越谷」☎970・7411。

東武よみうり 令和3年9月14日付
「性の多様性の理解促進に関する講座」の紹介記事

就労に関する法制度や職場におけるハラスメントに関する講座「これだけは知っておきたい/パートタイム・有期雇用労働法とハラスメント」10月7日午後2時〜4時30分、越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」。これからパートタイムや有期雇用で働く人のために知っておきたい「労働法」の基礎知識と「パートタイム・有期雇用労働法」を学ぶ。定員20人(申し込み順)。保育あり(1歳6か月〜未就学児、無料、要予約、締め切りは9月29日)。希望者には個別相談会もある。参加費無料。ほっと越谷☎970・7411。

東武よみうり 令和3年9月20日付
「就労に関する法制度や職場におけるハラスメントに関する講座」の紹介記事

「もしかしてDV? 束縛と暴力、それが“愛”だと思ってた。」

DV防止啓発講座〜「酔うと化け物になる父」のいる家で育った私のこと〜当事者の心理状況や家庭環境について聞き、「自分や大切な人」を守るために何ができるのか、一緒に考える。講師は漫画家の菊池真理子さん

◇日時/12月18日(土)14〜16時◇場所/越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」(東武線北越谷駅東口徒歩1分)◇料金/無料◇定員/来所30人、オンライン(Zoom)20人※要申込(来所は保育あり。1歳6か月〜未就学児、先着5人。申込締切12月9日)
https://hot-koshigaya.jp
☎048(970)7411【越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」】

ちいき新聞 令和3年11月26日付
「DV防止啓発講座」の紹介記事

◆社会を変えるアクション—わたしたちにできること

10月9日、16日の日曜2時、越谷市男女共同参画支援センター・ほっと越谷(北越谷駅、☎048・970・7411)。9日=法政大の上西充子教授による「呪いの言葉の解きかた—向かいたい社会に目を向ける」。16日=明治大非常勤講師の瀬山紀子さんによる「変化を起こすアクション—わたしたちにできること」。いずれも無料。各回定員30人。要予約。

朝日新聞 令和3年9月10日付
「男女共同参画推進のための講座」の紹介記事

「女性に対する暴力をなくす運動」パネル展示

毎年、内閣府が定めた「女性に対する暴力をなくす運動」週間(11月12日〜25日)に合わせて、デートDV防止啓発のためのパネルを展示

◇日時/①11月19日(金)〜26日(金)②11月27日(土)〜12月18日(土)①②とも8時30分〜17時15分◇場所/①越谷市役所本庁舎ロビー(東武線越谷駅東口徒歩7分)②越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」(東武線北越谷駅東口徒歩1分)◇料金/無料
https://hot-koshigaya.jp
☎048(970)7411【越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」】

ちいき新聞 令和3年10月15日付
「『女性に対する暴力をなくす運動』期間中の集中的な啓発」の紹介記事

あなたのペースで、ゆったりとこころとからだのケア

絵本やアートを通して、自分のこころとからだを心地よくケアする。講師は海原由佳さん(公認心理師、カウンセラー)。①絵本の中のわたしと出会う②つながりのアート

◇日時/①1月29日(土)②2月5日(土)14〜16時◇場所/越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」(東武線北越谷駅東口徒歩1分)有料駐車場・駐輪場あり◇料金/無料◇定員/12人※要申込(保育あり。先着5人、1歳6か月〜未就学児、1月19日までに要申込)
https://hot-koshigaya.jp
☎048(970)7411【越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」】

ちいき新聞 令和4年1月7日付
「困難を抱える女性を支援するための事業」の紹介記事

VI 参考資料

1. 男女共同参画に関する年表
2. 越谷市男女共同参画推進条例

1. 男女共同参画に関する年表

年	世界	国	埼玉県	越谷市
1975年 (昭和50年)	・国際婦人年世界会議(メキシコシティ)開催 ・「女性の地位向上のための世界行動計画」を採択	・総理府に「婦人問題企画推進本部」設置		
1976年 (昭和51年)		・民法一部改正(離婚後の氏を選択自由になる) ・第1回日本婦人問題会議(労働省)	・生活福祉部婦人児童課に婦人問題担当副参事設置	
1977年 (昭和52年)		・「国内行動計画」策定 ・国立婦人教育会館開設	・埼玉婦人問題会議発足 ・企画財政部に婦人問題企画室を置く	
1979年 (昭和54年)	・第34回国連総会で「女子差別撤廃条約」採択		・県民部に婦人問題企画室長設置	
1980年 (昭和55年)	・「国連婦人の10年」中間年世界会議開催(コペンハーゲン) ・「女子差別撤廃条約」の署名式	・民法一部改正(配偶者の法定相続分3分の1→2分の1へ) ・「女子差別撤廃条約」署名	・「婦人の地位向上に関する埼玉県計画」策定 ・県民部に婦人政策課を設置 ・婦人関係行政推進会議設置	
1981年 (昭和56年)	・ILO第156号条約の採択(男女労働者特に家庭的責任を有する労働者の機会均等及び均等待遇に関する条約)			
1984年 (昭和59年)		・国籍法及び戸籍法一部改正(子の国籍:父系血統主義→父母両系主義)	・「婦人の地位向上に関する埼玉県計画(修正版)」策定	
1985年 (昭和60年)	・「国連婦人の10年」最終年世界会議開催(ナイロビ)、「ナイロビ将来戦略」採択	・「女子差別撤廃条約」批准 ・「男女雇用機会均等法」制定 ・労働基準法一部改正(施行は昭和61年)	・ナイロビ会議NGOフォーラムに埼玉県婦人派遣団参加	
1986年 (昭和61年)		・「男女雇用機会均等法」施行	・「男女平等社会確立のための埼玉県計画」策定	
1987年 (昭和62年)		・「西暦2000年に向けての新国内行動計画」策定	・「婦人対策課」を「婦人行政課」に名称変更	

年	世界	国	埼玉県	越谷市
1989年 (平成元年)		・法令一部改正(婚姻、親子関係等についての男性優先規定の改正等)		
1990年 (平成2年)	・「ナイロビ将来戦略に関する第1回見直しと評価に伴う勧告及び結論」採択 ・ILO第171号条約(夜業に関する)採択		・「男女平等社会確立のための埼玉県計画(修正版)」策定 ・埼玉県県民活動総合センター開館	
1991年 (平成3年)		・「西暦2000年に向けての新国内行動計画(第一次改定)」策定 ・「育児休業法」成立(施行は平成4年)	・「婦人行政課」を「女性政策課」に名称変更	・企画部都市文化課に女性担当を設置
1992年 (平成4年)		・初の婦人問題担当大臣設置 ・「育児休業法」施行		・「越谷市女性施策庁内連絡会議」設置
1993年 (平成5年)	・世界人権会議開催(ウィーン) ・国連婦人の地位向上委員会「女性に対する暴力撤廃宣言」採択	・「パートタイム労働法」成立	・「埼玉女性の歩み」発行	・女性行動計画関連事業調査実施
1994年 (平成6年)	・ILO第175号条約(パートタイム労働に関する)採択 ・国際人口開発会議開催(カイロ)	・総理府の「婦人問題企画推進本部」が、「男女共同参画室」へ ・内閣総理大臣の諮問機関として「男女共同参画審議会」設置	・「1994彩の国の女性」発行	・第1次越谷市男女共同参画計画(こしがや男女共生プラン)を策定 ・「越谷市男女共生行政推進会議」「越谷市男女共生のまちづくり推進市民会議」設置
1995年 (平成7年)	・第4回国連世界女性会議開催(北京)「北京宣言及び行動綱領」採択	・「育児・介護休業法」成立 ・ILO第156号条約批准	・「2001彩の国男女共同参画プログラム」策定	
1996年 (平成8年)		・男女共同参画審議会「男女共同参画ビジョン」答申 ・「男女共同参画2000年プラン」策定	・「世界女性みらい会議」開催	
1997年 (平成9年)		・労働基準法一部改正(女子保護規定の廃止等、施行は平成11年) ・男女雇用機会均等法一部改正(セクハラについての事業主配慮義務を規定、一部を除き平成11年施行)	・女性センター(仮称)基本構想策定 ・女性関係行政推進会議を男女共同参画推進会議に改組	
1998年 (平成10年)		・男女共同参画審議会「男女共同参画社会基本法について」答申	・女性センター(仮称)基本計画策定	

年	世界	国	埼玉県	越谷市
1999年 (平成11年)	・「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約選択議定書」採択	・「男女共同参画社会基本法」成立、施行 ・「児童買春・児童ポルノ禁止法」成立	・女性問題協議会、男女共同参画推進条例(仮称)答申	
2000年 (平成12年)	・女性2000年会議開催(ニューヨーク)「政治宣言」「成果文書」採択	・「男女共同参画基本計画」策定 ・「ストーカー規制法」成立、施行	・「男女共同参画推進条例」施行 ・苦情処理機関の設置	・企画部企画課女性担当設置 ・第2次越谷市男女共同参画計画(こしがや男女共同参画プラン)を策定
2001年 (平成13年)		・内閣府に男女共同参画局設置 ・男女共同参画会議設置 ・「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」成立	・女性政策課を男女共同参画課に名称変更	・越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」を開設
2002年 (平成14年)			・「埼玉県男女共同参画推進プラン2010」策定 ・埼玉県男女共同参画推進センター(With Youさいたま)開設	・「こしがや男女共同参画プラン」第二期実施計画策定
2003年 (平成15年)		・「次世代育成支援対策推進法」成立		
2004年 (平成16年)		・「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の一部を改正する法律」成立	・女性のチャレンジ支援事業開始	・条例制定に向けて「越谷市男女共同参画推進審議会」設置
2005年 (平成17年)	・第49回国連婦人の地位委員会「北京+10」開催	・「第2次男女共同参画計画」策定		・「越谷市男女共同参画推進条例」制定、施行 ・男女共同参画推進委員会設置、男女共同参画苦情処理委員設置 ・越谷市女性自立支援センター「はればれ越谷」を開設 ・「こしがや男女共同参画プラン」第三期実施計画策定
2006年 (平成18年)		・「男女雇用機会均等法」一部改正(男性に対する差別の禁止、間接差別の禁止等、施行は平成19年)	・「配偶者等からの暴力防止及び被害者支援基本計画」策定	
2007年 (平成19年)		・「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」改正	・「埼玉県男女共同参画推進プラン2010」を中間見直し、「埼玉県男女共同参画推進プラン」とする	・「こしがや男女共同参画プラン」第四期実施計画策定
2008年 (平成20年)		・女子差別撤廃条約実施状況第6回報告提出	・女性キャリアセンター開設	
2009年 (平成21年)		・女子差別撤廃条約実施状況第6回報告審議 ・「育児・介護休業法」改正	・「配偶者等からの暴力防止及び被害者支援基本計画(第2次)」策定	・越谷市男女共同参画支援センターの管理運営が、指定管理者「特定非営利活動法人 男女共同参画こしがやとろう」へ移行

年	世界	国	埼玉県	越谷市
2010年 (平成22年)	・第54回国連婦人の地位委員会「北京+15」開催	・「第3次男女共同参画基本計画」策定	・女性キャリアセンターを男女共同参画推進センターに組織統合	
2011年 (平成23年)				・第3次越谷市男女共同参画計画を策定 ・越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」開設10周年
2012年 (平成24年)	・第56回国連婦人の地位委員会「自然災害におけるジェンダー平等と女性のエンパワーメント」決議案採択	・「『女性の活躍促進による経済活性化』行動計画」策定	・「埼玉県男女共同参画基本計画」策定 ・「配偶者等からの暴力防止及び被害者支援基本計画(第3次)」策定	・指定管理者「特定非営利活動法人 男女共同参画こしがやとろう」指定管理第2期スタート
2013年 (平成25年)		・「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」改正 ・「日本再興戦略」の中核に「女性の活躍推進」が位置づけられる		
2014年 (平成26年)	・第58回国連婦人の地位委員会「自然災害におけるジェンダー平等と女性のエンパワーメント」決議案採択	・「日本再興戦略」に「『女性が輝く社会』の実現」が掲げられる ・女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム(WAW! Tokyo 2014)開催		
2015年 (平成27年)	・第59回国連婦人の地位委員会「北京+20」開催	・「女性活躍加速のための重点方針2015」策定 ・「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」成立、施行 ・「第4次男女共同参画基本計画」策定		・越谷市女性・DV相談支援センター(配偶者暴力相談支援センター)を開設
2016年 (平成28年)		・「育児・介護休業法」改正		
2017年 (平成29年)		・刑法の一部改正(性犯罪処罰規定の厳罰化等)	・「埼玉県男女共同参画基本計画(平成29年度～平成33年度)」策定 ・「配偶者等からの暴力防止及び被害者支援基本計画(第4次)」策定	・指定管理者「認定特定非営利活動法人 男女共同参画こしがやとろう」指定管理第3期スタート
2018年 (平成30年)		・「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」成立、施行		
2019年 (令和元年)		・「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」改正		
2020年 (令和2年)	・第64回国連婦人の地位委員会「北京+25」開催	・「第5次男女共同参画基本計画」策定		
2021年 (令和3年)				・第4次越谷市男女共同参画計画を策定 ・越谷市パートナーシップ宣誓制度開始 ・越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」開設20周年

2. 越谷市男女共同参画推進条例

平成17年3月31日

条例第9号

目次

前文

第1章 総則(第1条—第9条)

第2章 基本的施策(第10条—第22条)

第3章 越谷市男女共同参画推進委員会(第23条—第27条)

第4章 苦情処理(第28条)

第5章 雑則(第29条)

附則

前文

我が国では、日本国憲法に個人の尊重と法の下での平等がうたわれています。そして、男女平等の実現に向けて、女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約を批准するとともに、男女共同参画社会基本法などの法整備や種々の取組が進められています。

越谷市は、首都圏に位置しながら、水と緑と太陽に恵まれた自然豊かなまちとして発展してきました。まちづくりにおいては、だれもが平等で平和な生活を送ることができる人間尊重を基本とし、男女共同参画の推進に関する施策を積極的に展開してきました。

しかし、性別による固定的な役割分担等の意識と、それに基づく社会の制度や慣行は、依然として根強く残されています。さまざまな分野における男女の参画の不平等、出産や子育て期に低下する女性の労働力率など、いまだ解決しなければならない多くの課題があります。

これらを踏まえ、人間尊重のまちづくりをさらに進めていく上で、一人ひとりの男女が、性別にかかわらず、個人として尊重されるとともに責任を分かち合い、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の形成が今後も重要です。

ここに、越谷市は、男女平等を前提とする男女共同参画社会の実現に向けて、市民、事業者と市が協働し、男女共同参画をより一層推進するため、この条例を制定します。

第1章 総則

(目的)

第1条 この条例は、越谷市における男女共同参画の推進に関し、基本理念を定め、市、市民、事業者と教育に携わる者等の責務を明らかにするとともに、その他必要な事項を定めることにより、男女共同参画社会の実現に向けた施策を総合的かつ計画的に推進することを目的とする。

(定義)

第2条 この条例における用語の意義は、次に定めるところによる。

- (1) 男女共同参画 男女が、性別にかかわらず、個人として尊重されるとともに、その個性と能力を十分に発揮することができる機会が確保されることにより、家庭、職場、学校、地域その他の社会のあらゆる分野(以下「あらゆる分野」という。)において、対等に活動し、責任を分かち合うことをいう。
- (2) 市民 市内において、住み、働き、学び、又は活動する個人や団体をいう。
- (3) 事業者 市内で事業を行う個人や法人その他の団体で、その事業における従事者を使用するものをいう。
- (4) ドメスティック・バイオレンス 配偶者や恋人その他の親密な関係にある者又はあつた者からの身体的、精神的、経済的、言語的な暴力をいう。
- (5) セクシュアル・ハラスメント 性的な言動により、相手に不快感や不利益を与えたり、相手の生活環境を害することをいう。
- (6) 積極的格差是正措置 あらゆる分野における活動において、男女間の参画の機会の格差を是正するために、必要な範囲で、男女のいずれか一方に対し、その機会を積極的に提供することをいう。

(基本理念)

第3条 男女共同参画の推進は、次の事項を基本理念として、行われなければならない。

- (1) 次の事項をはじめとする男女の人権が尊重されること。
 - ア 男女の個人としての尊厳が重んぜられること。
 - イ 男女が個人として個性と能力を発揮する機会が等しく確保されること。
 - ウ 男女が性別による差別的取扱い(直接的であるか間接的であるかを問わないあらゆる差別的取扱いをいう。以下同じ。)を受けないこと。
 - エ あらゆる分野において、ドメスティック・バイオレンスその他の性別に起因する暴力やセクシュアル・ハラスメントが根絶されること。
 - オ 生涯を通じて、男女が互いの性を理解し合い、健康な生活を営む権利が確保されるとともに、妊娠、出産その他の性と生殖に関して、女性の身体的機能に配慮し、女性の自己決定が尊重されること(以下これらを「性と生殖に関する健康と権利の尊重」という。))。
- (2) 性別による固定的な役割分担等の意識に基づく社会の制度や慣行が、男女の社会における活動の自由な選択に対して影響を及ぼすことのないよう配慮されること。
- (3) 市その他あらゆる分野における政策や方針の立案と決定の過程に、男女が共同して参画する機会が確保されること。
- (4) 家族を構成する男女が、互いの人格を尊重し、相互の協

力と社会の支援の下に、子育て、家族の介護その他の家庭生活における活動と、職場、学校、地域その他の社会生活における活動に共同して参画することができるようにすること。

- (5) 男女共同参画社会の実現に果たす教育の役割の重要性を考慮し、学校教育、社会教育その他のあらゆる分野の教育の場において、男女共同参画の視点を踏まえた教育が推進されること。
- (6) 男女共同参画の推進が国際社会における取組と密接な関係を有していることを踏まえ、国際的な動向への考慮と協調が行われること。
- (7) 市、市民と事業者が、男女共同参画の推進に関する自らの責務を自覚し、あらゆる分野において主体的にその役割を果たすとともに、相互の創意工夫による協働が行われること。

(市の責務)

第4条 市は、あらゆる分野における男女共同参画の推進を主要な政策として位置付け、前条に定める基本理念（以下「基本理念」という。）に基づき、次の事項に取り組むものとする。

- (1) 男女共同参画の推進に関する施策（積極的格差是正措置と、性別による差別的取扱いその他の男女共同参画の推進を妨げる要因の解消を含む。以下同じ。）を総合的に策定し、実施すること。
- (2) 男女共同参画を推進するために必要な体制の整備、財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めること。
- (3) 男女共同参画を推進するに当たっては、市民、事業者、国、県その他関係団体と連携し、協力を図ること。
- (4) 市自らの組織運営において、率先して男女共同参画を推進すること。

(市民の責務)

第5条 市民は、男女共同参画の推進に関する理解を深め、あらゆる分野において、基本理念に配慮し、次の事項に取り組むものとする。

- (1) 自ら積極的に男女共同参画を推進するよう努めること。
- (2) 市が実施する男女共同参画の推進に関する施策に協力するよう努めること。

(事業者の責務)

第6条 事業者は、男女共同参画の推進に関する理解を深め、その事業活動において、基本理念に配慮し、かつ、雇用と労働の分野に適用される関係法令の趣旨を踏まえ、次の事項に取り組むものとする。

- (1) 自ら積極的に男女共同参画を推進するよう努めること。
- (2) 男女が職場における活動に参画する機会を等しく確保するとともに、性別による差別的取扱いにより賃金格差が生じている場合は、それを是正するよう努めること。
- (3) 男女が職場における活動と家庭生活における活動その他

の活動とを両立することができる職場環境の整備に努めること。

- (4) 市が実施する男女共同参画の推進に関する施策に協力するよう努めること。

(教育に携わる者等の責務)

第7条 学校教育、社会教育その他のあらゆる分野の教育に携わる者は、男女共同参画の推進に関する理解を深め、その教育を行う過程において、基本理念に配慮するよう努めるものとする。

- 2 次世代を担う子どもの教育に関しては、あらゆる分野において、男女がともに積極的に参画するよう努めるものとする。
(性別による権利侵害の禁止)

第8条 市、市民と事業者は、あらゆる分野において、次に掲げる性別による権利侵害の行為を行ってはならない。

- (1) 性別による差別的取扱い
- (2) ドメスティック・バイオレンスその他の性別に起因する暴力
- (3) セクシュアル・ハラスメント
(公衆に表示する情報に関する留意)

第9条 市、市民と事業者は、広報、広告その他の公衆に表示する情報において、性別による固定的な役割分担や男女間の暴力等を助長したり連想させる表現又は過度の性的な表現を用いないよう努めるものとする。

- 2 市、市民と事業者は、提供される情報が男女共同参画の推進を妨げるおそれがあるか否かを適切に判断することができるよう努めるものとする。

第2章 基本的施策

(基本計画)

第10条 市長は、男女共同参画の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な計画（以下「基本計画」という。）を策定するものとする。

- 2 基本計画は、男女共同参画の推進に関する施策の大綱その他必要な事項について定めるものとする。
- 3 市長は、基本計画を策定するに当たっては、第23条に定める越谷市男女共同参画推進委員会に意見を求めるものとする。
- 4 市長は、基本計画を策定したときは、速やかにこれを公表するものとする。
- 5 市長は、社会情勢の変化等に対応するため、必要に応じて基本計画を見直すものとする。
- 6 第3項と第4項の規定は、基本計画の変更について準用する。
(推進体制)

第11条 市は、市の組織運営において、男女共同参画の推進に関する施策を総合的かつ効果的に実施するための推進体制を整備するものとする。

(拠点施設)

第12条 越谷市男女共同参画支援センター（越谷市男女共同参画支援センター設置及び管理条例（平成13年条例第5号）に基づき設置された施設をいう。）は、男女共同参画の推進に関する施策を実施し、市民や事業者による男女共同参画の推進に関する取組を支援するための拠点施設とする。

(広報活動等)

第13条 市は、市民や事業者の男女共同参画の推進に関する理解を深めるため、広報活動、学習機会の提供その他の措置を講ずるものとする。

2 市は、前項に定めるもののほか、市民や事業者における男女共同参画の推進が積極的に行われるように、男女共同参画推進週間を設け、推進事業を実施するものとする。

(性別による権利侵害の防止と被害者への対応)

第14条 市は、性別による権利侵害の行為を防止するため、必要な措置を講ずるものとする。

2 市は、性別による権利侵害の行為により被害を受けた者からの相談を受け、必要に応じて、その者に対し、情報の提供や各種制度の利用あっせん等を行うほか、関係機関と連携して、適切に対応するよう努めるものとする。この場合において、被害者への対応に携わる職務関係者は、その職務を行うに当たり、被害者に対して精神的苦痛等の二次的被害を与えることのないように、被害者の心身の状況や置かれている環境等に十分な配慮をしなければならない。

3 市は、前項に定めるもののほか、ドメスティック・バイオレンスの被害者に対し、関係機関と連携して、適切な保護を行うほか、経済的又は精神的自立のための支援を行うよう努めるものとする。

(性と生殖に関する健康と権利の尊重のための支援)

第15条 市は、性と生殖に関する健康と権利の尊重が適切に図られるように、情報や学習機会の提供その他の支援を行うよう努めるものとする。

(積極的格差是正措置)

第16条 市は、次項と第3項に定めるもののほか、あらゆる分野における活動において、男女間に参画する機会の格差が生じている場合は、市民や事業者と協力し、積極的格差是正措置が講ぜられるよう努めるものとする。

2 市は、市の政策の立案と決定の過程において、男女の職員が共同して参画する機会の格差が生じている場合は、積極的格差是正措置を講ずるよう努めるものとする。

3 市は、市の審議会等の委員の構成について、積極的格差是正措置を講ずることにより、男女の均衡を図るよう努めるものとする。

(家庭生活と社会生活における活動の両立支援)

第17条 市は、男女がともに家庭生活と社会生活における活動を両立することができるように、子育てや家族の介護等の

ための環境整備を進めるとともに、子育て期の女性の就労に対する支援を行うよう努めるものとする。

(自営の商工業や農業における男女共同参画の推進)

第18条 市は、家族経営等による自営の商工業や農業に携わる男女が経営や地域社会に参画する機会を等しく確保することができるように、情報の提供その他の支援を行うよう努めるものとする。

(教育に携わる者に対する研修の実施等)

第19条 市は、学校教育、社会教育その他のあらゆる分野の教育において、男女共同参画を推進する教育や学習の充実を図るため、教育に携わる者に対する研修の実施や支援を行うよう努めるものとする。

(活動の支援)

第20条 市は、男女共同参画の推進に関する活動を行う市民や事業者との連携を図り、協働するために必要な情報の提供その他の支援を行うよう努めるものとする。

(調査研究)

第21条 市は、男女共同参画の推進に関する施策の策定に必要な事項と男女共同参画の推進を妨げる問題について、調査研究を行うものとする。

2 市は、前項の調査研究を行うに当たっては、必要に応じて、市内における大学等の教育機関と連携し、協力を求めるものとする。

(年次報告)

第22条 市長は、男女共同参画の推進に関する施策の実施状況等について、年次報告書を作成し、公表するものとする。

第3章 越谷市男女共同参画推進委員会

(設置等)

第23条 男女共同参画の推進に関する市長の附属機関として、越谷市男女共同参画推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

2 委員会は、市長の求めに応じ、基本計画に関する事項その他男女共同参画の推進に関する重要事項について調査審議する。

3 委員会は、前項に定めるもののほか、男女共同参画の推進に関し必要な事項について調査審議し、市長に意見を述べることができる。

(組織)

第24条 委員会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、次の者のうちから、市長が委嘱する。

(1) 男女共同参画の推進に関する活動を行っている団体その他の団体の代表者

(2) 公募による市民

(3) 有識者

(任期)

第25条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、

委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長と副会長)

第26条 委員会に会長と副会長を各1人置き、委員の互選により、これを定める。

2 会長は、委員会を代表し、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときや会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第27条 委員会の会議は、会長が招集する。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第4章 苦情処理

(苦情処理)

第28条 市長は、男女共同参画の推進に関する市の施策や男女共同参画の推進を妨げると認められる事案に対する苦情について、市民や事業者からの申し出を適切かつ迅速に処理するため、越谷市男女共同参画苦情処理委員を置く。

第5章 雑則

(委任)

第29条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年7月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現に策定されているこしがや男女共同参画プランは、第10条第1項の規定により策定された基本計画とみなす。

(越谷市男女共同参画推進審議会設置条例の廃止)

3 越谷市男女共同参画推進審議会設置条例(平成16年条例第6号)は、廃止する。

令和 3 (2021) 年度事業報告書

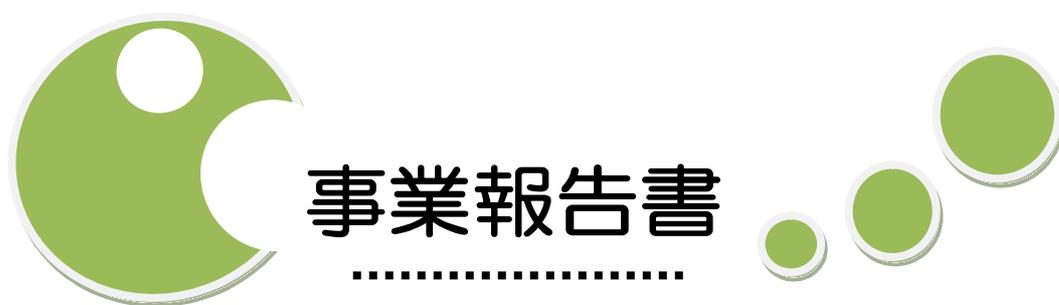
令和 4 年 3 月

越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」

(指定管理者：認定特定非営利活動法人 男女共同参画こしがやともろう)

〒343-0025 埼玉県越谷市大沢 3-6-1 パルテきたこし 3 階

TEL 048-970-7411 FAX 048-970-7412



令和3（2021）年度